

伊勢原市
市民人権意識調査
調査結果報告書

平成 28 年 3 月

伊 勢 原 市

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	1
II	調査結果	2
1	回答者属性	2
2	人権問題全般について	5
3	様々な人権問題について	16
4	人権に関する啓発活動について	66
III	自由意見	72

I 調査の概要

1 調査の目的

伊勢原市人権施策推進指針の見直しの基礎資料とするために調査を実施しました。

2 調査対象

伊勢原市在住の20歳以上から無作為抽出

3 調査期間

平成27年12月11日から平成27年12月25日

4 調査方法

郵送による配布・回収

5 回収状況

配布数	有効回答数	有効回答率
2,000通	814通	40.7%

6 調査結果の表示方法

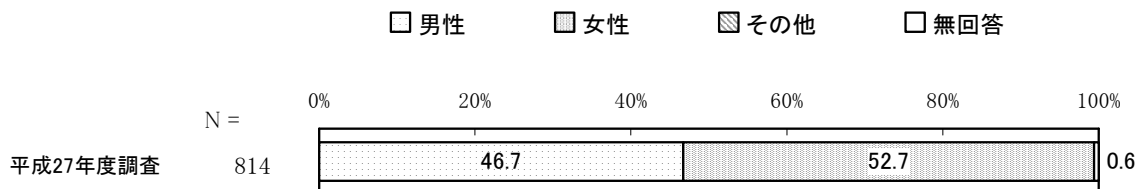
- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを■で網かけをしています。（無回答を除く）
- ・本文中の「平成12年調査」は、平成12年度に行われた「伊勢原市民意識調査報告書」を指しています。

II 調査結果

1 回答者属性

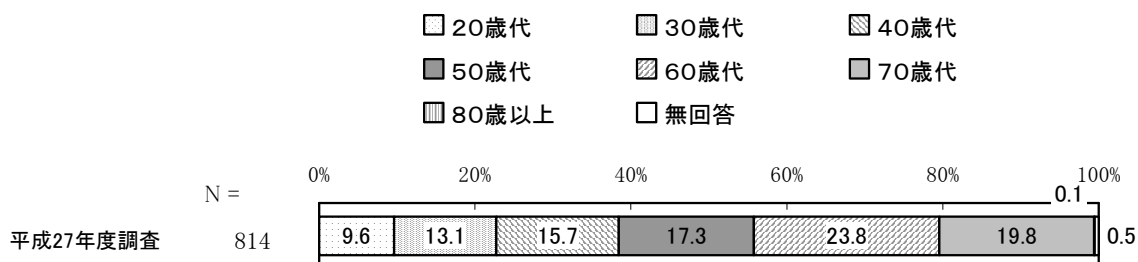
問1 あなたの性別は？

「男性」の割合が46.7%、「女性」の割合が52.7%となっています。



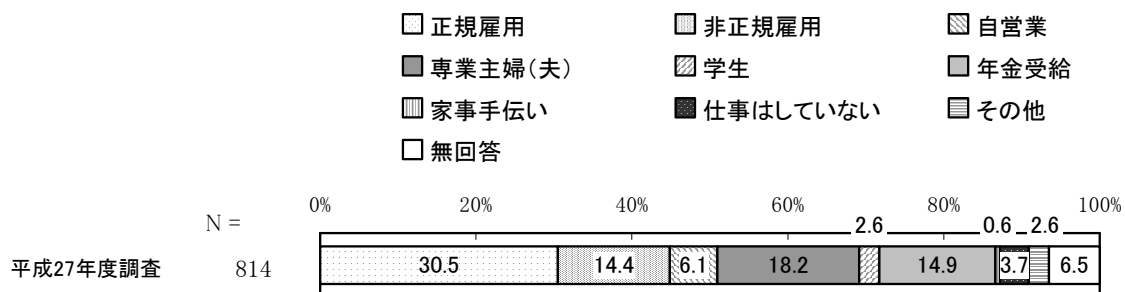
問2 あなたの年齢は？（平成27年12月1日現在の満年齢）

「60歳代」の割合が23.8%と最も高く、次いで「70歳代」の割合が19.8%、「50歳代」の割合が17.3%となっています。



問3 あなたの職業等は？

「正規雇用」の割合が30.5%と最も高く、次いで「専業主婦（夫）」の割合が18.2%、「年金受給」の割合が14.9%となっています。



【役職】

- ・課長
- ・主任
- ・一般職員

など

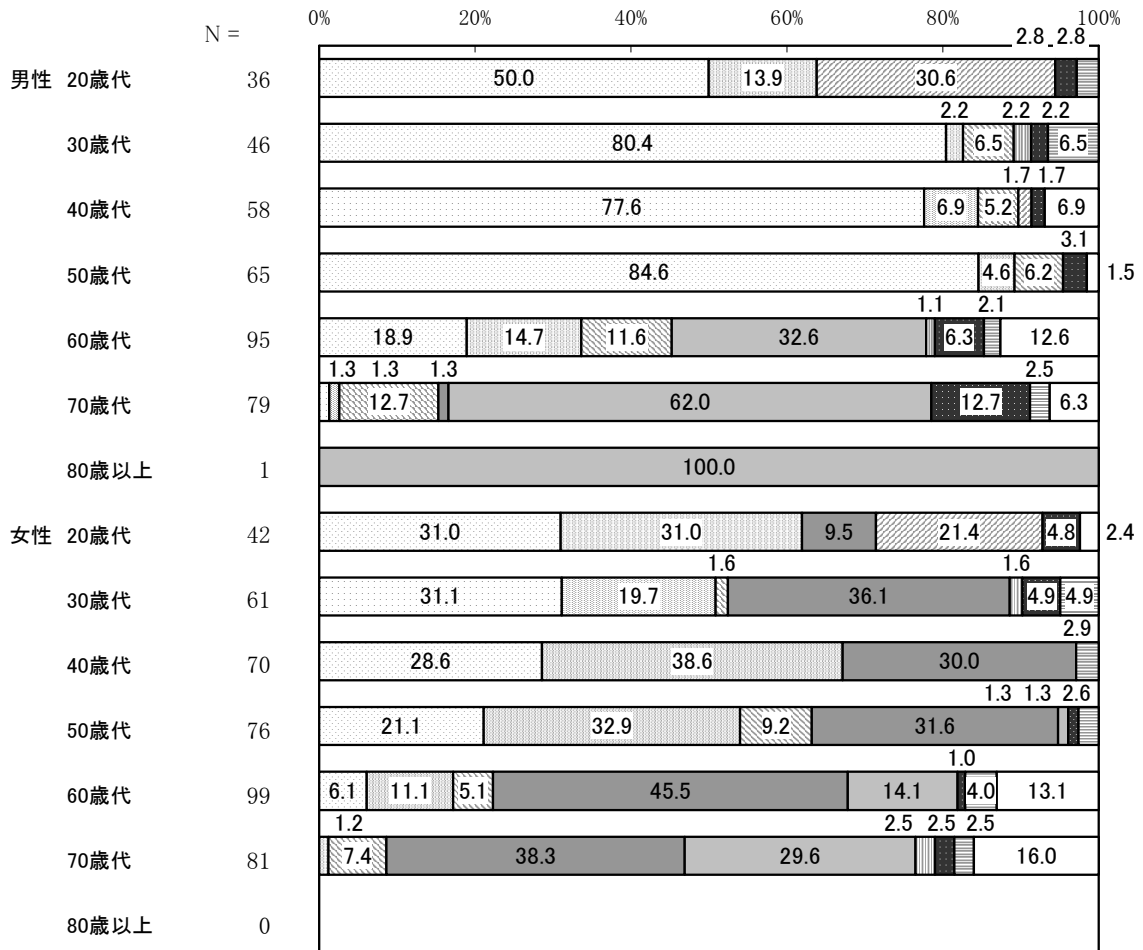
【その他意見】

- ・パート
- ・農業

など

【性・年代別】

性・年代別で見ると、たに比べ、男性の30歳代から50歳代で「正規雇用」の割合が高く、約8割となっています。また、女性の40歳代、50歳代で「非正規雇用」の割合が高く、約4割となっています。



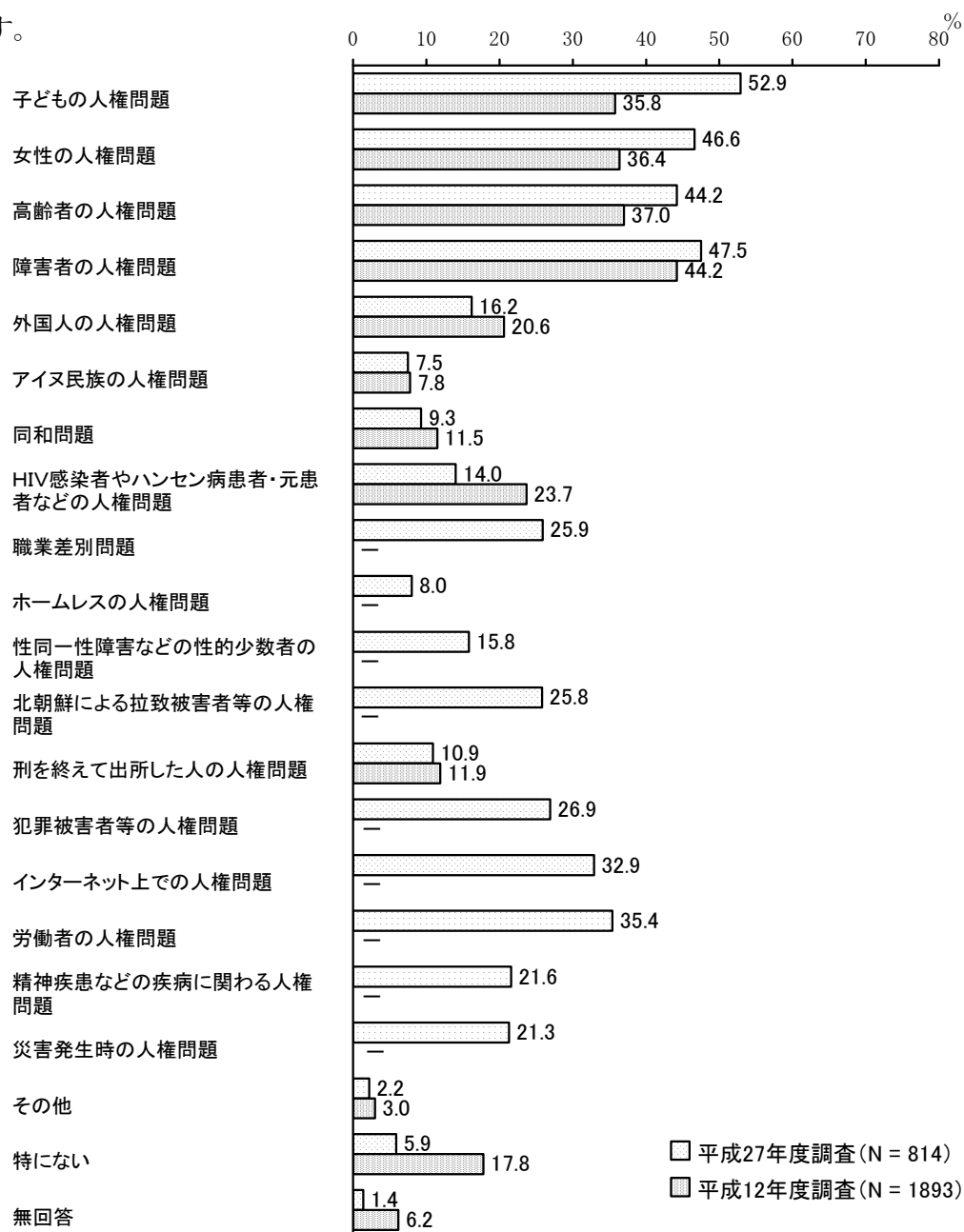
※性別には「その他」の選択肢がありましたが、回答者がいなかったため、性・年代別では性別の「その他」を省略しています。(以下同様)

2 人権問題全般について

問4 日本の社会には、基本的人権にかかわる様々な問題があります。あなたは、どの人権問題に関心がありますか。(あてはまるもの全てに○)

「子どもの人権問題」の割合が52.9%と最も高く、次いで「障害者の人権問題」の割合が47.5%、「女性の人権問題」の割合が46.6%となっています。

平成12年度調査と比較すると、「子どもの人権問題」「女性の人権問題」「高齢者の人権問題」の割合が増加し、「HIV感染者やハンセン病患者・元患者などの人権問題」の割合が減少しています。



※平成12年度調査では「職業差別問題」「ホームレスの人権問題」「性同一性障害などの性的少数者の人権問題」「北朝鮮による拉致被害者等の人権問題」「犯罪被害者等の人権問題」「インターネット上での人権問題」「労働者の人権問題」「精神疾患などの疾病に関わる人権問題」「災害発生時の人権問題」の選択肢はありませんでした。

【その他意見】

- ・施設で生活している子供の人権問題
- ・居住者の少ない地域に住む人の人権
- ・宗教による人権問題
- など

【性・年代別】

性・年代別でみると、他に比べ、女性の30歳代で「子どもの人権問題」の割合が、女性の30歳代、50歳代で「女性の人権問題」の割合が、女性の70歳代で「高齢者の人権問題」の割合が高く、約7割となっています。また、男性の70歳代で「北朝鮮による拉致被害者等の人権問題」の割合が、女性の30歳代で「インターネット上での人権問題」の割合が高く、約5割となっています。

単位：%

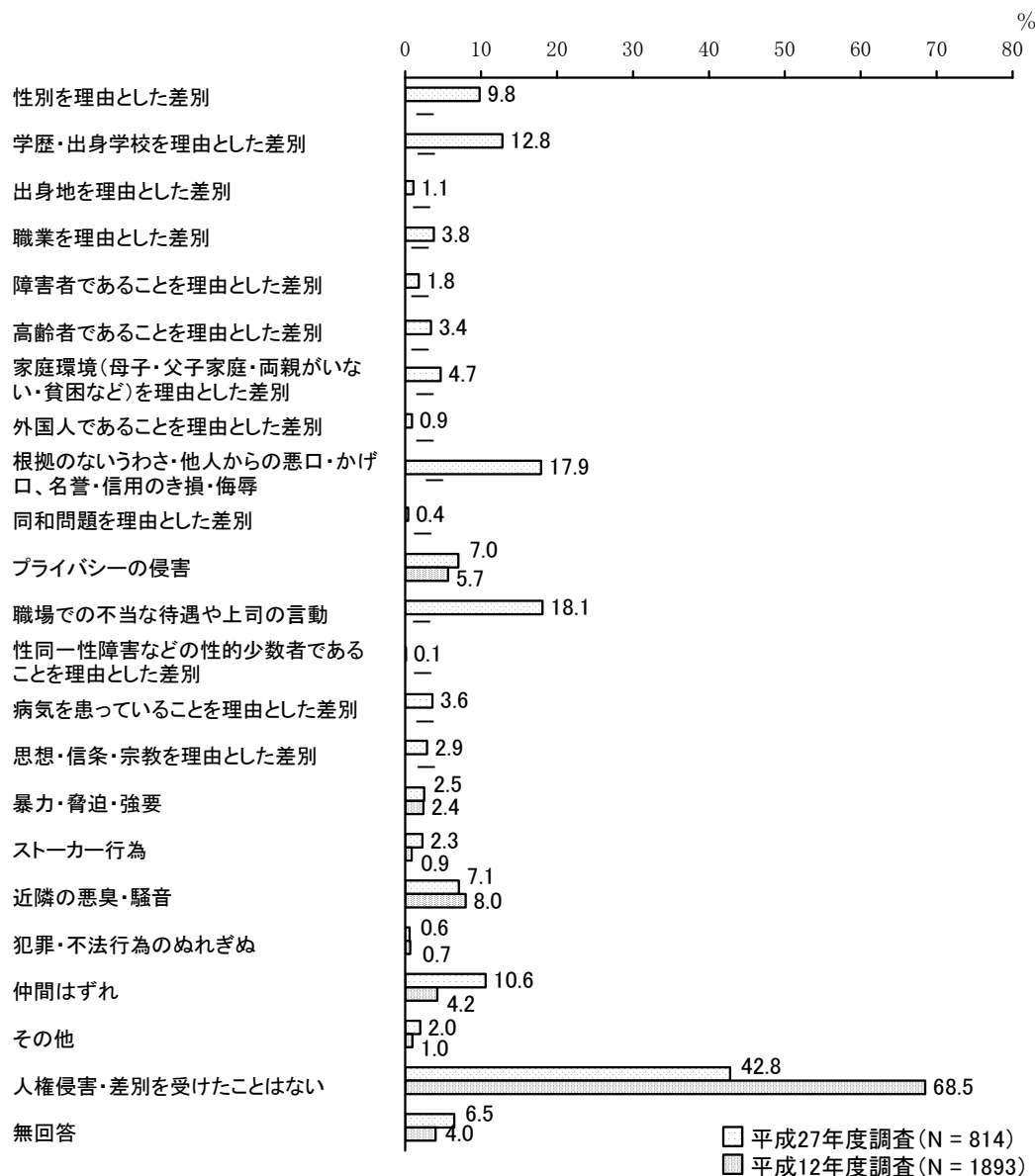
区分	有効回答数(件)	子どもの人権問題	女性の人権問題	高齢者の人権問題	障害者の人権問題	外国人の人権問題	アイヌ民族の人権問題	同和問題	HIV感染者やハセン病患者・元患者などの人権問題	職業差別問題	ホームレスの人権問題
男性 20歳代	36	38.9	36.1	16.7	30.6	19.4	—	2.8	5.6	30.6	5.6
30歳代	46	56.5	43.5	26.1	39.1	17.4	6.5	6.5	10.9	21.7	4.3
40歳代	58	55.2	24.1	31.0	48.3	15.5	10.3	13.8	17.2	22.4	12.1
50歳代	65	49.2	33.8	33.8	47.7	29.2	10.8	10.8	12.3	26.2	10.8
60歳代	95	36.8	30.5	47.4	48.4	11.6	5.3	12.6	10.5	24.2	8.4
70歳代	79	53.2	41.8	60.8	58.2	20.3	11.4	13.9	12.7	35.4	11.4
80歳以上	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
女性 20歳代	42	47.6	57.1	16.7	33.3	16.7	7.1	7.1	16.7	23.8	9.5
30歳代	61	68.9	70.5	32.8	55.7	16.4	4.9	3.3	14.8	26.2	8.2
40歳代	70	57.1	62.9	34.3	40.0	18.6	4.3	8.6	14.3	18.6	1.4
50歳代	76	61.8	67.1	48.7	51.3	13.2	6.6	9.2	19.7	27.6	7.9
60歳代	99	63.6	57.6	63.6	51.5	11.1	8.1	9.1	13.1	30.3	5.1
70歳代	81	44.4	34.6	69.1	48.1	13.6	9.9	8.6	18.5	22.2	11.1
80歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

区分	性的少数者の人権問題	同一性障害などの被害者等の人権問題	北朝鮮による拉致被害者等の人権問題	刑を終えて出所した人の人権問題	犯罪被害者等の人権問題	インターネット上での人権問題	労働者の人権問題	精神疾患などの疾病に関わる人権問題	災害発生時の人権問題	その他	特になし	無回答
男性 20歳代	22.2	13.9	8.3	11.1	50.0	72.2	22.2	16.7	—	5.6	—	
30歳代	10.9	6.5	2.2	19.6	39.1	43.5	19.6	17.4	2.2	15.2	2.2	
40歳代	13.8	15.5	12.1	34.5	37.9	48.3	25.9	15.5	3.4	3.4	—	
50歳代	12.3	16.9	13.8	29.2	38.5	43.1	16.9	16.9	1.5	6.2	—	
60歳代	7.4	33.7	8.4	22.1	23.2	28.4	9.5	18.9	4.2	7.4	3.2	
70歳代	12.7	48.1	19.0	31.6	30.4	32.9	21.5	26.6	2.5	5.1	—	
80歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—	
女性 20歳代	45.2	9.5	11.9	19.0	40.5	42.9	35.7	16.7	4.8	7.1	—	
30歳代	21.3	13.1	11.5	24.6	49.2	26.2	23.0	21.3	—	8.2	—	
40歳代	22.9	15.7	—	27.1	32.9	34.3	25.7	17.1	2.9	8.6	1.4	
50歳代	21.1	26.3	14.5	28.9	28.9	30.3	25.0	17.1	1.3	2.6	1.3	
60歳代	10.1	38.4	14.1	31.3	31.3	36.4	15.2	28.3	2.0	2.0	—	
70歳代	11.1	37.0	9.9	29.6	19.8	18.5	30.9	33.3	1.2	3.7	2.5	
80歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

問5 あなたはこれまでに、自分の人権が侵害された（差別された）と思ったことはありますか。ある場合は、どのような人権侵害（差別）を受けましたか。（あてはまるもの全てに○）（ない場合は22に○）

「人権侵害・差別を受けたことはない」の割合が42.8%と最も高く、次いで「職場での不当な待遇や上司の言動」の割合が18.1%、「根拠のないうわさ・他人からの悪口・かげ口、名誉・信用のき損・侮辱」の割合が17.9%となっています。

平成12年度調査と比較すると、「人権侵害・差別を受けたことはない」の割合は減少しています。内訳をみると、「仲間はずれ」の割合が増加しています。



※平成12年度調査では「性別を理由とした差別」「学歴・出身学校を理由とした差別」「出身地を理由とした差別」「職業を理由とした差別」「障害者であることを理由とした差別」「高齢者であることを理由とした差別」「家庭環境(母子・父子家庭・両親がいない・貧困など)を理由とした差別」「外国人であることを理由とした差別」「根拠のないうわさ・他人からの悪口・かげ口、名誉・信用のき損・侮辱」「同和問題を理由とした差別」「職場での不当な待遇や上司の言動」「性同一性障害などの性的少数者であることを理由とした差別」「病気を患っていることを理由とした差別」「思想・信条・宗教を理由とした差別」の選択肢はありませんでした。

【その他意見】

- ・妊婦差別
- ・基本的人権の労働する権利を侵害されている など

【性・年代別】

性・年代別でみると、男女とも 20 歳代で「根拠のないうわさ・他人からの悪口・かげ口、名誉・信用のき損・侮辱」の割合が高く、約 4 割となっています。また、女性の 20 歳代から 40 歳代で「仲間はずれ」の割合が、女性の 20 歳代から 50 歳代で「性別を理由とした差別」の割合が高くなっています。一方、男性の 60 歳代で「人権侵害・差別を受けたことはない」の割合が高く、6 割を超えています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	性別を理由とした差別	学歴・出身学校を理由とした差別	出身地を理由とした差別	職業を理由とした差別	障害者であることを理由とした差別	高齢者であることを理由とした差別	両親がいない・貧困などを理由とした差別	家庭環境(母子・父子家庭・両親がいない・貧困など)を理由とした差別	外国人であることを理由とした差別	根拠のないうわさ・他人からの悪口・かげ口、名誉・信用のき損・侮辱	同和問題を理由とした差別	プライバシーの侵害
男性 20 歳代	36	2.8	16.7	2.8	2.8	5.6	—	5.6	—	—	38.9	2.8	5.6
30 歳代	46	2.2	17.4	2.2	13.0	4.3	—	2.2	2.2	2.2	26.1	—	17.4
40 歳代	58	1.7	17.2	1.7	5.2	1.7	—	3.4	1.7	1.7	29.3	—	1.7
50 歳代	65	—	13.8	1.5	3.1	—	4.6	3.1	—	—	9.2	—	6.2
60 歳代	95	1.1	5.3	—	—	3.2	6.3	2.1	—	—	5.3	—	4.2
70 歳代	79	—	11.4	3.8	3.8	—	5.1	2.5	1.3	1.3	7.6	—	1.3
80 歳以上	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
女性 20 歳代	42	23.8	16.7	—	7.1	2.4	—	9.5	—	—	42.9	2.4	21.4
30 歳代	61	24.6	8.2	1.6	4.9	—	—	6.6	1.6	1.6	24.6	—	6.6
40 歳代	70	25.7	30.0	—	2.9	4.3	—	7.1	2.9	2.9	22.9	—	10.0
50 歳代	76	21.1	7.9	—	1.3	—	1.3	3.9	—	—	14.5	—	9.2
60 歳代	99	15.2	13.1	1.0	3.0	3.0	7.1	8.1	1.0	1.0	14.1	1.0	5.1
70 歳代	81	2.5	6.2	—	4.9	—	7.4	3.7	—	—	13.6	—	6.2
80 歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

【性・年代別（つづき）】

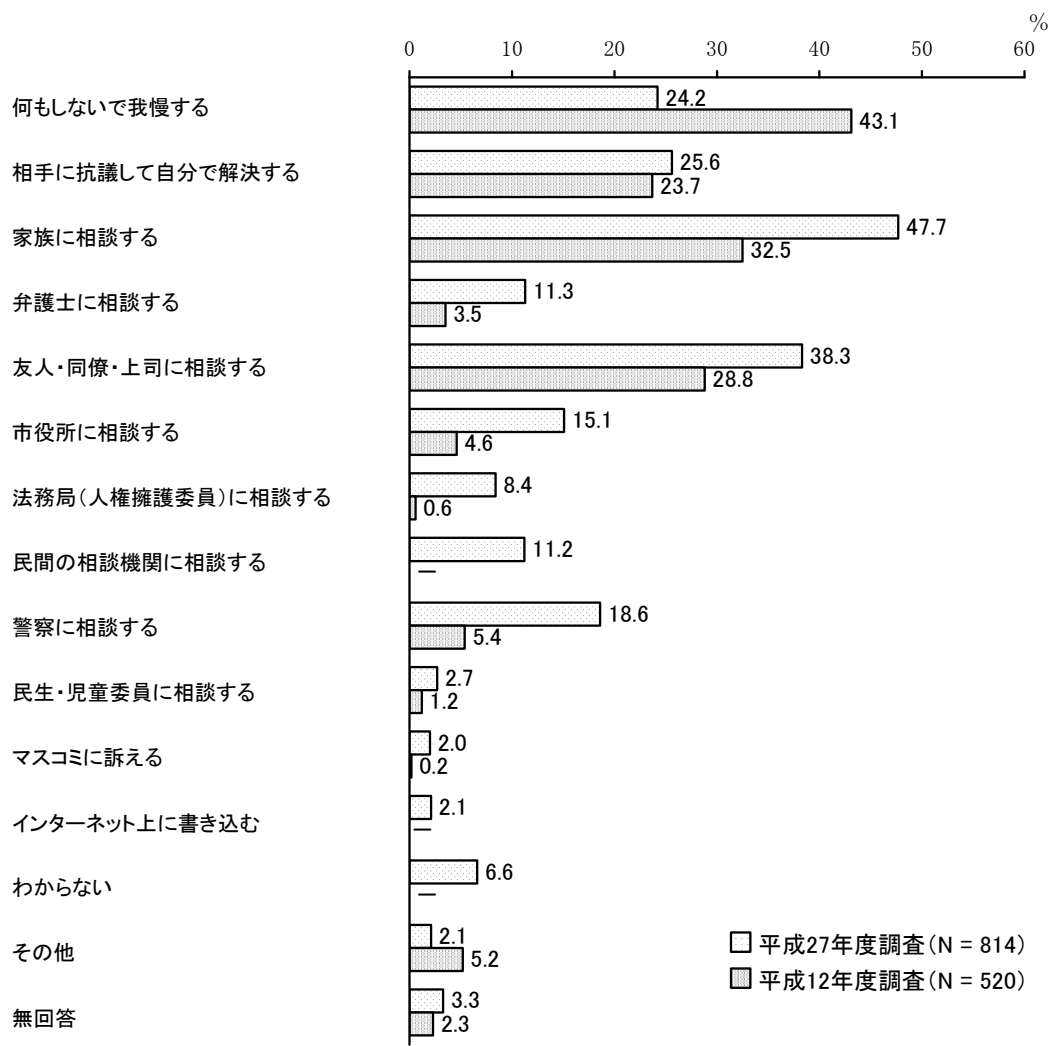
単位：％

区分	職場での不当な待遇や上司の言動	性同一性障害などの性的少数者であることを理由とした差別	病気を患っていることを理由とした差別	思想・信条・宗教を理由とした差別	暴力・脅迫・強要	ストーカー行為	近隣の悪臭・騒音	犯罪・不法行為のぬれぎぬ	仲間はずれ	その他	人権侵害・差別を受けたことはない	無回答
男性 20歳代	13.9	—	2.8	5.6	—	2.8	8.3	—	8.3	—	33.3	13.9
30歳代	17.4	—	—	2.2	6.5	—	4.3	—	19.6	2.2	43.5	2.2
40歳代	31.0	—	5.2	3.4	1.7	—	12.1	—	8.6	5.2	31.0	8.6
50歳代	18.5	1.5	4.6	3.1	4.6	—	6.2	1.5	7.7	1.5	55.4	3.1
60歳代	10.5	—	3.2	6.3	1.1	1.1	5.3	—	1.1	3.2	65.3	3.2
70歳代	11.4	—	2.5	2.5	—	—	5.1	1.3	2.5	1.3	53.2	12.7
80歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—
女性 20歳代	26.2	—	4.8	2.4	—	9.5	2.4	2.4	31.0	—	26.2	2.4
30歳代	27.9	—	3.3	3.3	1.6	9.8	6.6	—	26.2	3.3	34.4	1.6
40歳代	18.6	—	4.3	1.4	7.1	5.7	7.1	1.4	31.4	4.3	21.4	2.9
50歳代	28.9	—	2.6	1.3	5.3	1.3	7.9	—	6.6	—	36.8	6.6
60歳代	14.1	—	7.1	2.0	1.0	—	10.1	—	3.0	2.0	37.4	10.1
70歳代	9.9	—	1.2	2.5	1.2	2.5	8.6	1.2	2.5	—	53.1	8.6
80歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

問6 もし、あなたが差別をされたり、人権を侵害されたりした場合、まずはどのような対応をしますか。(あてはまるもの全てに○)

「家族に相談する」の割合が47.7%と最も高く、次いで「友人・同僚・上司に相談する」の割合が38.3%、「相手に抗議して自分で解決する」の割合が25.6%となっています。

平成12年度調査と比較すると、「家族に相談する」「弁護士に相談する」「友人・同僚・上司に相談する」「市役所に相談する」「法務局（人権擁護委員）に相談する」「警察に相談する」の割合が増加し、「何もしないで我慢する」の割合が減少しています。



※平成12年度調査では、実際に人権侵害を受けた人に尋ねた設問となっています。また、平成12年度調査では「民間の相談機関に相談する」「インターネット上に書き込む」「わからない」の選択肢はありませんでした。

【その他意見】

- ・何もしないで受け流す
- ・侵害の種類により対応

など

【性・年代別】

性・年代別でみると、男女とも年代が高くなるにつれ「市役所に相談する」「法務局（人権擁護委員）に相談する」「警察に相談する」の割合が高くなる傾向がみられるとともに、男性で年代が低くなるにつれ「何もしないで我慢する」の割合が高くなっています。また、他に比べ、女性の30歳代で「家族に相談する」の割合が高く、約7割となっています。

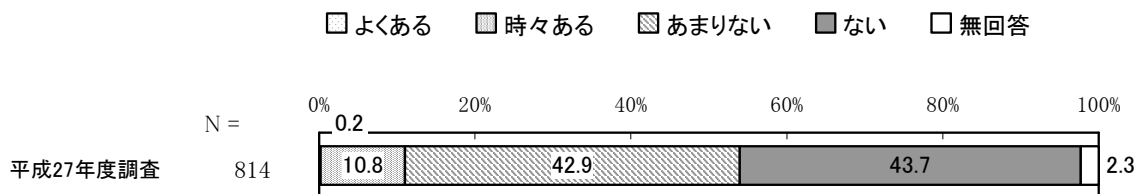
単位：％

区分	有効回答数（件）	何もしないで我慢する	相手に抗議して自分で解決する	家族に相談する	弁護士に相談する	友人・同僚・上司に相談する	市役所に相談する	法務局（人権擁護委員）に相談する
男性 20歳代	36	44.4	27.8	41.7	8.3	50.0	2.8	2.8
30歳代	46	43.5	47.8	45.7	4.3	54.3	6.5	4.3
40歳代	58	32.8	32.8	34.5	20.7	39.7	19.0	6.9
50歳代	65	21.5	33.8	32.3	16.9	24.6	10.8	3.1
60歳代	95	10.5	34.7	29.5	12.6	25.3	25.3	12.6
70歳代	79	15.2	35.4	38.0	19.0	21.5	31.6	19.0
80歳以上	1	—	—	100.0	—	—	—	—
女性 20歳代	42	42.9	21.4	54.8	—	57.1	—	—
30歳代	61	21.3	13.1	68.9	9.8	52.5	3.3	3.3
40歳代	70	41.4	18.6	55.7	8.6	48.6	2.9	—
50歳代	76	21.1	18.4	60.5	11.8	51.3	13.2	9.2
60歳代	99	20.2	17.2	58.6	7.1	39.4	18.2	12.1
70歳代	81	11.1	16.0	51.9	11.1	24.7	23.5	13.6
80歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—

区分	民間の相談機関に相談する	警察に相談する	民生・児童委員に相談する	マスコミに訴える	インターネット上に書き込む	わからない	その他	無回答
男性 20歳代	8.3	5.6	—	—	8.3	—	5.6	2.8
30歳代	8.7	8.7	—	2.2	2.2	2.2	2.2	—
40歳代	15.5	25.9	1.7	6.9	5.2	8.6	5.2	1.7
50歳代	13.8	24.6	3.1	1.5	1.5	4.6	—	1.5
60歳代	7.4	31.6	5.3	4.2	3.2	8.4	3.2	8.4
70歳代	11.4	29.1	6.3	5.1	3.8	8.9	2.5	3.8
80歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—
女性 20歳代	2.4	4.8	—	—	4.8	9.5	2.4	—
30歳代	9.8	6.6	1.6	—	—	9.8	—	1.6
40歳代	7.1	11.4	—	—	1.4	4.3	1.4	2.9
50歳代	19.7	15.8	1.3	—	—	5.3	1.3	3.9
60歳代	12.1	17.2	3.0	1.0	—	6.1	2.0	2.0
70歳代	12.3	22.2	4.9	1.2	—	8.6	—	6.2
80歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—

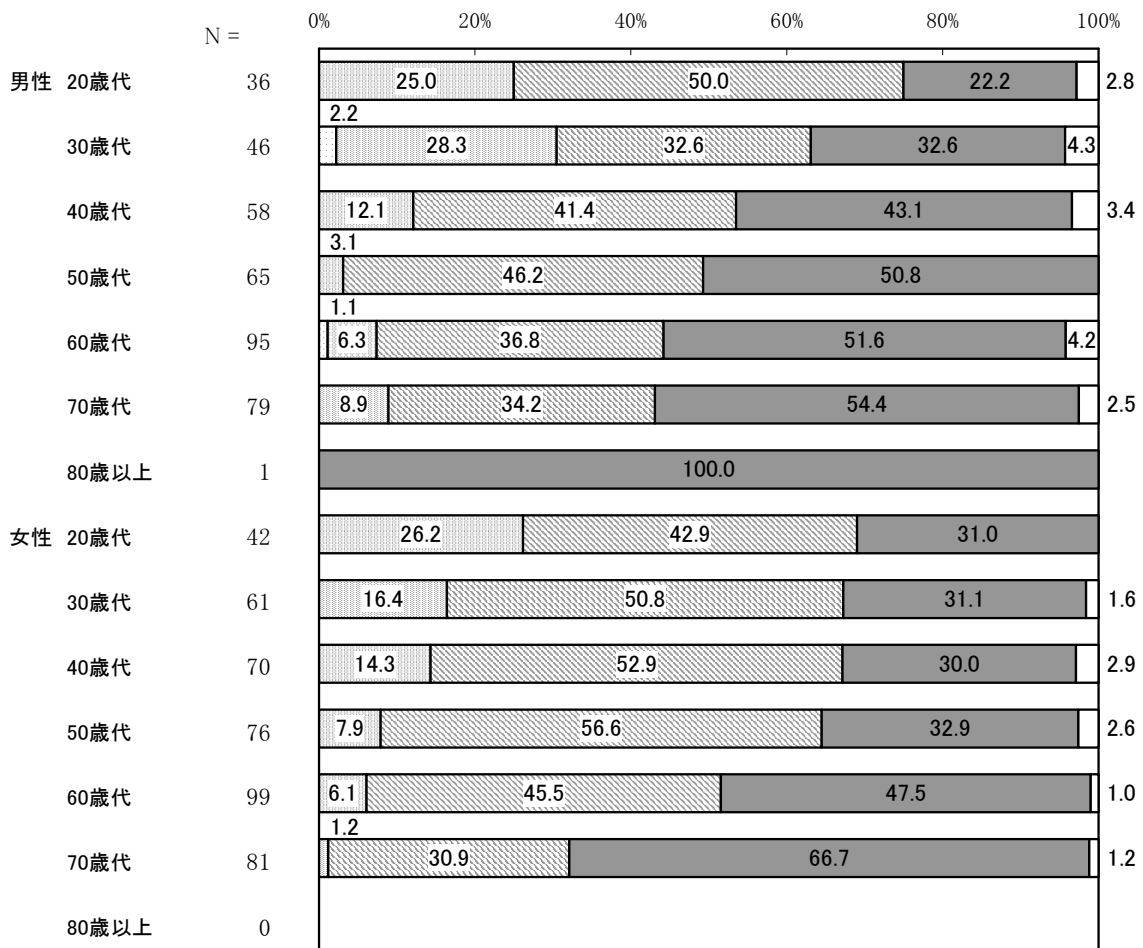
**問7 あなたは日頃、他人に対して差別的な行動や発言をしてしまうことがありますか。
(あてはまるもの1つに○)**

「よくある」と「時々ある」をあわせた“ある”の割合が11.0%、「あまりない」と「ない」をあわせた“ない”の割合が86.6%となっています。



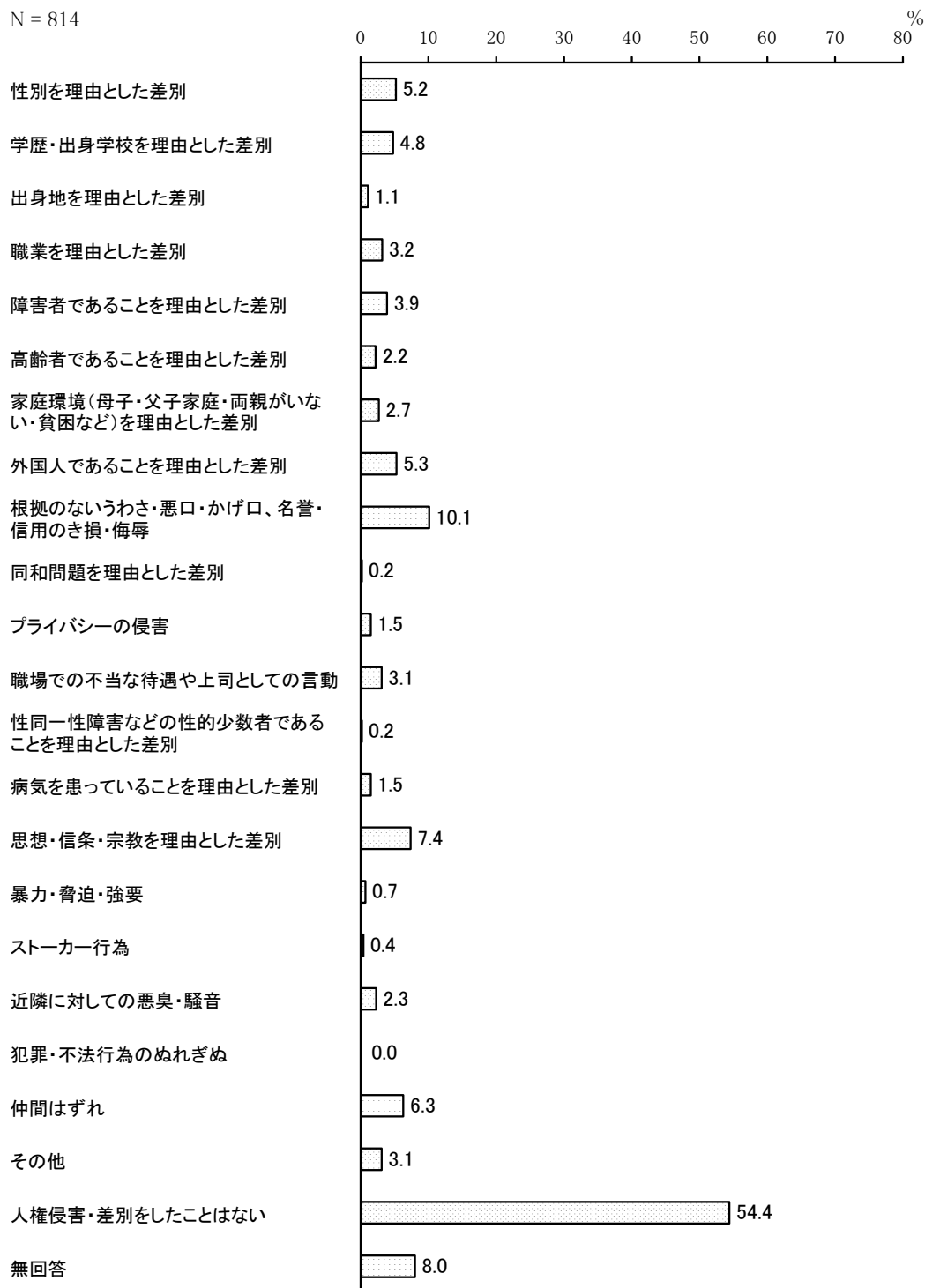
【性・年代別】

性・年代別でみると、女性で年代が低くなるにつれ“ある”の割合が高くなっています。また、他に比べ、男性の20歳代、30歳代、女性の20歳代で“ある”の割合が高くなっています。



問8 あなたはこれまでに、他人に対して差別的な行動や発言をしたことがありますか。ある場合は、何について差別したことがありますか。(あてはまるもの全てに○)(ない場合は22に○)

「人権侵害・差別をしたことはない」の割合が54.4%と最も高く、次いで「根拠のないうわさ・悪口・かげ口、名誉・信用のき損・侮辱」の割合が10.1%となっています。



【その他意見】

・宗教の差別 など

【性・年代別】

性・年代別でみると、男女とも、年代が低くなるにつれ「根拠のないわき・悪口・かげ口、名誉・信用のき損・侮辱」「仲間はずれ」の割合が高く、「人権侵害・差別をしたことはない」の割合が低くなる傾向がみられます。また、他に比べ、女性の20歳代で「性別を理由とした差別」の割合が高く、約2割となっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	性別を理由とした差別	学歴・出身学校を理由とした差別	出身地を理由とした差別	職業を理由とした差別	障害者であることを理由とした差別	高齢者であることを理由とした差別	家庭環境(母子・父子家庭・両親がいない・貧困など)を理由とした差別
男性 20歳代	36	—	8.3	—	5.6	11.1	—	—
30歳代	46	10.9	10.9	6.5	10.9	13.0	4.3	6.5
40歳代	58	5.2	6.9	1.7	3.4	3.4	1.7	3.4
50歳代	65	6.2	3.1	3.1	3.1	3.1	1.5	—
60歳代	95	3.2	2.1	1.1	1.1	1.1	5.3	1.1
70歳代	79	5.1	2.5	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3
80歳以上	1	—	—	—	—	—	—	—
女性 20歳代	42	21.4	7.1	—	—	11.9	2.4	11.9
30歳代	61	8.2	8.2	—	3.3	8.2	—	1.6
40歳代	70	8.6	2.9	1.4	1.4	2.9	—	5.7
50歳代	76	—	5.3	—	5.3	1.3	2.6	1.3
60歳代	99	2.0	6.1	—	5.1	3.0	5.1	4.0
70歳代	81	1.2	1.2	—	1.2	—	—	—
80歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—

【性・年代別（つづき）】

単位：％

区分	外国人であることを理由とした差別	根拠のないうわさ・悪口・かけ口、名誉・信用のき損・侮辱	同和問題を理由とした差別	プライバシーの侵害	職場での不当な待遇や上司としての言動	性同一性障害などの性的少数者であることを理由とした差別	病気を患っていることを理由とした差別	思想・信条・宗教を理由とした差別
男性 20歳代	11.1	22.2	—	—	5.6	—	2.8	8.3
30歳代	6.5	21.7	—	2.2	6.5	—	6.5	10.9
40歳代	1.7	13.8	—	—	3.4	—	—	8.6
50歳代	7.7	3.1	—	—	3.1	1.5	3.1	1.5
60歳代	7.4	2.1	—	4.2	3.2	—	1.1	10.5
70歳代	6.3	3.8	—	2.5	3.8	—	—	12.7
80歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—
女性 20歳代	4.8	26.2	4.8	—	2.4	2.4	2.4	2.4
30歳代	6.6	19.7	—	3.3	1.6	—	—	8.2
40歳代	5.7	14.3	—	2.9	2.9	—	—	5.7
50歳代	6.6	9.2	—	—	1.3	—	1.3	10.5
60歳代	3.0	6.1	—	—	2.0	—	1.0	8.1
70歳代	—	3.7	—	1.2	3.7	—	1.2	—
80歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—

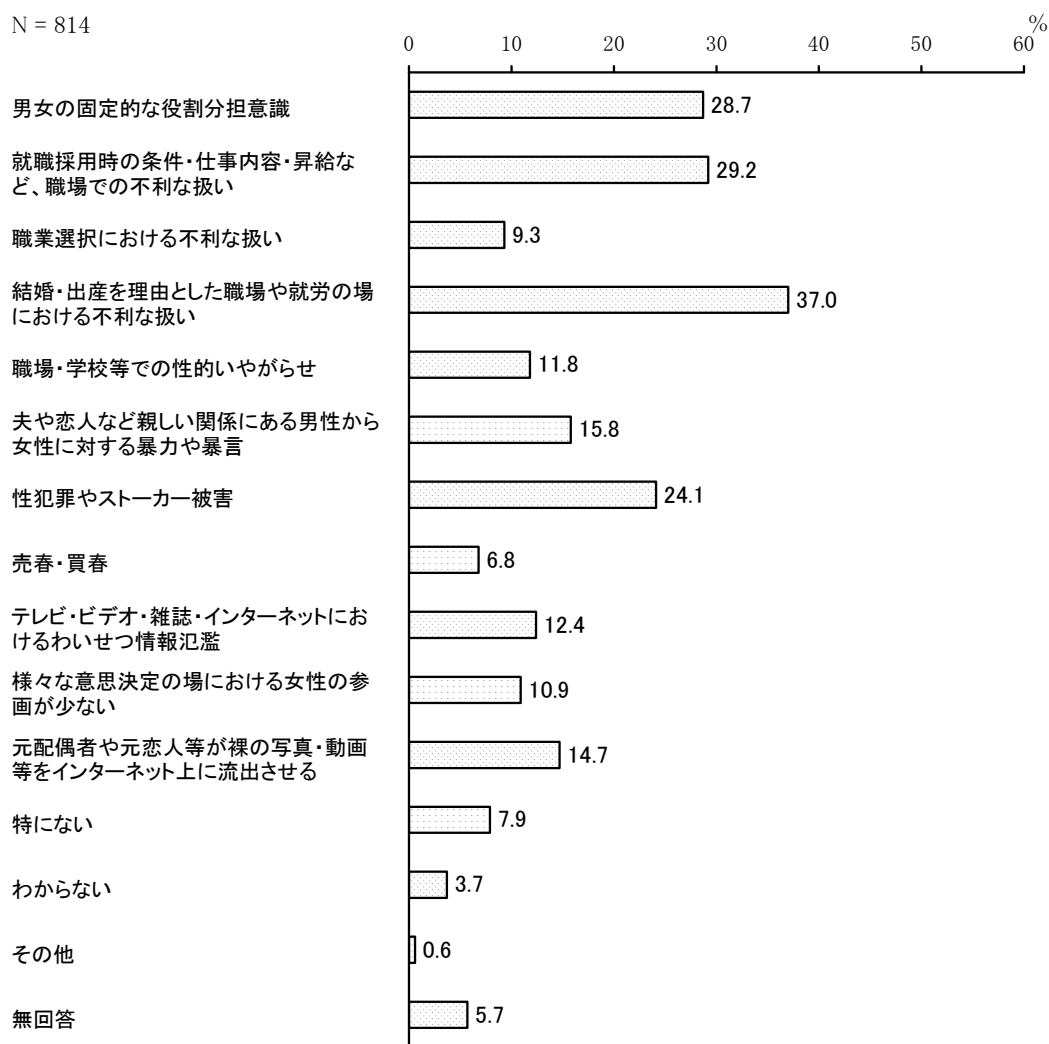
区分	暴力・脅迫・強要	ストーカー行為	近隣に対しての悪臭・騒音	犯罪・不法行為のぬれぎぬ	仲間はずれ	その他	人権侵害・差別をしたことはない	無回答
男性 20歳代	2.8	—	2.8	—	16.7	—	36.1	5.6
30歳代	4.3	—	2.2	—	15.2	6.5	43.5	—
40歳代	1.7	—	—	—	3.4	—	53.4	12.1
50歳代	—	—	3.1	—	1.5	3.1	63.1	1.5
60歳代	1.1	1.1	2.1	—	5.3	3.2	63.2	6.3
70歳代	—	—	1.3	—	1.3	—	62.0	13.9
80歳以上	—	—	—	—	—	—	100.0	—
女性 20歳代	—	4.8	2.4	—	21.4	2.4	31.0	4.8
30歳代	—	—	—	—	14.8	9.8	32.8	8.2
40歳代	1.4	—	1.4	—	10.0	4.3	47.1	10.0
50歳代	—	—	3.9	—	3.9	2.6	55.3	6.6
60歳代	—	—	4.0	—	1.0	3.0	57.6	9.1
70歳代	—	—	3.7	—	—	2.5	72.8	12.3
80歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—

3 様々な人権問題について

(1) 女性の人権

問9 女性に関することで、あなたが人権上問題があると思うのはどのようなことですか。(特にあてはまるもの3つ以内に○)

「結婚・出産を理由とした職場や就労の場における不利な扱い」の割合が37.0%と最も高く、次いで「就職採用時の条件・仕事内容・昇給など、職場での不利な扱い」の割合が29.2%、「男女の固定的な役割分担意識」の割合が28.7%となっています。



【その他意見】

- ・男だから、女だから、ということより、人間としてお互い助け合う意識を持つことが大切だと思うし、そういう教育・啓発をしていくべき
- ・女性だからという意識を女性自身がなくす必要有（甘え）

など

【性・年代別】

性・年代別でみると、他に比べ、女性の30歳代で「結婚・出産を理由とした職場や就労の場における不利な扱い」の割合が高く、約6割となっています。また、男性の20歳代、女性の30歳代で「男女の固定的な役割分担意識」の割合が高く、4割を超えているほか、女性の50歳代で「夫や恋人など親しい関係にある男性から女性に対する暴力や暴言」の割合が、男性の40歳代で「元配偶者や元恋人等が裸の写真・動画をインターネット上に流出させる」の割合が高く、約3割となっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	男女の固定的な役割分担意識	就職採用時の条件・仕事内容・昇給など、職場での不利な扱い	職業選択における不利な扱い	結婚・出産を理由とした職場や就労の場における不利な扱い	職場・学校等での性的いやがらせ	夫や恋人など親しい関係にある男性から女性に対する暴力や暴言	性犯罪やストーカ被害
男性 20歳代	36	44.4	27.8	5.6	50.0	13.9	19.4	27.8
30歳代	46	23.9	26.1	13.0	34.8	17.4	21.7	23.9
40歳代	58	22.4	29.3	15.5	24.1	10.3	13.8	31.0
50歳代	65	21.5	35.4	15.4	43.1	21.5	10.8	26.2
60歳代	95	27.4	28.4	13.7	38.9	7.4	10.5	17.9
70歳代	79	27.8	31.6	16.5	32.9	6.3	7.6	24.1
80歳以上	1	—	—	—	—	—	—	—
女性 20歳代	42	16.7	38.1	14.3	47.6	11.9	4.8	33.3
30歳代	61	44.3	34.4	4.9	59.0	9.8	21.3	21.3
40歳代	70	28.6	27.1	1.4	40.0	17.1	22.9	28.6
50歳代	76	32.9	28.9	2.6	40.8	17.1	30.3	28.9
60歳代	99	32.3	31.3	6.1	28.3	10.1	16.2	20.2
70歳代	81	25.9	17.3	6.2	22.2	4.9	13.6	17.3
80歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—

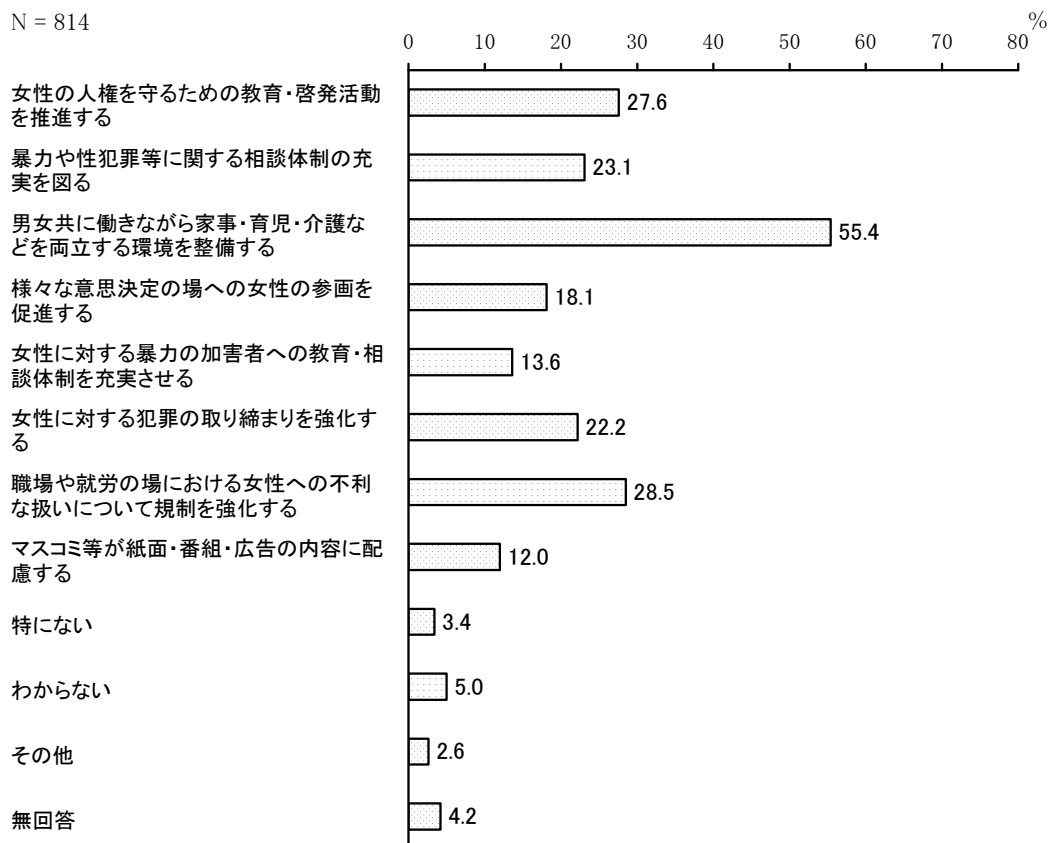
【性・年代別（つづき）】

単位：％

区分	売春・買春	情報氾濫 誌・インターネット におけるわいせつ	テレビ・ビデオ・雑 誌・インターネット における女性の 参画が少ない	様々な意思決定の 場における女性の 参画が少ない	元配偶者や元恋人 等が裸の写真・動画 等をインターネット 上に流出させる	特 に な い	わ か ら な い	そ の 他	無 回 答
男性 20 歳代	5.6	5.6	19.4	8.3	5.6	—	—	—	8.3
30 歳代	8.7	10.9	6.5	15.2	10.9	—	—	—	4.3
40 歳代	13.8	6.9	1.7	27.6	5.2	6.9	3.4	—	3.4
50 歳代	4.6	7.7	10.8	15.4	1.5	4.6	1.5	—	6.2
60 歳代	1.1	9.5	20.0	16.8	12.6	4.2	1.1	—	6.3
70 歳代	6.3	17.7	12.7	13.9	12.7	5.1	—	—	3.8
80 歳以上	—	—	—	—	—	100.0	—	—	—
女性 20 歳代	7.1	—	11.9	16.7	2.4	2.4	—	—	14.3
30 歳代	8.2	4.9	4.9	11.5	6.6	4.9	—	—	3.3
40 歳代	5.7	18.6	5.7	14.3	1.4	1.4	—	—	5.7
50 歳代	6.6	9.2	5.3	18.4	5.3	2.6	—	—	5.3
60 歳代	8.1	23.2	17.2	9.1	2.0	3.0	1.0	—	4.0
70 歳代	6.2	18.5	11.1	9.9	22.2	3.7	—	—	7.4
80 歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—

問 10 女性の人権を守るために、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。(特にあてはまるもの3つ以内に○)

「男女共に働きながら家事・育児・介護などを両立する環境を整備する」の割合が55.4%と最も高く、次いで「職場や就労の場における女性への不利な扱いについて規制を強化する」の割合が28.5%、「女性の人権を守るための教育・啓発活動を推進する」の割合が27.6%となっています。



【その他意見】

- ・女性自身の意識の変化
- ・女性・男性に関係なく、仕事の量・質・結果を同じにして評価する

など

【性・年代別】

性・年代別で見ると、他に比べ、女性の40歳代、50歳代で「暴力や性犯罪等に関する相談体制の充実を図る」の割合が、男性の20歳代、70歳代で「様々な意思決定の場への女性の参画を促進する」の割合が高く、約3割となっています。

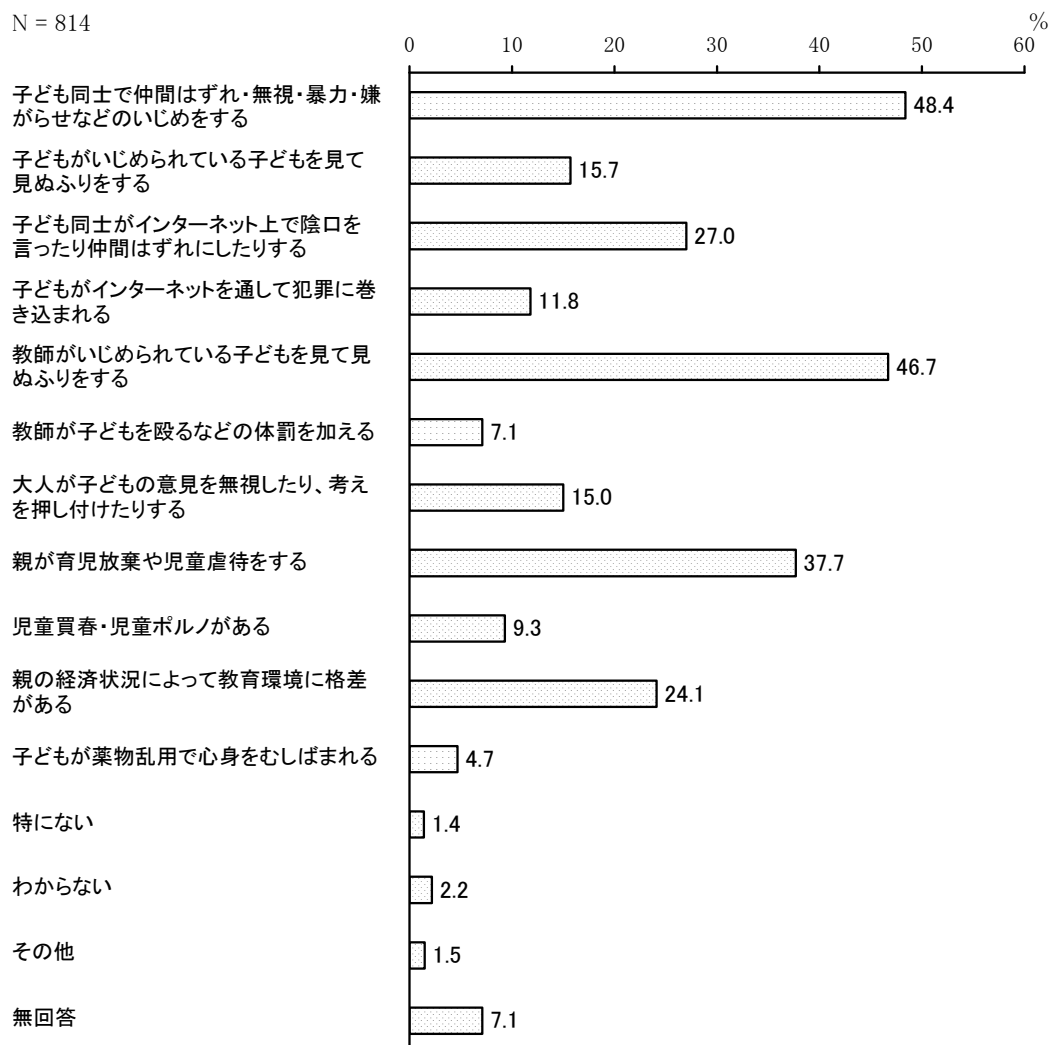
単位：％

区分	有効回答数(件)	女性の人権を守るための教育・啓発活動を推進する	暴力や性犯罪等に関する相談体制の充実を図る	男女共に働きながら家事・育児・介護などを両立する環境を整備する	様々な意思決定の場への女性の参画を促進する	女性に対する暴力の加害者への教育・相談体制を充実させる	女性に対する犯罪の取り締まりを強化する	職場や就労の場における女性への不利な扱いについて規制を強化する	マスコミ等が紙面・番組・広告の内容に配慮する	特になし	わからない	その他	無回答
男性 20歳代	36	22.2	22.2	55.6	27.8	11.1	22.2	30.6	13.9	2.8	2.8	5.6	2.8
30歳代	46	19.6	26.1	47.8	17.4	17.4	19.6	34.8	2.2	8.7	4.3	4.3	4.3
40歳代	58	24.1	19.0	56.9	8.6	8.6	32.8	25.9	13.8	1.7	8.6	8.6	1.7
50歳代	65	27.7	23.1	49.2	21.5	12.3	20.0	30.8	12.3	3.1	4.6	1.5	3.1
60歳代	95	32.6	21.1	51.6	24.2	15.8	23.2	26.3	5.3	4.2	4.2	2.1	4.2
70歳代	79	36.7	20.3	49.4	29.1	8.9	19.0	31.6	13.9	8.9	5.1	1.3	3.8
80歳以上	1	—	100.0	100.0	—	100.0	—	—	—	—	—	—	—
女性 20歳代	42	14.3	23.8	64.3	11.9	19.0	21.4	28.6	16.7	—	7.1	2.4	4.8
30歳代	61	27.9	19.7	62.3	6.6	8.2	24.6	32.8	6.6	3.3	6.6	3.3	4.9
40歳代	70	21.4	31.4	61.4	11.4	12.9	25.7	31.4	15.7	—	2.9	1.4	4.3
50歳代	76	34.2	34.2	53.9	14.5	21.1	25.0	30.3	7.9	1.3	6.6	2.6	2.6
60歳代	99	29.3	22.2	60.6	17.2	11.1	16.2	23.2	20.2	1.0	4.0	1.0	4.0
70歳代	81	28.4	13.6	55.6	23.5	14.8	19.8	23.5	14.8	6.2	3.7	—	8.6
80歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(2) 子どもの人権

問11 子どもに関することで、あなたが人権上問題があると思うのはどのようなことですか。(特にあてはまるもの3つ以内に○)

「子ども同士で仲間はずれ・無視・暴力・嫌がらせなどのいじめをする」の割合が48.4%と最も高く、次いで「教師がいじめられている子どもを見て見ぬふりをする」の割合が46.7%、「親が育児放棄や児童虐待をする」の割合が37.7%となっています。



【その他意見】

- ・子どもへの基本的なしつけを教育機関まかせにする親がいること
- ・子どもの問題というより基本的には大人の問題かと

など

【性・年代別】

性・年代別で見ると、他に比べ、男性の20歳代、女性の50歳代で「教師がいじめられている子どもを見て見ぬふりをする」の割合が高く、約6割となっています。また、男性の30歳代、女性の30歳代で「子ども同士がインターネット上で陰口を言ったり仲間はずれにしたりする」の割合が高く、約4割となっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	子ども同士で仲間はずれ・無視・暴力・嫌がらせなどのいじめをする	子どもがいじめられている子どもを見て見ぬふりをする	子ども同士がインターネット上で陰口を言ったり仲間はずれにしたりする	子どもがインターネットを通して犯罪に巻き込まれる	教師がいじめられている子どもを見て見ぬふりをする	教師が子どもを殴るなどの体罰を加える	大人が子どもの意見を無視したり、考えを押し付けたりする
男性 20歳代	36	41.7	11.1	27.8	19.4	61.1	11.1	16.7
30歳代	46	39.1	8.7	41.3	8.7	39.1	4.3	8.7
40歳代	58	43.1	15.5	31.0	10.3	31.0	5.2	12.1
50歳代	65	53.8	21.5	27.7	6.2	53.8	6.2	15.4
60歳代	95	51.6	23.2	22.1	11.6	44.2	3.2	10.5
70歳代	79	55.7	21.5	19.0	7.6	48.1	7.6	13.9
80歳以上	1	—	—	—	—	—	—	—
女性 20歳代	42	54.8	11.9	26.2	9.5	38.1	2.4	26.2
30歳代	61	36.1	4.9	41.0	11.5	47.5	6.6	21.3
40歳代	70	54.3	12.9	28.6	14.3	47.1	12.9	12.9
50歳代	76	43.4	13.2	28.9	15.8	56.6	7.9	9.2
60歳代	99	54.5	15.2	28.3	9.1	49.5	7.1	19.2
70歳代	81	45.7	18.5	16.0	19.8	44.4	8.6	17.3
80歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—

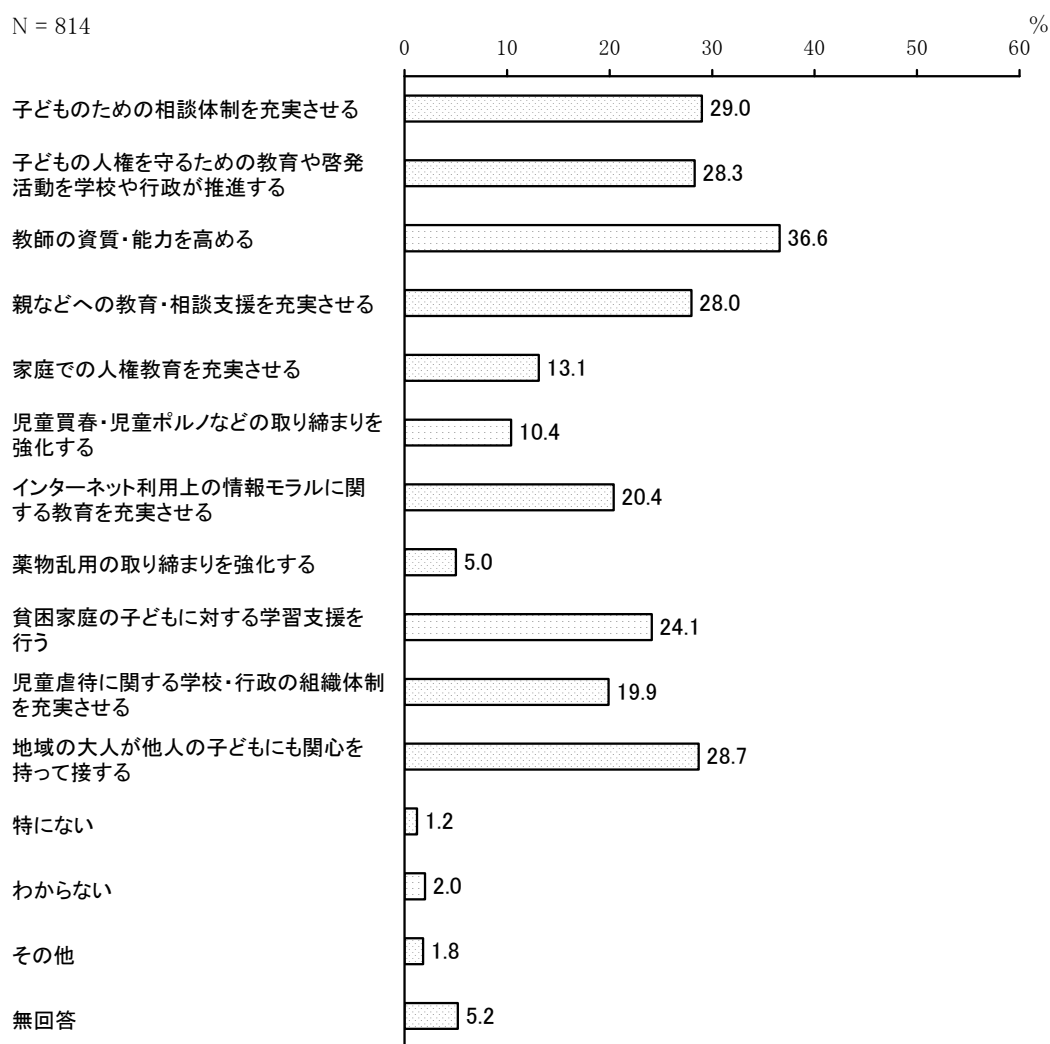
【性・年代別（つづき）】

単位：％

区分	親が育児放棄や児童虐待をする	児童買春・児童ポルノがある	親の経済状況によって教育環境に格差がある	子どもが薬物乱用で心身をむしばまれる	特にない	わからない	その他	無回答
男性 20 歳代	33.3	5.6	22.2	11.1	—	—	—	5.6
30 歳代	41.3	2.2	21.7	8.7	2.2	4.3	2.2	10.9
40 歳代	31.0	10.3	29.3	5.2	5.2	5.2	3.4	6.9
50 歳代	32.3	7.7	15.4	4.6	—	3.1	1.5	7.7
60 歳代	33.7	5.3	26.3	2.1	1.1	3.2	1.1	10.5
70 歳代	34.2	6.3	27.8	—	3.8	3.8	—	7.6
80 歳以上	—	—	—	—	—	—	100.0	—
女性 20 歳代	31.0	11.9	26.2	11.9	—	2.4	—	9.5
30 歳代	37.7	19.7	23.0	4.9	—	—	1.6	8.2
40 歳代	37.1	12.9	14.3	4.3	—	1.4	—	5.7
50 歳代	48.7	15.8	25.0	2.6	—	1.3	1.3	3.9
60 歳代	46.5	6.1	27.3	3.0	1.0	1.0	4.0	3.0
70 歳代	37.0	8.6	25.9	7.4	1.2	1.2	—	8.6
80 歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—

問12 子どもの人権を守るために、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。(特にあてはまるもの3つ以内に○)

「教師の資質・能力を高める」の割合が36.6%と最も高く、次いで「子どものための相談体制を充実させる」の割合が29.0%、「地域の大人が他人の子どもにも関心を持って接する」の割合が28.7%となっています。



【その他意見】

- ・子どもとはどういうものであるのかという認識
- ・母子家庭への、経済的支援、行政福祉の充実（虐待に限定せず）
- ・子どもが、本心を話せる大人を作ることが必要と思う

など

【性・年代別】

性・年代別でみると、他に比べ、男性の70歳代で「子どもの人権を守るための教育や啓発活動を学校や行政が推進する」の割合が、女性の20歳代、30歳代で「親などへの教育・相談支援を充実させる」の割合が高く、4割を超えています。また、女性の30歳代、40歳代で「児童買春・児童ポルノなどの取り締まりを強化する」の割合が高く、約2割となっています。

単位：%

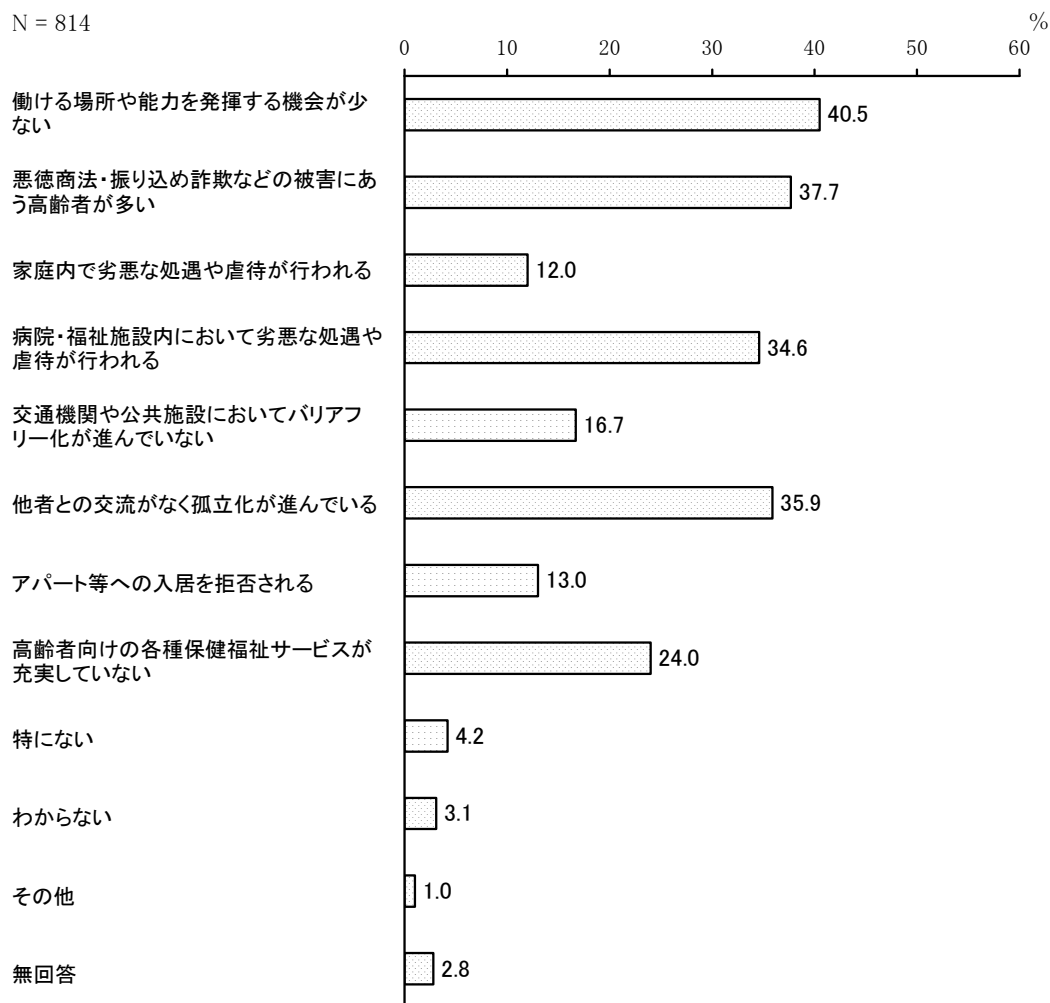
区分	有効回答数(件)	子どもの人権を守るための教育や行政が推進する	子どもの人権を守るための教育や行政が推進する	教師の資質・能力を高める	親などへの教育・相談支援を充実させる	家庭での人権教育を充実させる	児童買春・児童ポルノなどの取り締まりを強化する	インターネット利用上の情報モラルに関する教育を充実させる
男性 20歳代	36	25.0	22.2	52.8	38.9	16.7	—	25.0
30歳代	46	26.1	23.9	23.9	23.9	10.9	2.2	30.4
40歳代	58	27.6	22.4	25.9	19.0	13.8	8.6	20.7
50歳代	65	33.8	29.2	36.9	26.2	9.2	7.7	16.9
60歳代	95	32.6	32.6	45.3	23.2	18.9	5.3	17.9
70歳代	79	30.4	41.8	36.7	16.5	11.4	7.6	12.7
80歳以上	1	—	100.0	—	100.0	—	100.0	—
女性 20歳代	42	33.3	16.7	19.0	47.6	11.9	9.5	19.0
30歳代	61	34.4	18.0	27.9	42.6	3.3	21.3	29.5
40歳代	70	28.6	21.4	38.6	22.9	10.0	20.0	27.1
50歳代	76	27.6	27.6	35.5	31.6	13.2	17.1	25.0
60歳代	99	27.3	28.3	42.4	33.3	15.2	7.1	20.2
70歳代	81	22.2	38.3	43.2	24.7	17.3	12.3	9.9
80歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—

区分	薬物乱用の取り締まりを強化する	貧困家庭の子どもに対する学習支援を行う	児童虐待に関する学校・行政の組織体制を充実させる	地域の大人が他人の子どもにも関心を持って接する	特になし	わからない	その他	無回答
男性 20歳代	—	25.0	8.3	33.3	—	—	—	5.6
30歳代	10.9	21.7	13.0	32.6	—	6.5	4.3	8.7
40歳代	3.4	31.0	12.1	25.9	3.4	5.2	3.4	6.9
50歳代	4.6	30.8	20.0	36.9	—	1.5	1.5	3.1
60歳代	5.3	21.1	25.3	22.1	—	3.2	3.2	4.2
70歳代	3.8	17.7	20.3	35.4	5.1	2.5	—	8.9
80歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—
女性 20歳代	7.1	28.6	19.0	19.0	—	2.4	—	7.1
30歳代	4.9	24.6	9.8	34.4	1.6	—	1.6	4.9
40歳代	8.6	22.9	24.3	24.3	—	1.4	1.4	4.3
50歳代	3.9	23.7	25.0	23.7	—	2.6	1.3	3.9
60歳代	3.0	26.3	21.2	26.3	1.0	—	4.0	3.0
70歳代	4.9	21.0	24.7	34.6	1.2	—	—	4.9
80歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—

(3) 高齢者の人権

問13 高齢者に関することで、あなたが人権上問題があると思うのはどのようなことですか。(特にあてはまるもの3つ以内に○)

「働ける場所や能力を発揮する機会が少ない」の割合が40.5%と最も高く、次いで「悪徳商法・振り込め詐欺などの被害にあう高齢者が多い」の割合が37.7%、「他者との交流がなく孤立化が進んでいる」の割合が35.9%となっています。



【その他意見】

- ・無年金者の困窮
- ・年金の削減

など

【性・年代別】

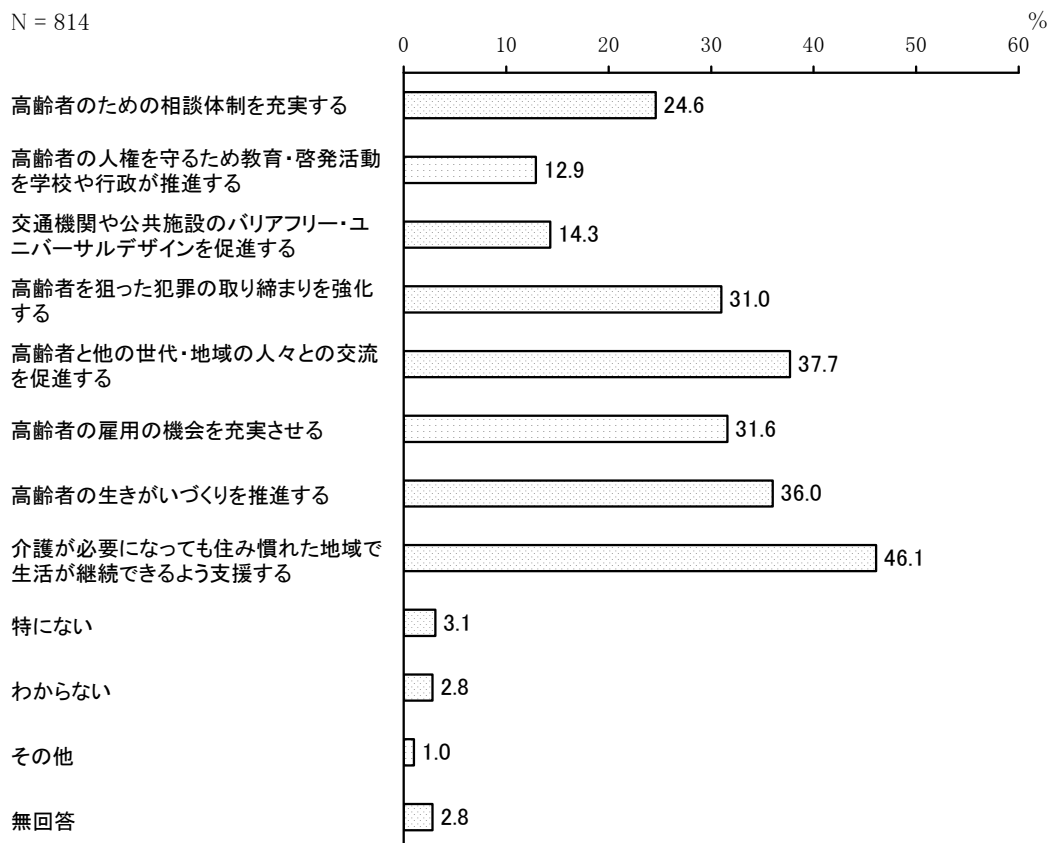
性・年代別でみると、他に比べ、男性の50歳代、女性の50歳代で「悪徳商法・振り込め詐欺などの被害にあう高齢者が多い」の割合が、女性の20歳代から40歳代で「病院・福祉施設内において劣悪な処遇や虐待が行われる」の割合が高く、4割を超えています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	働ける場所や能力を發揮する機会が少ない	悪徳商法・振り込め詐欺などの被害にあう高齢者が多い	家庭内で劣悪な処遇や虐待が行われる	病院・福祉施設内において劣悪な処遇や虐待が行われる	リアフリー化が進んでいない	交通機関や公共施設においてバリアフリー化が進んでいない	他者との交流がなく孤立化が進んでいる	アパート等への入居を拒否される	高齢者向けの各種保健福祉サービスが充実していない	特になし	わからない	その他	無回答
男性 20歳代	36	22.2	44.4	19.4	33.3	27.8	47.2	13.9	13.9	11.1	2.8	—	—	
30歳代	46	50.0	41.3	8.7	30.4	4.3	43.5	4.3	15.2	4.3	6.5	2.2	4.3	
40歳代	58	46.6	44.8	3.4	27.6	15.5	25.9	20.7	25.9	3.4	3.4	3.4	1.7	
50歳代	65	44.6	46.2	7.7	27.7	16.9	38.5	7.7	29.2	3.1	3.1	1.5	3.1	
60歳代	95	44.2	29.5	3.2	34.7	16.8	30.5	8.4	29.5	9.5	3.2	1.1	4.2	
70歳代	79	43.0	36.7	13.9	34.2	19.0	40.5	10.1	22.8	5.1	6.3	—	1.3	
80歳以上	1	—	—	100.0	100.0	—	100.0	—	—	—	—	—	—	
女性 20歳代	42	28.6	33.3	21.4	42.9	23.8	33.3	4.8	23.8	7.1	2.4	—	4.8	
30歳代	61	27.9	27.9	23.0	44.3	13.1	37.7	18.0	16.4	3.3	1.6	1.6	4.9	
40歳代	70	41.4	35.7	10.0	47.1	18.6	30.0	15.7	25.7	2.9	4.3	—	2.9	
50歳代	76	44.7	48.7	14.5	39.5	13.2	31.6	21.1	22.4	—	2.6	—	2.6	
60歳代	99	45.5	33.3	10.1	25.3	22.2	45.5	15.2	25.3	1.0	1.0	2.0	2.0	
70歳代	81	34.6	39.5	16.0	33.3	12.3	29.6	12.3	28.4	3.7	—	—	2.5	
80歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

問 14 高齢者の人権を守るために、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。(特にあてはまるもの3つ以内に○)

「介護が必要になっても住み慣れた地域で生活が継続できるよう支援する」の割合が46.1%と最も高く、次いで「高齢者与其他の世代・地域の人々との交流を促進する」の割合が37.7%、「高齢者の生きがいを推進する」の割合が36.0%となっています。



【その他意見】

- ・ 山間部に住む高齢者が、家族に送迎を頼らなくても出かけることのできる環境づくりの充実
- ・ 高齢者はもはや、少数派でないという認識
- ・ 高齢者と関わる全ての仕事の賃金を上げる

など

【性・年代別】

性・年代別で見ると、他に比べ、女性の70歳代で「介護が必要になっても住み慣れた地域で生活が継続できるよう支援する」の割合が高く、6割を超えています。また、男性40歳代で「高齢者の雇用の機会を充実させる」の割合が高く、5割となっています。

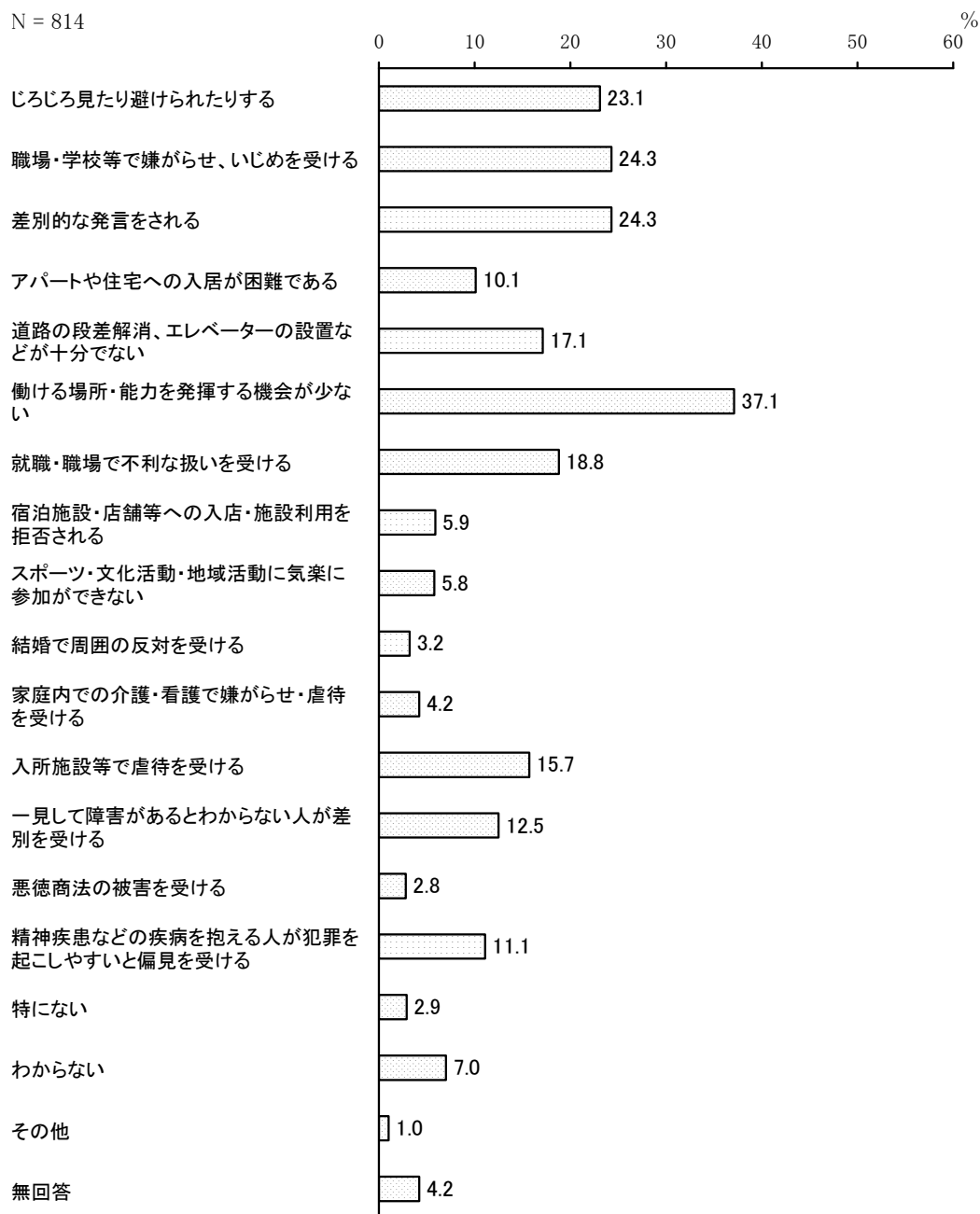
単位：%

区分	有効回答数(件)	高齢者のための相談体制を充実する	高齢者の人権を守るため教育・啓発活動を学校や行政が推進する	交通機関や公共施設のバリアフリー・ユニバーサルデザインを促進する	高齢者を狙った犯罪の取り締まりを強化する	高齢者その他の世代・地域の人々との交流を促進する	高齢者の雇用の機会を充実させる	高齢者の生きがいがづくりを推進する	介護が必要になっても住み慣れた地域で生活が継続できるよう支援する	特にない	わからない	その他	無回答
男性 20歳代	36	33.3	5.6	13.9	36.1	50.0	27.8	47.2	25.0	11.1	—	—	2.8
30歳代	46	6.5	6.5	4.3	32.6	43.5	37.0	43.5	34.8	2.2	8.7	2.2	4.3
40歳代	58	24.1	3.4	13.8	37.9	22.4	50.0	32.8	37.9	1.7	5.2	3.4	5.2
50歳代	65	27.7	15.4	13.8	36.9	32.3	32.3	18.5	41.5	3.1	3.1	1.5	4.6
60歳代	95	28.4	23.2	10.5	30.5	33.7	32.6	33.7	36.8	3.2	5.3	—	3.2
70歳代	79	35.4	19.0	20.3	29.1	35.4	22.8	32.9	50.6	2.5	3.8	—	2.5
80歳以上	1	—	—	—	100.0	—	—	100.0	—	—	—	—	—
女性 20歳代	42	14.3	2.4	21.4	38.1	38.1	26.2	38.1	42.9	7.1	2.4	2.4	2.4
30歳代	61	13.1	8.2	16.4	27.9	52.5	24.6	37.7	44.3	1.6	4.9	—	3.3
40歳代	70	18.6	12.9	15.7	32.9	34.3	35.7	34.3	52.9	1.4	2.9	—	2.9
50歳代	76	28.9	10.5	17.1	39.5	38.2	40.8	39.5	50.0	—	—	—	1.3
60歳代	99	31.3	12.1	15.2	19.2	41.4	33.3	37.4	50.5	3.0	—	2.0	2.0
70歳代	81	22.2	18.5	9.9	23.5	38.3	18.5	43.2	65.4	3.7	—	1.2	1.2
80歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(4) 障害のある人の人権

問 15 障害のある人が地域で生活するとき、あなたが人権上問題があると思うのはどのようなことですか。(特にあてはまるもの3つ以内に○)

「働ける場所・能力を発揮する機会が少ない」の割合が37.1%と最も高く、次いで「職場・学校等で嫌がらせ、いじめを受ける」、「差別的な発言をされる」の割合が24.3%となっています。



【その他意見】

- ・行動に不安が有ることの理解不足による
- ・障害者に対する差別等の問題を知る機会が少ない
- ・内部障害であることを近隣の人が理解協力してくれない
- ・精神障害、身体の障害、先天性、後天性等により、個別の認識、対策があった方がよい

など

【性・年代別】

性・年代別で見ると、他に比べ、男性の30歳代で「差別的な発言をされる」の割合が高く、約4割となっています。また、女性の30歳代で「宿泊施設・店舗等への入店・施設利用を拒否される」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	じろじろ見たり避けられ たりする	職場・学校等で嫌がらせ、 いじめを受ける	差別的な発言をされる	アパートや住宅への入居 が困難である	道路の段差解消、エレベーター の設置などが十分でない	働ける場所・能力を發揮する 機会が少ない	就職・職場で不利な扱いを 受ける	宿泊施設・店舗等への入 店・施設利用を拒否される	スポーツ・文化活動・地域 活動に気楽に参加が できない
男性 20歳代	36	22.2	33.3	30.6	2.8	16.7	36.1	27.8	8.3	5.6
30歳代	46	19.6	26.1	37.0	8.7	8.7	30.4	21.7	2.2	2.2
40歳代	58	22.4	22.4	25.9	17.2	10.3	44.8	13.8	8.6	3.4
50歳代	65	26.2	24.6	26.2	16.9	18.5	35.4	12.3	4.6	6.2
60歳代	95	25.3	14.7	20.0	11.6	16.8	41.1	22.1	6.3	6.3
70歳代	79	22.8	24.1	30.4	5.1	27.8	36.7	21.5	5.1	7.6
80歳以上	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
女性 20歳代	42	35.7	31.0	23.8	2.4	9.5	28.6	19.0	7.1	9.5
30歳代	61	13.1	34.4	29.5	4.9	13.1	32.8	23.0	16.4	3.3
40歳代	70	24.3	28.6	25.7	10.0	10.0	42.9	15.7	2.9	2.9
50歳代	76	23.7	25.0	21.1	13.2	18.4	35.5	21.1	6.6	5.3
60歳代	99	26.3	23.2	18.2	11.1	23.2	36.4	15.2	3.0	5.1
70歳代	81	18.5	18.5	18.5	9.9	21.0	39.5	18.5	3.7	8.6
80歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

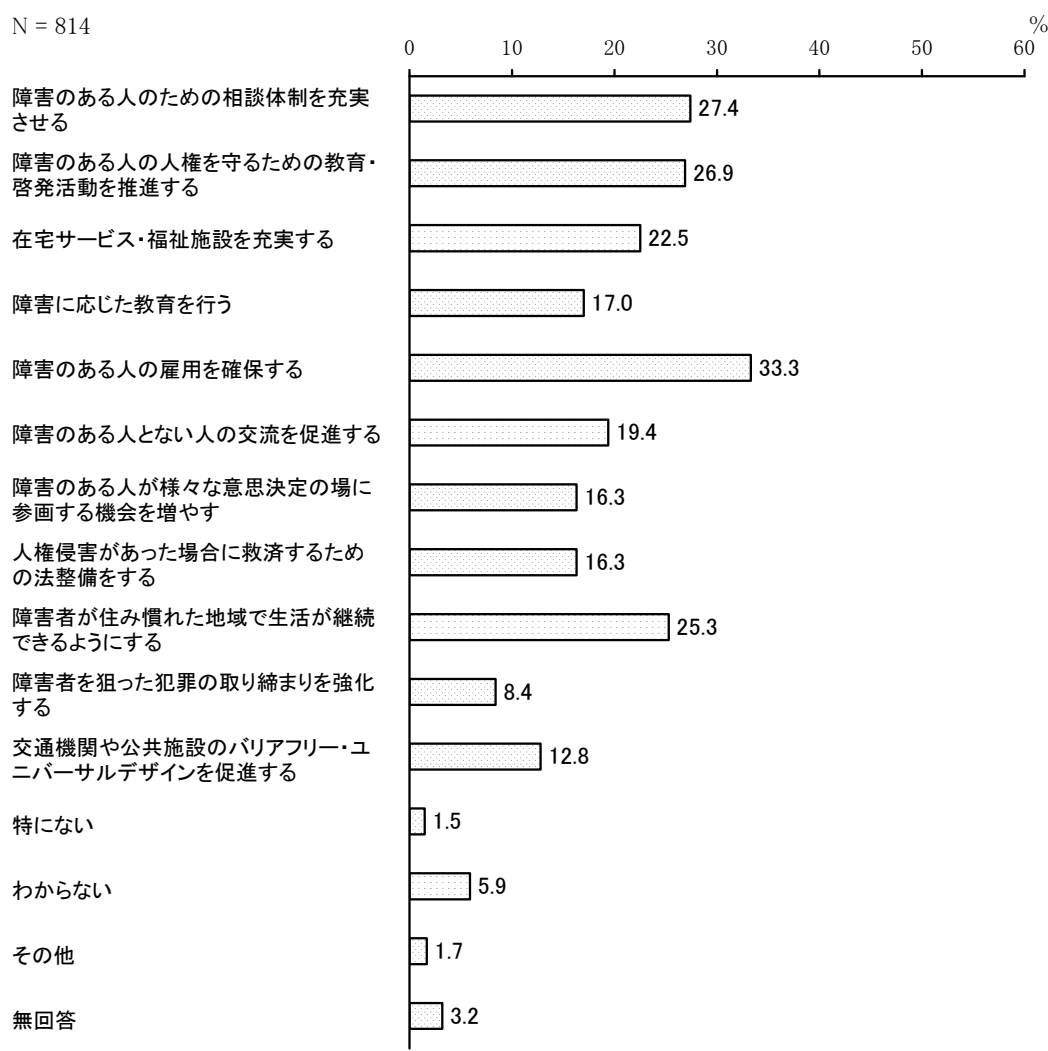
【性・年代別（つづき）】

単位：％

区分	結婚で周囲の反対を受ける	家庭内での介護・看護で嫌がらせ・虐待を受ける	入所施設等で虐待を受ける	一見して障害があるとわからない人が差別を受ける	悪徳商法の被害を受ける	精神疾患などの疾病を抱える人が犯罪を起こしやすいと偏見を受ける	特にない	わからない	その他	無回答
男性 20 歳代	5.6	—	11.1	11.1	5.6	19.4	2.8	5.6	—	5.6
30 歳代	6.5	2.2	19.6	8.7	2.2	10.9	—	10.9	2.2	8.7
40 歳代	5.2	5.2	13.8	8.6	1.7	12.1	5.2	5.2	1.7	5.2
50 歳代	3.1	7.7	18.5	6.2	6.2	9.2	3.1	4.6	1.5	4.6
60 歳代	2.1	2.1	8.4	9.5	2.1	3.2	5.3	12.6	1.1	3.2
70 歳代	2.5	2.5	16.5	10.1	1.3	7.6	6.3	5.1	1.3	1.3
80 歳以上	—	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—
女性 20 歳代	2.4	4.8	9.5	21.4	—	14.3	—	7.1	—	4.8
30 歳代	3.3	4.9	23.0	11.5	1.6	11.5	3.3	3.3	—	6.6
40 歳代	4.3	4.3	22.9	20.0	1.4	15.7	1.4	—	—	7.1
50 歳代	2.6	6.6	21.1	17.1	5.3	18.4	—	6.6	—	1.3
60 歳代	2.0	3.0	14.1	14.1	3.0	11.1	2.0	7.1	2.0	4.0
70 歳代	2.5	4.9	9.9	13.6	3.7	8.6	2.5	12.3	1.2	2.5
80 歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

問 16 障害のある人の人権を守るために、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。(特にあてはまるもの3つ以内に○)

「障害のある人の雇用を確保する」の割合が 33.3%と最も高く、次いで「障害のある人のための相談体制を充実させる」の割合が 27.4%、「障害のある人の人権を守るための教育・啓発活動を推進する」の割合が 26.9%、「障害のある人の人権を守るための教育・啓発活動を推進する」の割合が 26.9%となっています。



【その他意見】

- ・“障害”というくくりから差別がはじまっていると思う
- ・入所施設、通所施設をもっと増やすべき
- ・子供のころから障害者と交流すること
- ・過保護にしない
- ・障害についての知識や情報を身に付ける

など

【性・年代別】

性・年代別で見ると、他に比べ、男性の70歳代で「障害のある人のための相談体制を充実させる」の割合が、男性の40歳代で「障害のある人の雇用を確保する」の割合が高く、約5割となっています。また、男性の50歳代、女性の50歳代で「障害者を狙った犯罪の取り締まりを強化する」の割合が高くなっています。

単位：%

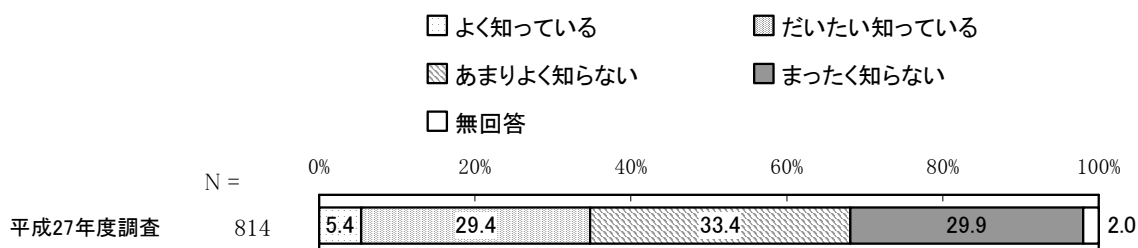
区分	有効回答数(件)	障害のある人への相談体制を充実させる	障害のある人の権利を守るための教育・啓発活動を推進する	在宅サービス・福祉施設を充実する	障害にに応じた教育を行う	障害のある人の雇用を確保する	障害のある人との交流を促進する	障害のある人が様々な意思決定の場に参画する機会を増やす
男性 20歳代	36	22.2	30.6	16.7	22.2	44.4	22.2	22.2
30歳代	46	19.6	26.1	13.0	13.0	30.4	19.6	13.0
40歳代	58	20.7	19.0	31.0	20.7	46.6	10.3	13.8
50歳代	65	26.2	30.8	18.5	13.8	30.8	16.9	15.4
60歳代	95	34.7	27.4	23.2	13.7	31.6	13.7	15.8
70歳代	79	46.8	31.6	26.6	15.2	36.7	20.3	19.0
80歳以上	1	—	—	100.0	—	—	—	100.0
女性 20歳代	42	28.6	19.0	11.9	26.2	21.4	23.8	23.8
30歳代	61	14.8	36.1	24.6	18.0	19.7	23.0	14.8
40歳代	70	12.9	22.9	15.7	27.1	42.9	21.4	15.7
50歳代	76	26.3	25.0	22.4	19.7	34.2	19.7	11.8
60歳代	99	30.3	24.2	25.3	13.1	35.4	19.2	20.2
70歳代	81	32.1	28.4	29.6	11.1	27.2	23.5	13.6
80歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—

区分	人権侵害があった場合に救済するための法整備をする	障害者が住み慣れた地域で生活が継続できるようにする	障害者を狙った犯罪の取り締まりを強化する	障害者を狙った犯罪の取り締まりを強化する	交通機関や公共施設のバリアフリー・ユニバーサルデザインを促進する	特になし	わからない	その他	無回答
男性 20歳代	19.4	25.0	11.1	8.3	2.8	2.8	—	—	
30歳代	15.2	23.9	8.7	10.9	2.2	10.9	2.2	4.3	
40歳代	13.8	19.0	5.2	10.3	3.4	10.3	5.2	3.4	
50歳代	15.4	12.3	18.5	16.9	1.5	4.6	3.1	4.6	
60歳代	13.7	28.4	3.2	11.6	—	9.5	1.1	4.2	
70歳代	8.9	32.9	6.3	11.4	—	6.3	—	1.3	
80歳以上	—	—	100.0	—	—	—	—	—	
女性 20歳代	14.3	14.3	4.8	14.3	2.4	7.1	4.8	4.8	
30歳代	24.6	31.1	3.3	18.0	1.6	6.6	1.6	3.3	
40歳代	27.1	25.7	7.1	11.4	1.4	—	—	4.3	
50歳代	21.1	27.6	17.1	13.2	—	3.9	1.3	1.3	
60歳代	17.2	22.2	7.1	19.2	1.0	5.1	3.0	2.0	
70歳代	9.9	30.9	8.6	6.2	2.5	4.9	—	4.9	
80歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—	

(5) 同和問題

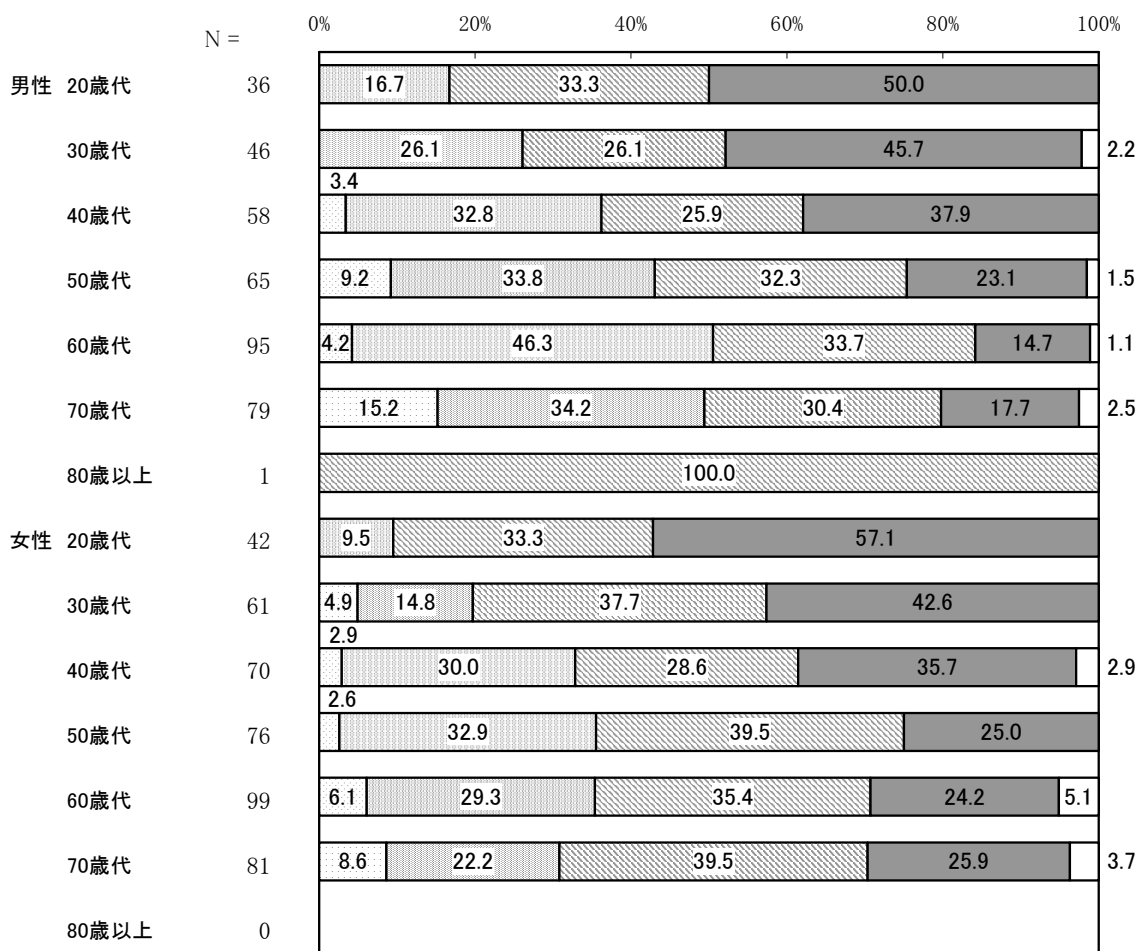
問 17 あなたは同和問題についてご存知ですか。(あてはまるもの1つに○)

「よく知っている」と「だいたい知っている」をあわせた“知っている”の割合が34.8%、「あまりよく知らない」と「まったく知らない」をあわせた“知らない”の割合が63.3%となっています。



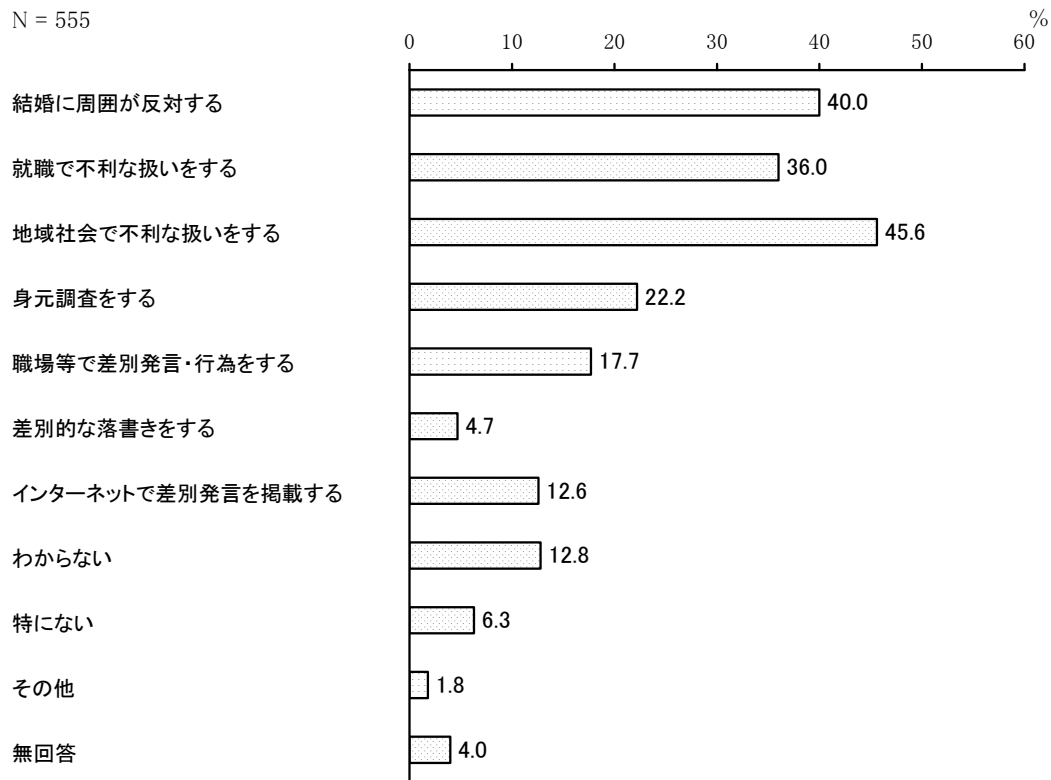
【性・年代別】

性・年代別で見ると、男性で年代が高くなるにつれ“知っている”の割合が高くなる傾向がみられます。また、他に比べ、女性の20歳代で“知っている”の割合が低く、1割未満となっています。



問 18 問 17 で 1～3 を選んだ人にお尋ねします。同和問題で、あなたが人権上問題があると思うのはどのようなことですか。(特にあてはまるもの 3 つ以内に○)

「地域社会で不利な扱いをする」の割合が 45.6%と最も高く、次いで「結婚に周囲が反対する」の割合が 40.0%、「就職で不利な扱いをする」の割合が 36.0%となっています。



【その他意見】

- ・時代が変わっているのに子孫まで引きずっているのが問題だと思う
- ・同和そのものを問題にする事が問題と思う

など

【性・年代別】

性・年代別で見ると、女性で年代が低くなるにつれ「就職で不利な扱いをする」の割合が高くなっています。また、他に比べ、女性の20歳代で「結婚に周囲が反対する」の割合が、男性の40歳代、女性の30歳代、50歳代で「地域社会で不利な扱いをする」の割合が高く、約6割となっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	結婚に周囲が反対する	就職で不利な扱いをする	地域社会で不利な扱いをする	身元調査をする	職場等で差別発言・行為をする	差別的な落書きをする	インターネットで差別発言を掲載する	わからない	特にない	その他	無回答
男性 20歳代	18	33.3	38.9	50.0	22.2	22.2	—	11.1	5.6	11.1	5.6	—
30歳代	24	50.0	33.3	54.2	20.8	25.0	—	16.7	4.2	4.2	—	8.3
40歳代	36	38.9	52.8	58.3	5.6	25.0	2.8	8.3	8.3	2.8	2.8	2.8
50歳代	49	42.9	51.0	42.9	28.6	20.4	6.1	14.3	10.2	2.0	—	4.1
60歳代	80	35.0	28.8	45.0	22.5	16.3	6.3	12.5	16.3	6.3	2.5	3.8
70歳代	63	36.5	34.9	39.7	19.0	7.9	7.9	12.7	15.9	15.9	3.2	—
80歳以上	1	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—	—
女性 20歳代	18	61.1	50.0	50.0	22.2	5.6	—	—	5.6	—	—	5.6
30歳代	35	51.4	48.6	62.9	31.4	20.0	2.9	17.1	5.7	—	—	2.9
40歳代	43	41.9	44.2	44.2	30.2	25.6	9.3	11.6	9.3	2.3	2.3	4.7
50歳代	57	50.9	42.1	59.6	22.8	19.3	5.3	8.8	12.3	1.8	—	1.8
60歳代	70	32.9	24.3	37.1	21.4	14.3	2.9	20.0	20.0	8.6	4.3	1.4
70歳代	57	31.6	15.8	29.8	19.3	19.3	1.8	10.5	15.8	10.5	—	14.0
80歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

【同和問題に対する認知度別】

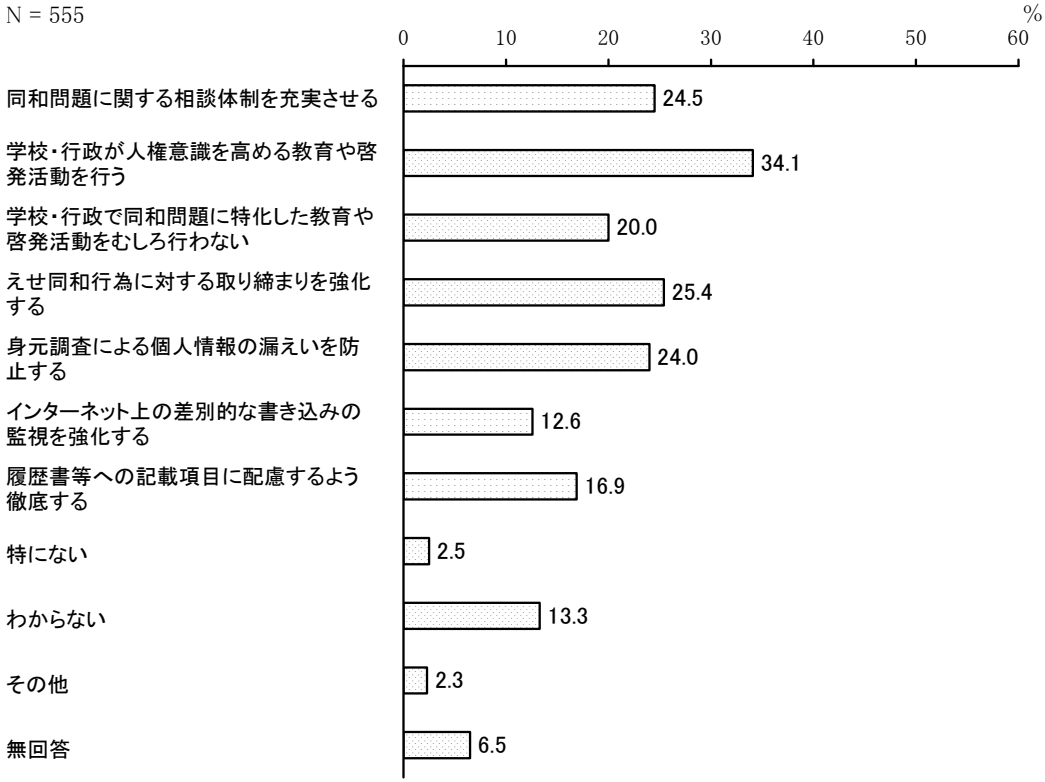
同和問題に対する認知度別でみると、認知度が高くなるにつれ「身元調査をする」の割合が高くなる傾向がみられます。また、あまりよく知らないで「わからない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	結婚に周囲が反対する	就職で不利な扱いをする	地域社会で不利な扱いをする	身元調査をする	職場等で差別発言・行為をする	差別的な落書きをする	インターネットで差別発言を掲載する	わからない	特にない	その他	無回答
よく知っている	44	50.0	36.4	50.0	36.4	11.4	2.3	15.9	6.8	4.5	4.5	4.5
だいたい知っている	239	53.1	42.3	49.8	24.7	17.2	5.4	10.5	4.6	7.1	2.9	2.9
あまりよく知らない	272	26.8	30.5	41.2	17.6	19.1	4.4	14.0	21.0	5.9	0.4	4.8

問 19 問 17 で 1～3 を選んだ人にお尋ねします。同和問題を解決するために、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。(特にあてはまるもの3つ以内に○)

「学校・行政が人権意識を高める教育や啓発活動を行う」の割合が 34.1%と最も高く、次いで「えせ同和行為*に対する取り締まりを強化する」の割合が 25.4%、「同和問題に関する相談体制を充実させる」の割合が 24.5%となっています。



【その他意見】

- ・差別に対する法規制
- ・混住し、意識を薄める
- ・逆差別のない、ちゃんとした教育を促進
- ・差別の加害者に厳罰

など

【性・年代別】

性・年代別でみると、他に比べ、男性の50歳代で「学校・行政が人権意識を高める教育や啓発活動を行う」の割合が高く、約5割となっています。また、男性の20歳代で「学校・行政で同和問題に特化した教育や啓発活動をむしろ行わない」の割合が、女性の40歳代で「身元調査による個人情報の漏えいを防止する」の割合が高く、約4割となっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	同和問題に関する相談体制を充実させる	学校・行政が人権意識を高める教育や啓発活動を行う	学校・行政で同和問題に特化した教育や啓発活動をむしろ行わない	えせ同和行為に対する取り締まりを強化する	身元調査による個人情報の漏えいを防止する	インターネット上の差別的な書き込みの監視を強化する	履歴書等への記載項目に配慮するよう徹底する	特になし	わからない	その他	無回答
男性 20歳代	18	22.2	38.9	38.9	16.7	11.1	11.1	33.3	5.6	5.6	—	—
30歳代	24	29.2	37.5	12.5	37.5	25.0	8.3	20.8	—	8.3	—	8.3
40歳代	36	25.0	33.3	25.0	36.1	22.2	11.1	22.2	—	11.1	5.6	8.3
50歳代	49	28.6	51.0	14.3	30.6	20.4	14.3	18.4	2.0	8.2	8.2	2.0
60歳代	80	26.3	37.5	21.3	32.5	22.5	8.8	13.8	1.3	13.8	2.5	5.0
70歳代	63	28.6	36.5	25.4	23.8	27.0	17.5	17.5	6.3	12.7	—	4.8
80歳以上	1	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—	—
女性 20歳代	18	38.9	16.7	33.3	22.2	27.8	5.6	27.8	—	11.1	—	5.6
30歳代	35	22.9	31.4	20.0	28.6	31.4	22.9	20.0	—	5.7	—	2.9
40歳代	43	18.6	34.9	7.0	23.3	39.5	11.6	4.7	—	14.0	—	7.0
50歳代	57	22.8	28.1	22.8	21.1	28.1	17.5	17.5	—	21.1	1.8	5.3
60歳代	70	22.9	28.6	17.1	17.1	15.7	11.4	15.7	5.7	14.3	4.3	8.6
70歳代	57	17.5	29.8	17.5	17.5	21.1	8.8	15.8	3.5	17.5	1.8	15.8
80歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

【同和問題に対する認知度別】

同和問題に対する認知度別でみると、認知度が高くなるにつれ「学校・行政が人権意識を高める教育や啓発活動を行う」「えせ同和行為に対する取り締まりを強化する」「身元調査による個人情報漏えいを防止する」の割合が高くなる傾向がみられます。また、あまりよく知らないで「わからない」の割合が高くなっています。

単位：％

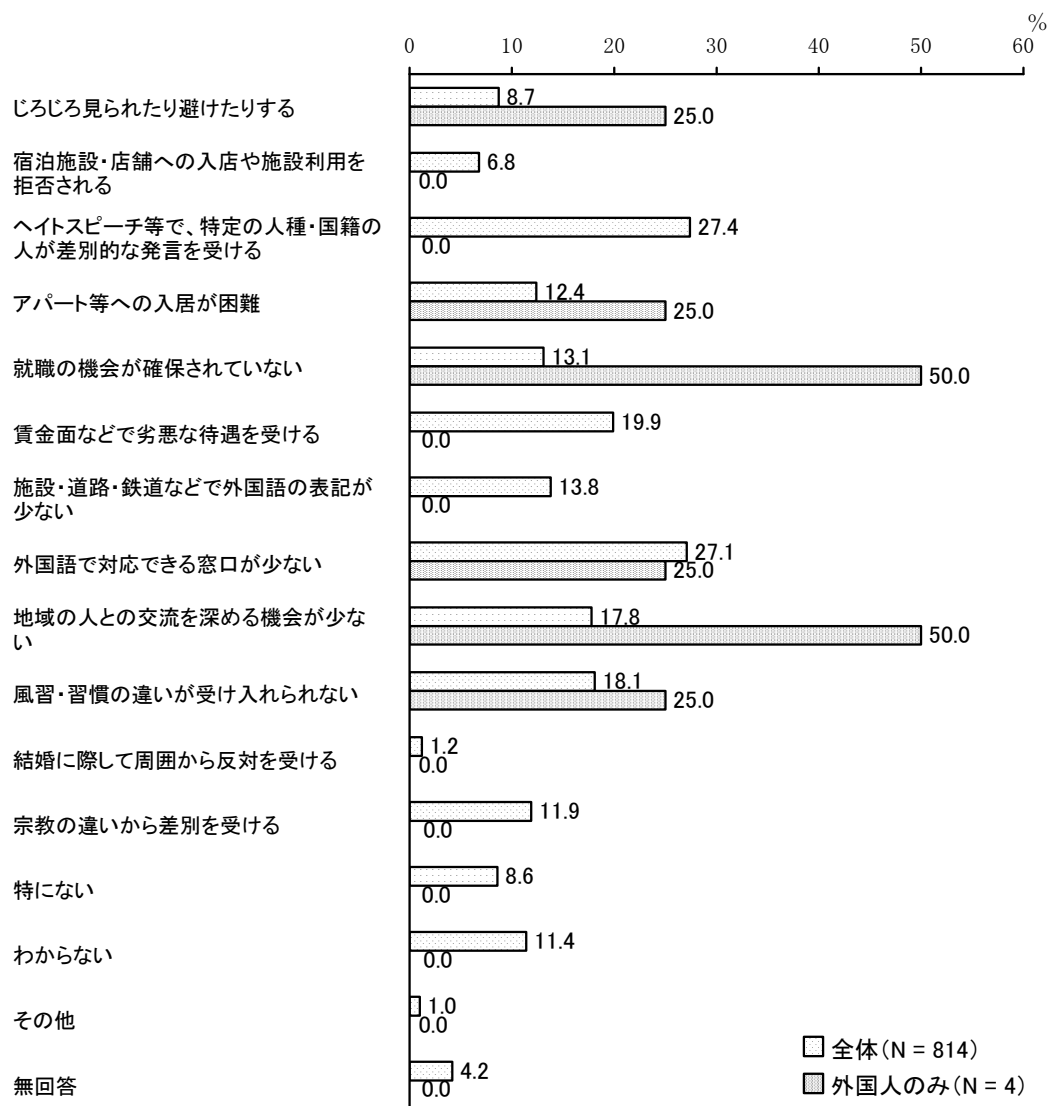
区分	有効回答数(件)	その他	わからない	特になし	履歴書等への記載項目に配慮するよう徹底する	の差別的な書き込みの監視を強化する	身元調査による個人情報の漏えいを防止する	えせ同和行為に対する取り締まりを強化する	学校・行政が人権意識を高める教育や啓発活動を行う	学校・行政が人権意識を高める教育や啓発活動を行う	同和問題に関する相談体制を充実させる	その他	無回答
よく知っている	44	13.6	40.9	25.0	36.4	29.5	20.5	18.2	—	4.5	6.8	6.8	
だいたい知っている	239	25.5	39.3	25.5	31.4	26.4	11.3	20.9	2.9	5.9	1.7	5.9	
あまりよく知らない	272	25.4	28.3	14.3	18.4	21.0	12.5	13.2	2.6	21.3	2.2	7.0	

(6) 外国人の人権

問 20 日本に住む外国人について、あなたが人権上問題があると思うのはどのようなことですか。(特にあてはまるもの3つ以内に○)

「ヘイトスピーチ等で、特定の人種・国籍の人が差別的な発言を受ける」の割合が27.4%と最も高く、次いで「外国語で対応できる窓口が少ない」の割合が27.1%、「賃金面などで劣悪な待遇を受ける」の割合が19.9%となっています。

外国人のみでは、「就職の機会が確保されていない」「地域の人との交流を深める機会が少ない」の割合が50.0%と最も高くなっています。



【その他意見】

- ・本人が日本語を学ばない
- ・国だけで判断されてしまう
- ・言語の壁

など

【性・年代別】

性・年代別で見ると、他に比べ、男性の20歳代、女性の40歳代で「賃金面などで劣悪な待遇を受ける」の割合が高く、約3割となっています。また、女性の20歳代、30歳代で「宗教の違いから差別を受ける」の割合が高く、2割を超えています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	じろじろ見られたり避けたりする	宿泊施設・店舗への入店や施設利用を拒否される	ヘイトスピーチ等で、特定の人種・国籍の人が差別的な発言を受ける	難アパルト等への入居が困難	就職の機会が確保されていない	賃金面などで劣悪な待遇を受ける	施設・道路・鉄道などで外国語の表記が少ない	外国語で対応できる窓口が少ない
男性 20歳代	36	16.7	11.1	33.3	11.1	11.1	27.8	16.7	38.9
30歳代	46	6.5	2.2	23.9	10.9	10.9	17.4	15.2	39.1
40歳代	58	8.6	8.6	24.1	6.9	6.9	13.8	20.7	32.8
50歳代	65	7.7	10.8	36.9	16.9	12.3	20.0	13.8	33.8
60歳代	95	10.5	6.3	32.6	10.5	15.8	21.1	10.5	24.2
70歳代	79	7.6	8.9	25.3	11.4	17.7	24.1	15.2	25.3
80歳以上	1	—	—	—	—	—	—	—	—
女性 20歳代	42	14.3	9.5	35.7	7.1	9.5	11.9	11.9	33.3
30歳代	61	9.8	13.1	34.4	13.1	11.5	23.0	9.8	21.3
40歳代	70	7.1	5.7	27.1	15.7	17.1	30.0	8.6	30.0
50歳代	76	6.6	3.9	31.6	13.2	11.8	18.4	19.7	28.9
60歳代	99	8.1	4.0	21.2	15.2	14.1	16.2	12.1	19.2
70歳代	81	7.4	2.5	12.3	13.6	13.6	16.0	14.8	19.8
80歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—

【性・年代別（つづき）】

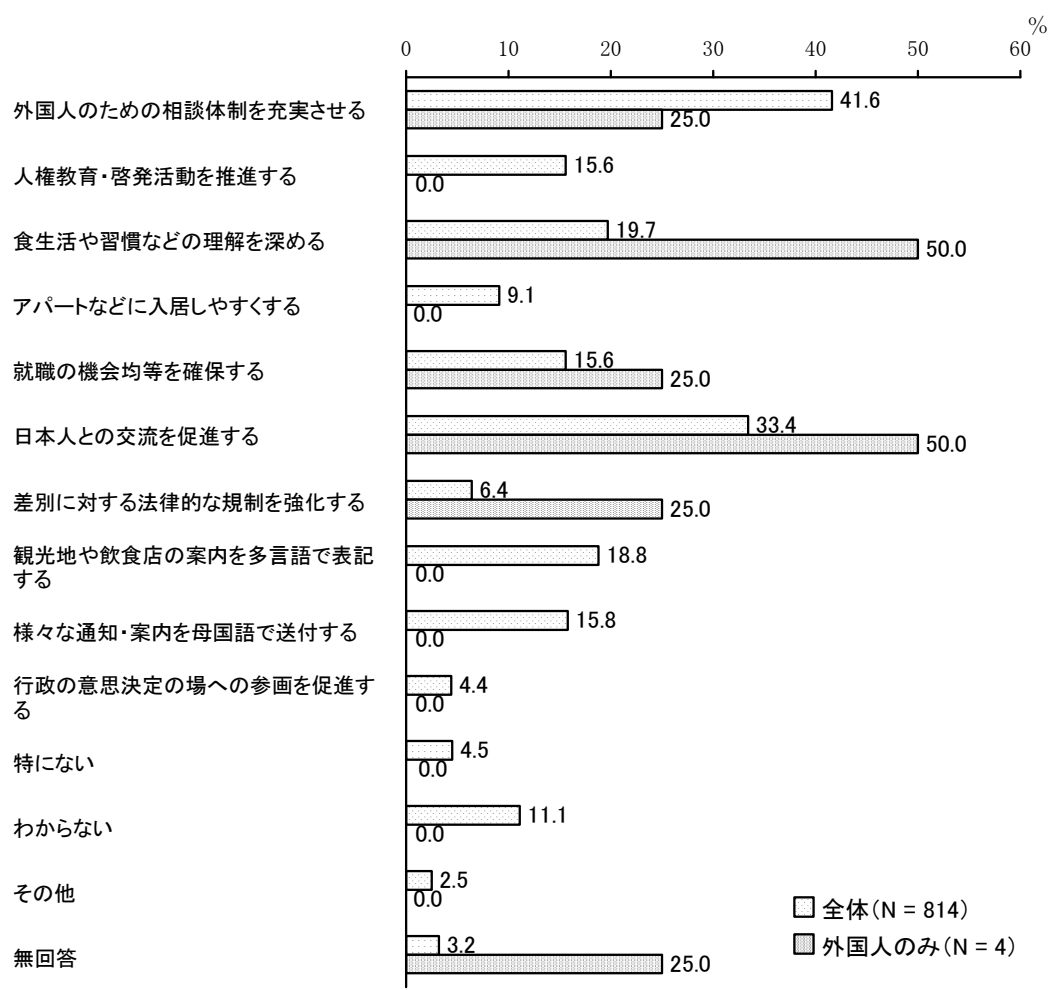
単位：％

区分	地域のひととの交流を深める機会が少ない	風習・習慣の違いが受け入れられない	結婚に際して周囲から反対を受ける	宗教の違いから差別を受ける	特になし	わからない	その他	無回答
男性 20 歳代	22.2	19.4	—	11.1	5.6	5.6	—	2.8
30 歳代	15.2	17.4	4.3	10.9	13.0	8.7	2.2	4.3
40 歳代	12.1	19.0	—	6.9	13.8	10.3	1.7	3.4
50 歳代	15.4	21.5	—	12.3	7.7	9.2	1.5	1.5
60 歳代	20.0	12.6	2.1	10.5	12.6	7.4	1.1	2.1
70 歳代	25.3	17.7	—	7.6	7.6	12.7	—	5.1
80 歳以上	—	—	—	—	—	100.0	—	—
女性 20 歳代	—	14.3	2.4	23.8	9.5	14.3	—	2.4
30 歳代	16.4	24.6	3.3	26.2	3.3	11.5	—	3.3
40 歳代	14.3	12.9	—	12.9	2.9	8.6	1.4	4.3
50 歳代	15.8	25.0	1.3	13.2	5.3	15.8	—	—
60 歳代	21.2	16.2	—	11.1	11.1	13.1	3.0	5.1
70 歳代	23.5	19.8	2.5	4.9	7.4	16.0	—	12.3
80 歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—

問 21 日本に住む外国人の人権を守るために、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。(特にあてはまるもの3つ以内に○)

「外国人のための相談体制を充実させる」の割合が41.6%と最も高く、次いで「日本人との交流を促進する」の割合が33.4%、「食生活や習慣などの理解を深める」の割合が19.7%となっています。

外国人のみでは、「食生活や習慣などの理解を深める」「日本人との交流を促進する」の割合が50.0%と最も高くなっています。



【その他意見】

- ・言語を学ぶ場を相互に設ける
- ・習慣をよく教える
- ・アパート等は貸主の個人の意思の自由も有るし、現状を考えると行政で外国人の住む専用の団地を作れば良いと思う

など

【性・年代別】

性・年代別で見ると、他に比べ、男性の70歳代で「日本人との交流を促進する」の割合が高く、約5割となっています。また、男性の20歳代で「観光地や飲食店の案内を多言語で表記する」の割合が高く、約4割となっています。

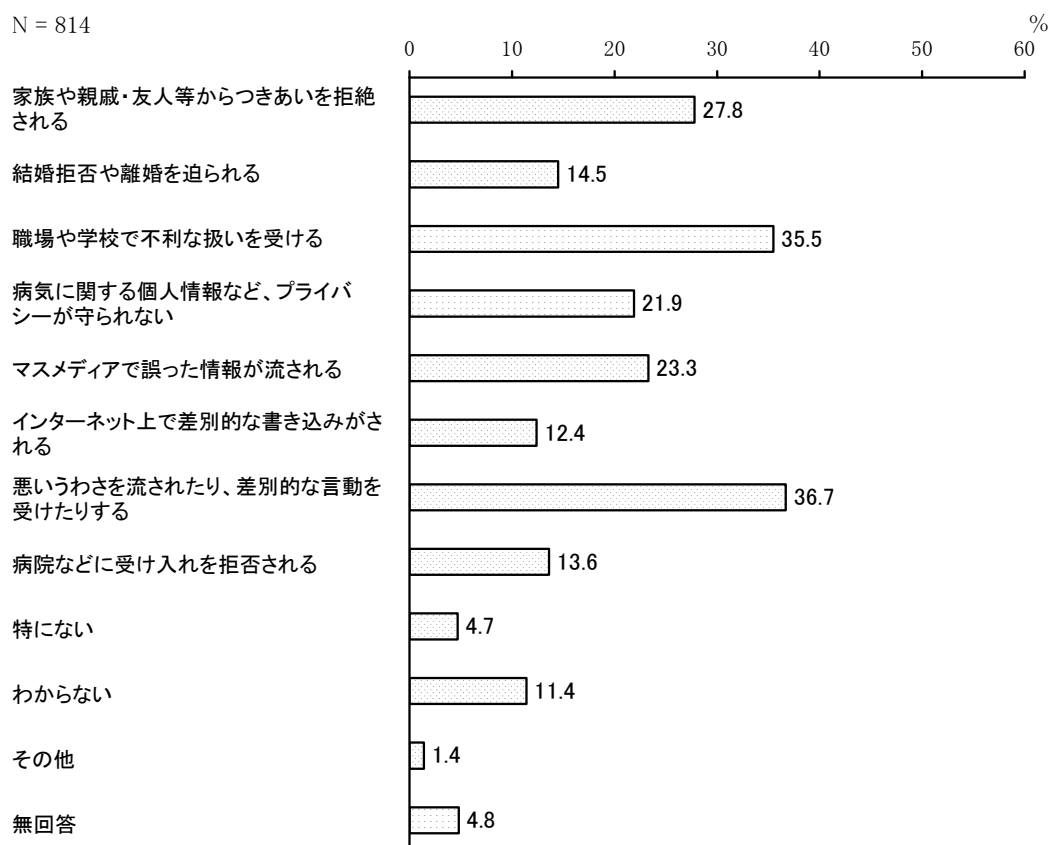
単位：%

区分	有効回答数(件)	外国人のための相談体制を充実させる	人権教育・啓発活動を推進する	食生活や習慣などの理解を深める	アパートなどに入居しやすくなる	就職の機会均等を確保する	日本人との交流を促進する	差別に対する法的な規制を強化する	観光地や飲食店の案内を多言語で表記する	様々な通知・案内を母国語で送付する	行政の意思決定の場への参画を促進する	特になし	わからない	その他	無回答
男性 20歳代	36	47.2	13.9	25.0	5.6	22.2	41.7	11.1	36.1	22.2	8.3	2.8	2.8	—	—
30歳代	46	26.1	13.0	21.7	4.3	13.0	30.4	4.3	26.1	21.7	6.5	6.5	13.0	2.2	4.3
40歳代	58	32.8	10.3	20.7	5.2	17.2	27.6	8.6	22.4	17.2	—	5.2	10.3	6.9	3.4
50歳代	65	35.4	18.5	24.6	13.8	13.8	32.3	10.8	18.5	9.2	1.5	4.6	12.3	3.1	3.1
60歳代	95	48.4	23.2	24.2	8.4	14.7	36.8	4.2	14.7	7.4	7.4	6.3	8.4	2.1	2.1
70歳代	79	51.9	24.1	12.7	12.7	20.3	46.8	5.1	21.5	10.1	5.1	5.1	8.9	1.3	2.5
80歳以上	1	100.0	100.0	—	—	—	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—
女性 20歳代	42	33.3	14.3	19.0	4.8	19.0	14.3	4.8	19.0	21.4	2.4	11.9	16.7	2.4	—
30歳代	61	44.3	18.0	26.2	6.6	11.5	31.1	8.2	23.0	21.3	6.6	—	8.2	1.6	3.3
40歳代	70	35.7	7.1	14.3	7.1	21.4	31.4	5.7	14.3	17.1	5.7	1.4	15.7	—	4.3
50歳代	76	43.4	9.2	19.7	9.2	13.2	23.7	6.6	21.1	28.9	3.9	3.9	13.2	1.3	—
60歳代	99	46.5	13.1	18.2	11.1	16.2	38.4	2.0	12.1	16.2	2.0	4.0	8.1	2.0	5.1
70歳代	81	42.0	16.0	16.0	12.3	9.9	33.3	9.9	14.8	7.4	4.9	4.9	14.8	4.9	7.4
80歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(7) 疾病

問 22 感染症や精神疾患などの病気を抱える人に関して、あなたが人権上問題があると思うのはどのようなことですか。(特にあてはまるもの3つ以内に○)

「悪いうわさを流されたり、差別的な言動を受けたりする」の割合が36.7%と最も高く、次いで「職場や学校で不利な扱いを受ける」の割合が35.5%、「家族や親戚・友人等からつきあいを拒絶される」の割合が27.8%となっています。



【その他意見】

・病気を持つ人に対して特に小人に対し学校での配慮が不足している

など

【性・年代別】

性・年代別でみると、他に比べ、男性の20歳代、女性の30歳代で「悪いうわさを流されたり、差別的な言動を受けたりする」の割合が高く、5割を超えています。また、男性の50歳代で「病気にに関する個人情報など、プライバシーが守られない」「マスメディアで誤った情報が流される」の割合が高く、約4割となっています。

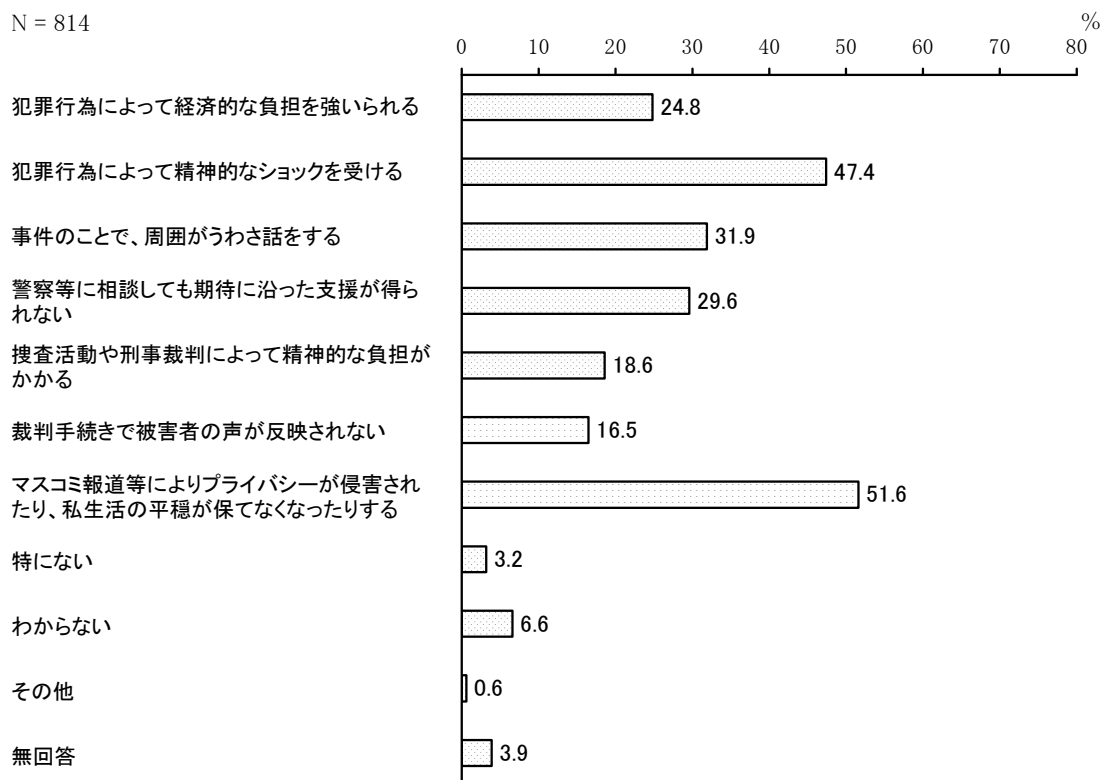
単位：％

区分	有効回答数(件)	家族や親戚・友人等からつきあいを拒絶される	結婚拒否や離婚を迫られる	職場や学校で不利な扱いを受ける	病気にに関する個人情報など、プライバシーが守られない	マスメディアで誤った情報が流される	インターネット上で差別的な書き込みがされる	悪いうわさを流されたり、差別的な言動を受けたりする	病院などに受け入れを拒否される	特になし	わからない	その他	無回答
男性 20歳代	36	19.4	11.1	52.8	27.8	27.8	16.7	55.6	19.4	2.8	2.8	—	—
30歳代	46	28.3	15.2	34.8	17.4	30.4	17.4	45.7	8.7	—	10.9	—	6.5
40歳代	58	41.4	8.6	41.4	19.0	32.8	12.1	39.7	8.6	5.2	6.9	1.7	3.4
50歳代	65	20.0	10.8	29.2	36.9	38.5	23.1	38.5	12.3	1.5	6.2	1.5	3.1
60歳代	95	18.9	15.8	38.9	18.9	20.0	9.5	31.6	12.6	8.4	14.7	1.1	5.3
70歳代	79	26.6	19.0	36.7	21.5	15.2	6.3	35.4	6.3	15.2	11.4	1.3	7.6
80歳以上	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—	—
女性 20歳代	42	33.3	14.3	35.7	21.4	35.7	21.4	40.5	4.8	2.4	9.5	2.4	2.4
30歳代	61	32.8	13.1	42.6	23.0	27.9	14.8	50.8	14.8	1.6	11.5	—	3.3
40歳代	70	32.9	11.4	40.0	20.0	27.1	7.1	31.4	8.6	—	10.0	1.4	7.1
50歳代	76	34.2	21.1	26.3	22.4	26.3	11.8	40.8	23.7	3.9	6.6	—	—
60歳代	99	24.2	14.1	31.3	18.2	14.1	13.1	30.3	20.2	4.0	13.1	3.0	6.1
70歳代	81	28.4	16.0	29.6	22.2	7.4	7.4	24.7	18.5	4.9	21.0	1.2	7.4
80歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(8) 犯罪に関わる人権問題

問 23 犯罪で被害を受けた人及びその家族に関する事で、あなたが人権上、問題があると思うのはどのようなことですか。(特にあてはまるもの3つ以内に○)

「マスコミ報道等によりプライバシーが侵害されたり、私生活の平穏が保てなくなったりする」の割合が51.6%と最も高く、次いで「犯罪行為によって精神的なショックを受ける」の割合が47.4%、「事件のことで、周囲がうわさ話をする」の割合が31.9%となっています。



【その他意見】

- ・ 犯罪者の人権が優遇されている
- ・ 我国では被害者の方が騒がれすぎる。反対でなくてはならないと考える

など

【性・年代別】

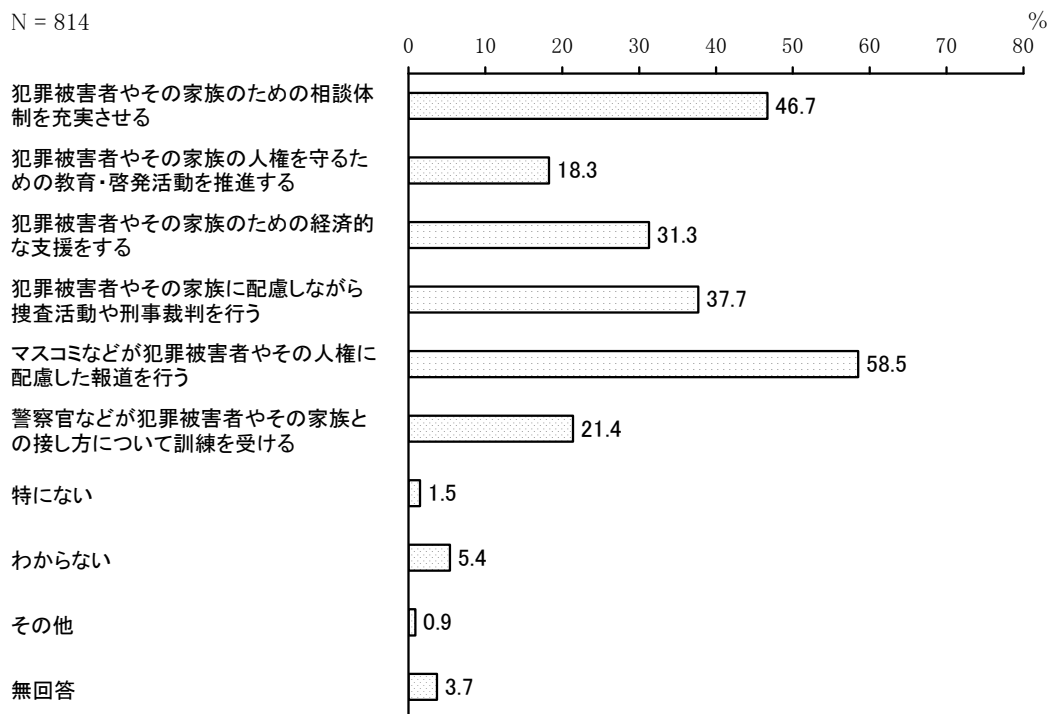
性・年代別でみると、他に比べ、男性の20歳代、女性の30歳代、女性の50歳代で「マスコミ報道等によりプライバシーが侵害されたり、私生活の平穏が保てなくなったりする」の割合が高く、約7割となっています。また、男性の20歳代で「警察等に相談しても期待に沿った支援が得られない」の割合が高く、5割を超えています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	犯罪行為によって経済的な負担を強いられる	犯罪行為によって精神的なショックを受ける	事件のことで、周囲がうわさ話をする	警察等に相談しても期待に沿った支援が得られない	捜査活動や刑事裁判によって精神的な負担がかかる	裁判手続きで被害者の声が反映されない	マスコミ報道等によりプライバシーが侵害されたり、私生活の平穏が保てなくなったりする	特にない	わからない	その他	無回答
男性 20歳代	36	33.3	41.7	36.1	55.6	8.3	19.4	66.7	—	—	—	—
30歳代	46	34.8	63.0	28.3	21.7	28.3	10.9	37.0	—	10.9	—	6.5
40歳代	58	27.6	46.6	27.6	46.6	10.3	20.7	46.6	5.2	3.4	1.7	5.2
50歳代	65	27.7	53.8	33.8	24.6	20.0	16.9	47.7	1.5	3.1	1.5	6.2
60歳代	95	28.4	49.5	28.4	26.3	22.1	18.9	40.0	4.2	8.4	—	3.2
70歳代	79	25.3	38.0	30.4	17.7	17.7	16.5	51.9	10.1	7.6	1.3	3.8
80歳以上	1	100.0	100.0	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—
女性 20歳代	42	23.8	42.9	38.1	33.3	16.7	11.9	54.8	2.4	9.5	—	4.8
30歳代	61	16.4	49.2	39.3	32.8	26.2	14.8	67.2	1.6	4.9	—	1.6
40歳代	70	27.1	41.4	31.4	35.7	21.4	18.6	54.3	—	4.3	—	4.3
50歳代	76	31.6	52.6	25.0	31.6	18.4	17.1	68.4	1.3	6.6	—	—
60歳代	99	14.1	51.5	37.4	28.3	17.2	16.2	49.5	1.0	4.0	2.0	5.1
70歳代	81	18.5	40.7	29.6	22.2	14.8	12.3	45.7	6.2	14.8	—	4.9
80歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

問 24 犯罪で被害を受けた人やその家族の人権を守るために、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。(特にあてはまるもの3つ以内に○)

「マスコミなどが犯罪被害者やその人権に配慮した報道を行う」の割合が 58.5%と最も高く、次いで「犯罪被害者やその家族のための相談体制を充実させる」の割合が 46.7%、「犯罪被害者やその家族に配慮しながら捜査活動や刑事裁判を行う」の割合が 37.7%となっています。



【その他意見】

・加害者の刑の重罰化・加害者情報の公開

など

【性・年代別】

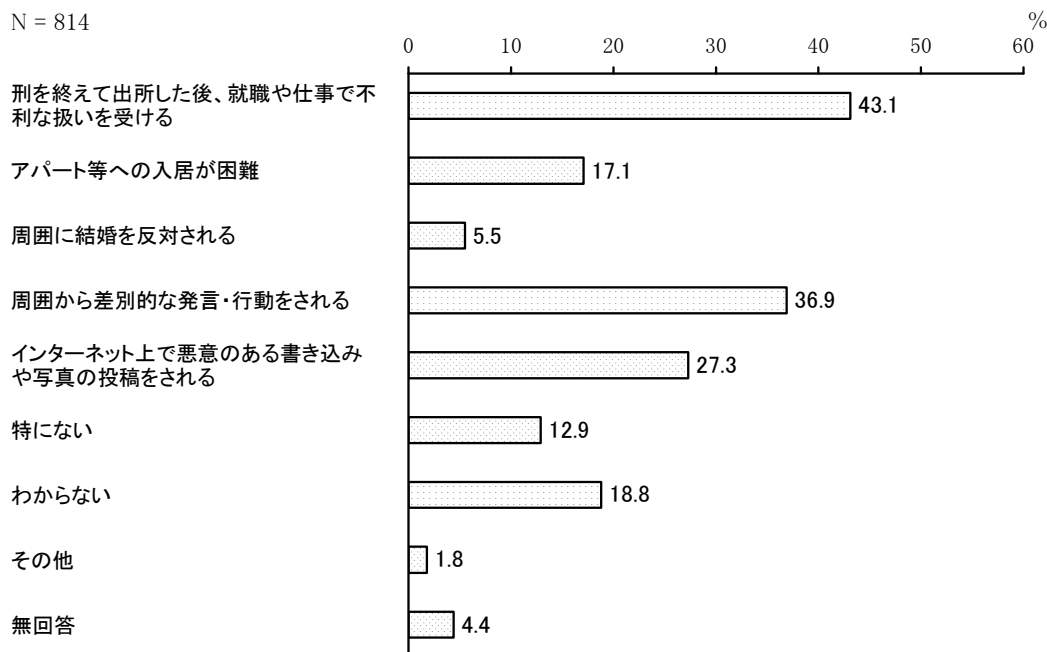
性・年代別で見ると、他に比べ、男性の20歳代、女性の30歳代で「マスコミなどが犯罪被害者やその人権に配慮した報道を行う」の割合が高く、7割を超えています。また、男性の60歳代、70歳代、女性の60歳代、70歳代で「犯罪被害者やその家族のための相談体制を充実させる」の割合が高く、5割を超えています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	犯罪被害者やその家族のための相談体制を充実させる	犯罪被害者やその家族の人権を守るための教育・啓発活動を推進する	犯罪被害者やその家族のための経済的な支援をする	犯罪被害者やその家族に配慮しながら捜査活動や刑事裁判を行う	マスコミなどが犯罪被害者やその人権に配慮した報道を行う	警察官などが犯罪被害者やその家族との接し方について訓練を受ける	特にない	わからない	その他	無回答
男性 20歳代	36	36.1	13.9	44.4	52.8	75.0	16.7	—	—	—	—
30歳代	46	34.8	6.5	37.0	37.0	52.2	28.3	—	6.5	—	6.5
40歳代	58	39.7	15.5	44.8	39.7	69.0	24.1	—	1.7	3.4	5.2
50歳代	65	33.8	21.5	32.3	36.9	63.1	24.6	1.5	4.6	1.5	4.6
60歳代	95	55.8	20.0	33.7	38.9	43.2	15.8	1.1	8.4	1.1	4.2
70歳代	79	59.5	30.4	26.6	29.1	51.9	12.7	3.8	6.3	1.3	2.5
80歳以上	1	—	—	—	—	—	—	100.0	—	—	—
女性 20歳代	42	40.5	23.8	31.0	26.2	61.9	23.8	4.8	4.8	—	4.8
30歳代	61	41.0	9.8	31.1	47.5	73.8	32.8	1.6	1.6	—	3.3
40歳代	70	41.4	12.9	40.0	44.3	61.4	18.6	—	4.3	—	2.9
50歳代	76	43.4	15.8	27.6	40.8	68.4	28.9	—	9.2	—	—
60歳代	99	56.6	20.2	24.2	35.4	58.6	15.2	—	4.0	2.0	4.0
70歳代	81	54.3	21.0	21.0	30.9	44.4	24.7	2.5	8.6	—	4.9
80歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

問 25 犯罪の加害者及びその家族に関することであなたが人権上問題があると思うのはどのようなことですか。(特にあてはまるもの3つ以内に○)

「刑を終えて出所した後、就職や仕事で不利な扱いを受ける」の割合が43.1%と最も高く、次いで「周囲から差別的な発言・行動をされる」の割合が36.9%、「インターネット上で悪意のある書き込みや写真の投稿をされる」の割合が27.3%となっています。



【その他意見】

- ・ 家族への配慮が不足している
- ・ 金銭的余裕がない
- ・ 犯罪再発しない教育が必要

など

【性・年代別】

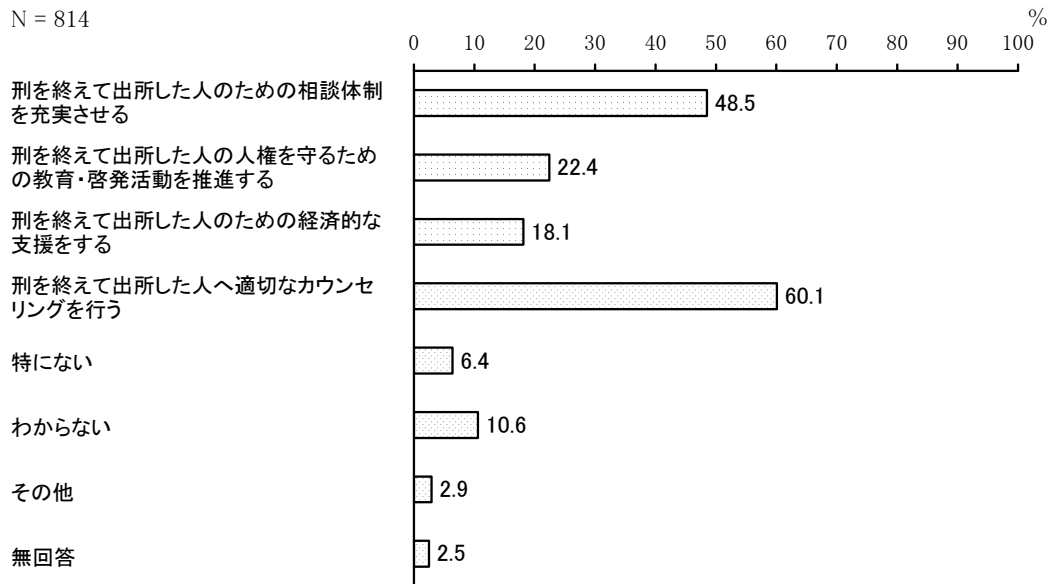
性・年代別で見ると、他に比べ、女性の50歳代、60歳代で「刑を終えて出所した後、就職や仕事で不利な扱いを受ける」の割合が高く、5割を超えています。また、男性の20歳代、女性の30歳代で「インターネット上で悪意のある書き込みや写真の投稿をされる」の割合が高く、4割を超えています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	刑を終えて出所した後、就職や仕事で不利な扱いを受ける	アパート等への入居が困難	周囲に結婚を反対される	周囲から差別的な発言・行動をされる	インターネット上で悪意のある書き込みや写真の投稿をされる	特にない	わからない	その他	無回答
男性 20歳代	36	38.9	8.3	11.1	41.7	44.4	22.2	2.8	—	2.8
30歳代	46	30.4	8.7	8.7	26.1	23.9	26.1	15.2	—	6.5
40歳代	58	32.8	8.6	8.6	31.0	25.9	32.8	12.1	1.7	1.7
50歳代	65	38.5	15.4	10.8	38.5	29.2	12.3	18.5	1.5	1.5
60歳代	95	48.4	18.9	7.4	35.8	17.9	10.5	21.1	3.2	3.2
70歳代	79	46.8	29.1	5.1	48.1	21.5	7.6	19.0	1.3	7.6
80歳以上	1	—	—	—	—	—	—	100.0	—	—
女性 20歳代	42	40.5	7.1	2.4	38.1	33.3	14.3	19.0	2.4	2.4
30歳代	61	36.1	16.4	3.3	32.8	45.9	18.0	13.1	—	3.3
40歳代	70	32.9	17.1	4.3	28.6	34.3	11.4	27.1	1.4	4.3
50歳代	76	53.9	21.1	3.9	35.5	32.9	7.9	17.1	1.3	2.6
60歳代	99	53.5	15.2	4.0	42.4	21.2	4.0	24.2	3.0	4.0
70歳代	81	46.9	24.7	1.2	39.5	18.5	7.4	22.2	2.5	9.9
80歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

問 26 刑を終えた人が社会復帰し、再犯を防止していくために、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。(特にあてはまるもの3つ以内に○)

「刑を終えて出所した人へ適切なカウンセリングを行う」の割合が 60.1%と最も高く、次いで「刑を終えて出所した人のための相談体制を充実させる」の割合が 48.5%、「刑を終えて出所した人の人権を守るための教育・啓発活動を推進する」の割合が 22.4%となっています。



【その他意見】

- ・金銭的な支援ではなく、働く場所の確保
- ・再犯しないプログラムができてない為、再犯するのだと思う

など

【性・年代別】

性・年代別で見ると、他に比べ、女性の20歳代、30歳代、50歳代で「刑を終えて出所した人へ適切なカウンセリングを行う」の割合が高く、約7割となっています。また、男性の70歳代で「刑を終えて出所した人のための相談体制を充実させる」の割合が高く、6割を超えています。

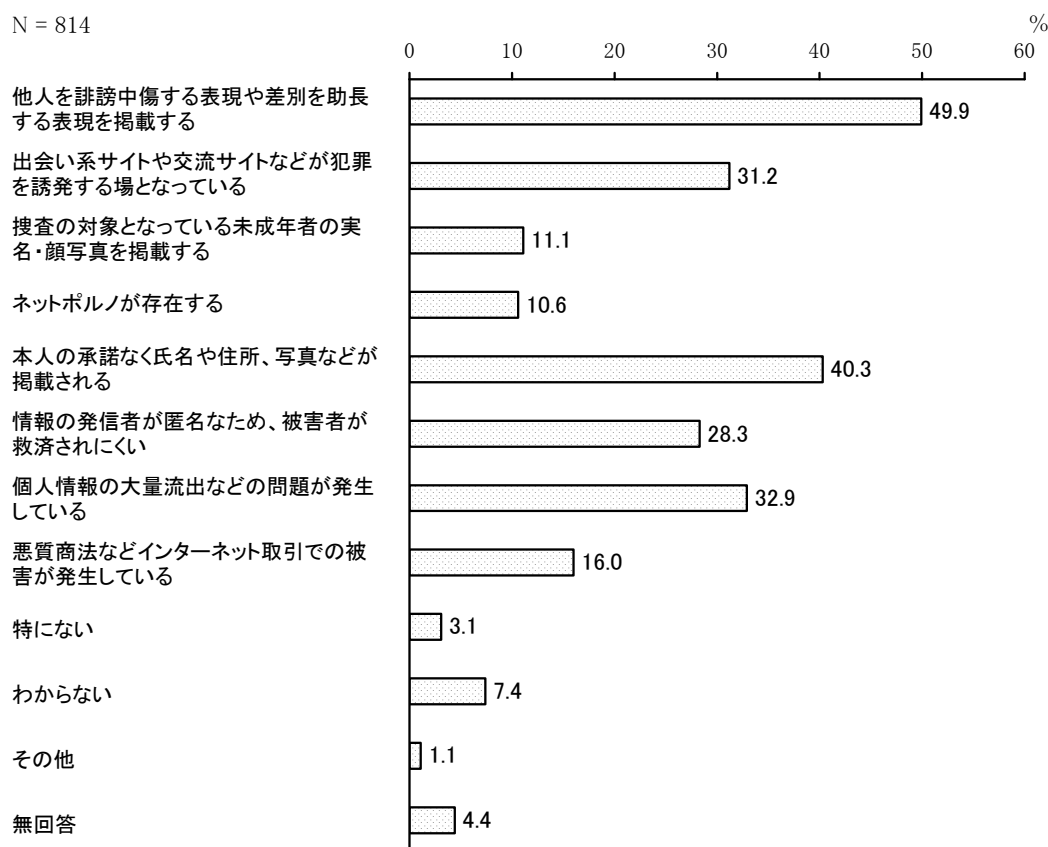
単位：%

区分	有効回答数(件)	刑を終えて出所した人のための相談体制を充実させる	刑を終えて出所した人の人権を守るための教育・啓発活動を推進する	刑を終えて出所した人のための経済的な支援をする	刑を終えて出所した人へ適切なカウンセリングを行う	特になし	わからない	その他	無回答
男性 20歳代	36	44.4	19.4	25.0	58.3	11.1	2.8	5.6	2.8
30歳代	46	32.6	6.5	13.0	47.8	8.7	15.2	—	6.5
40歳代	58	44.8	15.5	24.1	55.2	13.8	12.1	6.9	1.7
50歳代	65	47.7	18.5	21.5	56.9	6.2	12.3	1.5	1.5
60歳代	95	53.7	24.2	20.0	53.7	5.3	11.6	5.3	3.2
70歳代	79	62.0	40.5	22.8	54.4	5.1	7.6	—	2.5
80歳以上	1	—	—	—	—	—	100.0	—	—
女性 20歳代	42	42.9	16.7	7.1	69.0	7.1	9.5	2.4	—
30歳代	61	41.0	18.0	13.1	72.1	8.2	8.2	1.6	—
40歳代	70	32.9	10.0	8.6	62.9	7.1	20.0	4.3	1.4
50歳代	76	57.9	23.7	21.1	69.7	3.9	6.6	1.3	—
60歳代	99	51.5	25.3	18.2	61.6	2.0	9.1	5.1	4.0
70歳代	81	55.6	32.1	19.8	61.7	6.2	8.6	1.2	3.7
80歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(9) インターネットに関わる人権問題

問 27 インターネットについて、あなたが人権上問題があると思うのはどのようなことですか。(特にあてはまるもの3つ以内に○)

「他人を誹謗中傷する表現や差別を助長する表現を掲載する」の割合が49.9%と最も高く、次いで「本人の承諾なく氏名や住所、写真などが掲載される」の割合が40.3%、「個人情報の大量流出などの問題が発生している」の割合が32.9%となっています。



【その他意見】

- ・ 発信する人が罪の意識が低い
- ・ インターネットの使用に関する法規制が整っていない

など

【性・年代別】

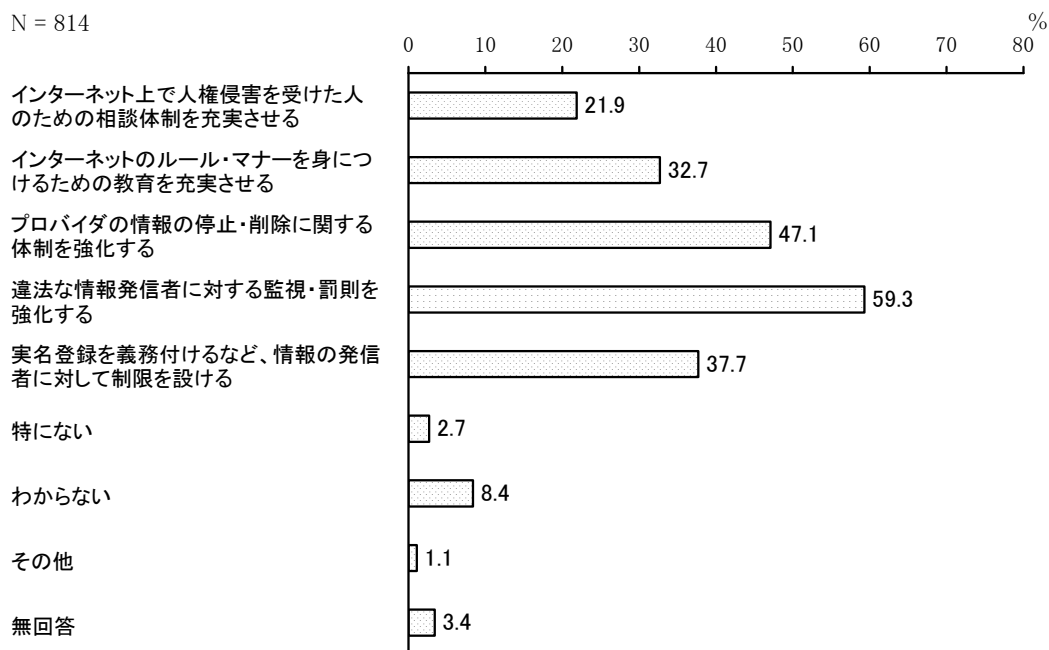
性・年代別でみると、他に比べ、男性の50歳代、60歳代で「他人を誹謗中傷する表現や差別を助長する表現を掲載する」の割合が、女性の20歳代、30歳代、40歳代で「本人の承諾なく氏名や住所、写真などが掲載される」の割合が、男性の20歳代で「個人情報の大量流出などの問題が発生している」の割合が高く、約6割となっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	他人を誹謗中傷する表現や差別を助長する表現を掲載する	出会い系サイトや交流サイトなどが犯罪を誘発する場となっている	捜査の対象となっている未成年者の実名・顔写真を掲載する	ネットポルノが存在する	本人の承諾なく氏名や住所、写真などが掲載される	情報の発信者が匿名なため、被害者が救済されにくい	個人情報の大量流出などの問題が発生している	悪質商法などインターネット取引での被害が発生している	特になし	わからない	その他	無回答
男性 20歳代	36	55.6	11.1	11.1	5.6	36.1	44.4	63.9	27.8	2.8	—	—	—
30歳代	46	50.0	28.3	8.7	6.5	39.1	26.1	26.1	26.1	4.3	2.2	2.2	8.7
40歳代	58	43.1	19.0	10.3	5.2	51.7	36.2	39.7	27.6	3.4	3.4	1.7	3.4
50歳代	65	64.6	27.7	6.2	9.2	30.8	27.7	35.4	24.6	—	3.1	1.5	6.2
60歳代	95	60.0	27.4	7.4	4.2	30.5	34.7	31.6	13.7	4.2	8.4	1.1	5.3
70歳代	79	59.5	43.0	10.1	10.1	32.9	17.7	27.8	13.9	6.3	10.1	—	2.5
80歳以上	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—	—
女性 20歳代	42	45.2	26.2	9.5	7.1	59.5	38.1	33.3	19.0	2.4	2.4	—	4.8
30歳代	61	54.1	24.6	23.0	13.1	62.3	21.3	42.6	8.2	—	3.3	1.6	3.3
40歳代	70	44.3	22.9	21.4	21.4	57.1	25.7	34.3	11.4	—	—	1.4	5.7
50歳代	76	56.6	36.8	5.3	18.4	50.0	40.8	34.2	10.5	1.3	5.3	1.3	—
60歳代	99	44.4	42.4	14.1	11.1	35.4	24.2	27.3	9.1	4.0	11.1	2.0	4.0
70歳代	81	25.9	42.0	7.4	11.1	18.5	16.0	21.0	17.3	4.9	22.2	—	8.6
80歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

問 28 インターネット上の人権侵害を防ぐために、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。(特にあてはまるもの3つ以内に○)

「違法な情報発信者に対する監視・罰則を強化する」の割合が 59.3%と最も高く、次いで「プロバイダの情報の停止・削除に関する体制を強化する」の割合が 47.1%、「実名登録を義務付けるなど、情報の発信者に対して制限を設ける」の割合が 37.7%となっています。



【その他意見】

- ・教育システムが必要
- ・ネット犯罪の重罪化
- ・組織的に行う。難しい技術を使うといった、特に悪質な者に対する対策

など

【性・年代別】

性・年代別でみると、他に比べ、男性の40歳代、女性の40歳代で「プロバイダの情報の停止・削除に関する体制を強化する」の割合が高く、約6割となっています。また、女性の30歳代で「インターネットのルール・マナーを身につけるための教育を充実させる」の割合が高く、約5割となっています。

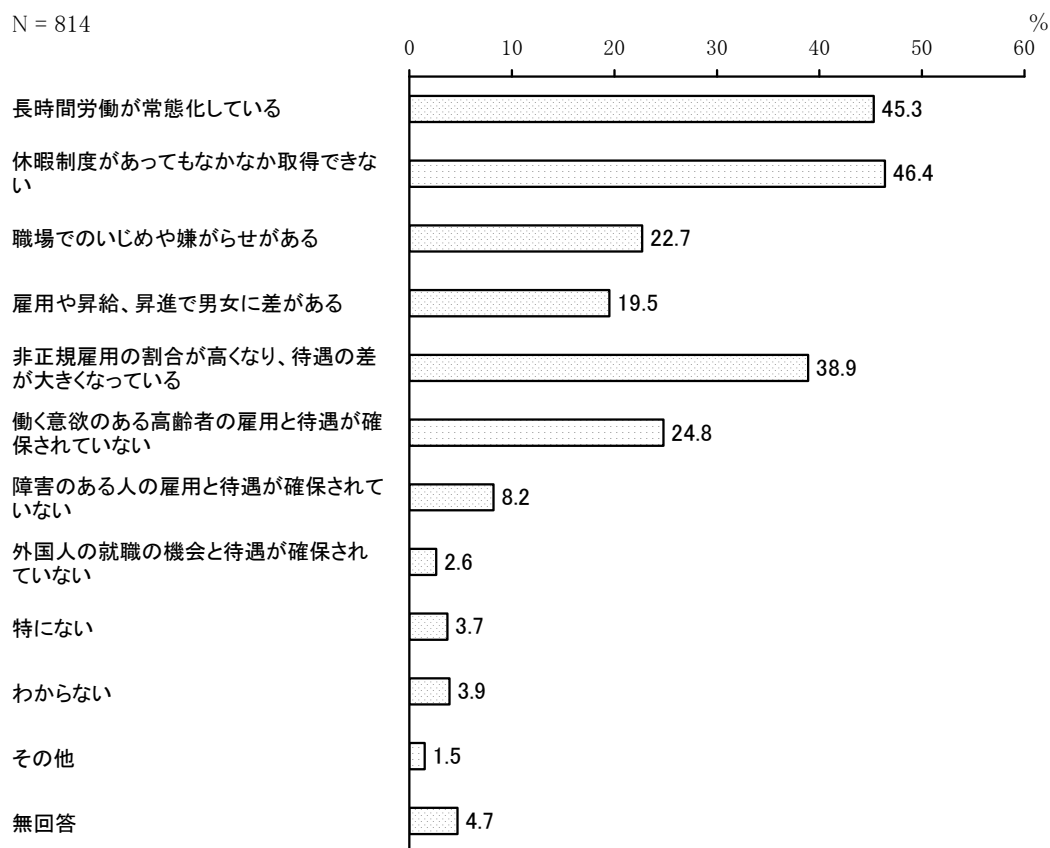
単位：％

区分	有効回答数(件)	インターネット上で人権侵害を受けた人へのための相談体制を充実させる	インターネットのルール・マナーを身につけるための教育を充実させる	プロバイダの情報の停止・削除に関する体制を強化する	違法な情報発信者に対する監視・罰則を強化する	実名登録を義務付けるなど、情報の発信者に対して制限を設ける	特になし	わからない	その他	無回答
男性 20歳代	36	33.3	33.3	47.2	77.8	41.7	2.8	—	2.8	—
30歳代	46	8.7	34.8	41.3	60.9	32.6	4.3	2.2	—	8.7
40歳代	58	17.2	29.3	60.3	67.2	39.7	3.4	3.4	3.4	1.7
50歳代	65	26.2	26.2	53.8	61.5	30.8	—	6.2	3.1	4.6
60歳代	95	24.2	23.2	51.6	54.7	36.8	3.2	12.6	—	3.2
70歳代	79	30.4	38.0	40.5	60.8	35.4	6.3	6.3	—	2.5
80歳以上	1	—	—	—	—	—	—	100.0	—	—
女性 20歳代	42	31.0	38.1	47.6	59.5	38.1	2.4	2.4	—	2.4
30歳代	61	21.3	50.8	49.2	70.5	41.0	—	1.6	1.6	1.6
40歳代	70	14.3	32.9	57.1	65.7	50.0	—	1.4	1.4	4.3
50歳代	76	22.4	32.9	55.3	65.8	38.2	—	9.2	—	—
60歳代	99	14.1	28.3	41.4	47.5	39.4	2.0	18.2	2.0	5.1
70歳代	81	24.7	33.3	28.4	44.4	32.1	6.2	16.0	—	6.2
80歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(10) 労働者

問 29 働く人の人権に関することで、あなたが人権上問題があると思うのはどのようなことですか。(特にあてはまるもの3つ以内に○)

「休暇制度があってもなかなか取得できない」の割合が46.4%と最も高く、次いで「長時間労働が常態化している」の割合が45.3%、「非正規雇用の割合が高くなり、待遇の差が大きくなっている」の割合が38.9%となっています。



【その他意見】

- ・ブランクのある人、リスタートしたい人に対して雇用がされにくい
- ・普通の人、特別に能力の高くない人の働く場を考えた方がいいと思う。労働者同士の人権侵害も問題

など

【職業別】

職業別でみると、他に比べ、正規雇用、学生で「長時間労働が常態化している」「休暇制度があってもなかなか取得できない」の割合が、学生で「雇用や昇給、昇進で男女に差がある」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	長時間労働が常態化している	休暇制度があってもなかなか取得できない	職場でのいじめや嫌がらせがある	雇用や昇給、昇進で男女に差がある	非正規雇用の割合が高くなり、待遇の差が大きくなっている	働く意欲のある高齢者の雇用と待遇が確保されていない	障害のある人の雇用と待遇が確保されていない	外国人の就職の機会と待遇が確保されていない	特にない	わからない	その他	無回答
正規雇用	248	55.6	52.8	20.6	17.3	31.0	25.4	5.2	2.8	5.6	2.0	3.2	2.0
非正規雇用	117	35.9	49.6	27.4	20.5	47.0	27.4	6.8	5.1	—	4.3	0.9	6.0
自営業	50	34.0	28.0	24.0	18.0	46.0	28.0	12.0	2.0	8.0	2.0	—	4.0
専業主婦(夫)	148	50.7	49.3	30.4	21.6	40.5	17.6	8.8	3.4	2.0	1.4	1.4	3.4
学生	21	66.7	71.4	28.6	42.9	19.0	19.0	14.3	—	—	—	—	4.8
年金受給	121	42.1	43.0	16.5	19.8	47.9	29.8	6.6	1.7	2.5	9.9	0.8	5.0
家事手伝い	5	20.0	40.0	—	—	20.0	—	—	—	40.0	20.0	—	—
仕事はしていない	30	30.0	43.3	23.3	16.7	36.7	16.7	10.0	—	6.7	10.0	—	13.3
その他	21	38.1	28.6	19.0	28.6	23.8	33.3	14.3	—	4.8	4.8	—	9.5

【性・年代別】

性・年代別で見ると、他に比べ、男性の20歳代、女性の30歳代で「長時間労働が常態化している」「休暇制度があってもなかなか取得できない」の割合が高く、7割を超えています。また、男性の60歳代、70歳代で「非正規雇用の割合が高くなり、待遇の差が大きくなっている」の割合が高く、5割を超えています。

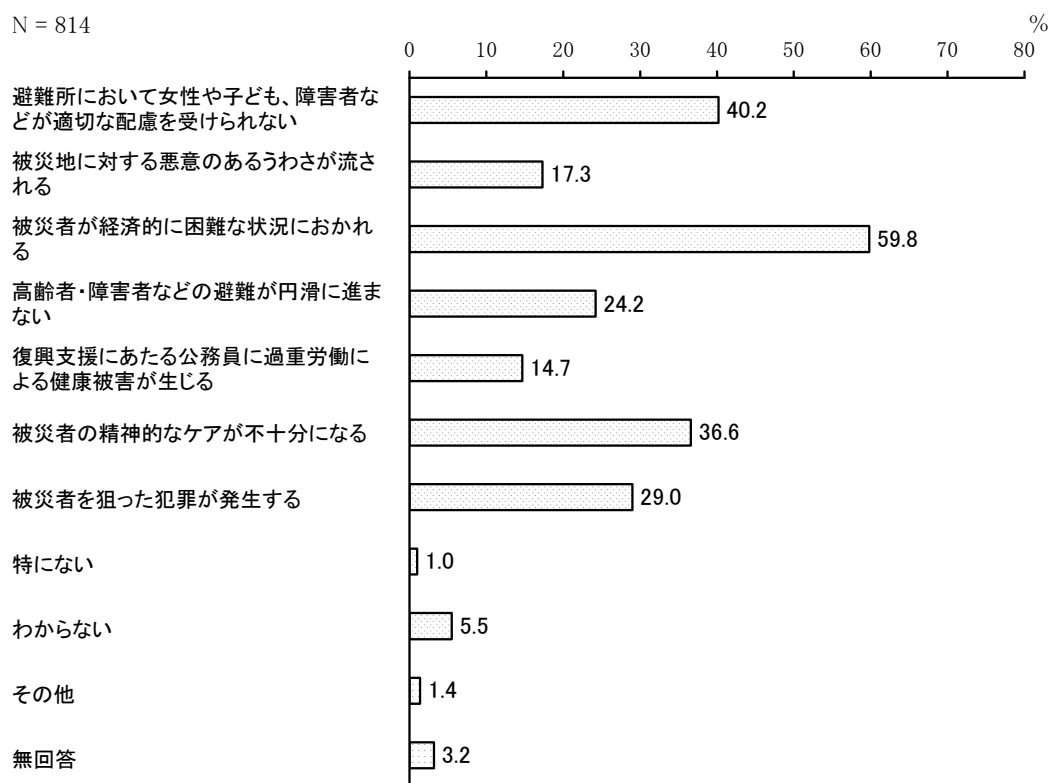
単位：%

区分	有効回答数(件)	長時間労働が常態化している	休暇制度があってもなかなか取得できない	職場でのいじめや嫌がらせがある	雇用や昇給、昇進で男女に差がある	非正規雇用の割合が高くなり、待遇の差が大きくなっている	働く意欲のある高齢者の雇用と待遇が確保されていない	障害のある人の雇用と待遇が確保されていない	外国人の就職の機会と待遇が確保されていない	特になし	わからない	その他	無回答
男性 20歳代	36	75.0	77.8	25.0	19.4	27.8	8.3	13.9	5.6	—	—	2.8	2.8
30歳代	46	50.0	41.3	17.4	15.2	26.1	17.4	10.9	4.3	10.9	2.2	4.3	6.5
40歳代	58	56.9	48.3	20.7	15.5	36.2	22.4	3.4	—	5.2	—	3.4	5.2
50歳代	65	38.5	47.7	21.5	20.0	29.2	33.8	6.2	4.6	4.6	4.6	3.1	3.1
60歳代	95	35.8	41.1	13.7	11.6	57.9	32.6	10.5	1.1	3.2	3.2	1.1	5.3
70歳代	79	41.8	36.7	16.5	15.2	51.9	27.8	11.4	2.5	5.1	7.6	—	8.9
80歳以上	1	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
女性 20歳代	42	61.9	47.6	26.2	23.8	26.2	9.5	7.1	—	2.4	4.8	2.4	7.1
30歳代	61	72.1	70.5	26.2	31.1	34.4	11.5	6.6	3.3	—	—	—	1.6
40歳代	70	31.4	45.7	31.4	24.3	32.9	18.6	5.7	4.3	4.3	4.3	1.4	2.9
50歳代	76	38.2	51.3	32.9	22.4	42.1	30.3	6.6	2.6	2.6	3.9	—	—
60歳代	99	39.4	43.4	23.2	21.2	44.4	34.3	5.1	2.0	2.0	2.0	2.0	5.1
70歳代	81	38.3	30.9	23.5	19.8	33.3	24.7	11.1	2.5	3.7	11.1	—	7.4
80歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(11) 災害発生時の人権

問 30 地震などの災害発生時、人権上どのようなことが問題になると思われますか。(特にあてはまるもの3つ以内に○)

「被災者が経済的に困難な状況におかれる」の割合が59.8%と最も高く、次いで「避難所において女性や子ども、障害者などが適切な配慮を受けられない」の割合が40.2%、「被災者の精神的なケアが不十分になる」の割合が36.6%となっています。



【その他意見】

- ・病気があるので避難に遠慮してしまう
- ・自治体または企業による寄付金の流用
- ・義援金の収支が不明
- ・健康保持

など

【性・年代別】

性・年代別で見ると、他に比べ、女性の30歳代で「被災者を狙った犯罪が発生する」の割合が高く、5割を超えています。また、女性の70歳代で「高齢者・障害者などの避難が円滑に進まない」の割合が高く、約4割となっています。

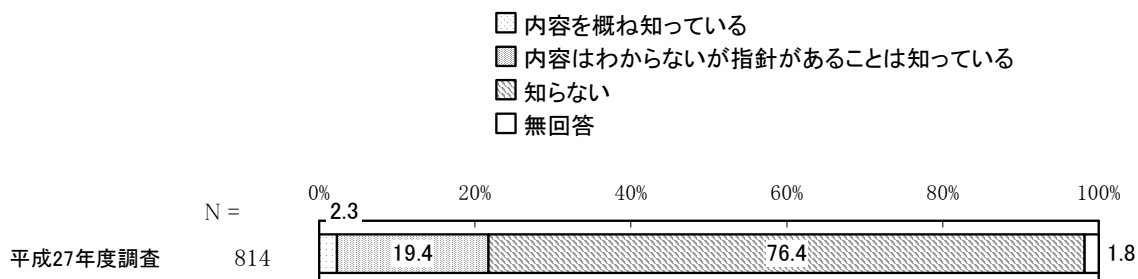
単位：％

区分	有効回答数(件)	避難所において女性や子ども、障害者などが適切な配慮を受けられない	被災地に対する悪意のあるうわさが流される	被災者が経済的に困難な状況における	高齢者・障害者などの避難が円滑に進まない	復興支援にあたる公務員に過重労働による健康被害が生じる	被災者の精神的なケアが不十分になる	被災者を狙った犯罪が発生する	特にない	わからない	その他	無回答
男性 20歳代	36	41.7	22.2	66.7	19.4	25.0	50.0	22.2	—	2.8	—	—
30歳代	46	30.4	28.3	56.5	15.2	8.7	37.0	43.5	—	6.5	2.2	4.3
40歳代	58	48.3	19.0	63.8	15.5	10.3	31.0	36.2	1.7	3.4	5.2	1.7
50歳代	65	30.8	21.5	60.0	23.1	13.8	35.4	29.2	—	1.5	1.5	6.2
60歳代	95	48.4	11.6	64.2	30.5	15.8	36.8	16.8	—	6.3	—	3.2
70歳代	79	49.4	15.2	54.4	27.8	16.5	35.4	27.8	2.5	8.9	—	2.5
80歳以上	1	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—	—
女性 20歳代	42	33.3	26.2	50.0	14.3	21.4	28.6	31.0	2.4	7.1	—	4.8
30歳代	61	45.9	24.6	65.6	14.8	16.4	34.4	55.7	—	1.6	1.6	1.6
40歳代	70	47.1	20.0	57.1	12.9	12.9	41.4	35.7	1.4	4.3	—	2.9
50歳代	76	43.4	19.7	65.8	23.7	14.5	38.2	26.3	—	6.6	1.3	—
60歳代	99	28.3	11.1	59.6	31.3	15.2	31.3	22.2	2.0	5.1	3.0	5.1
70歳代	81	33.3	7.4	54.3	42.0	12.3	45.7	17.3	1.2	6.2	1.2	4.9
80歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

4 人権に関する啓発活動について

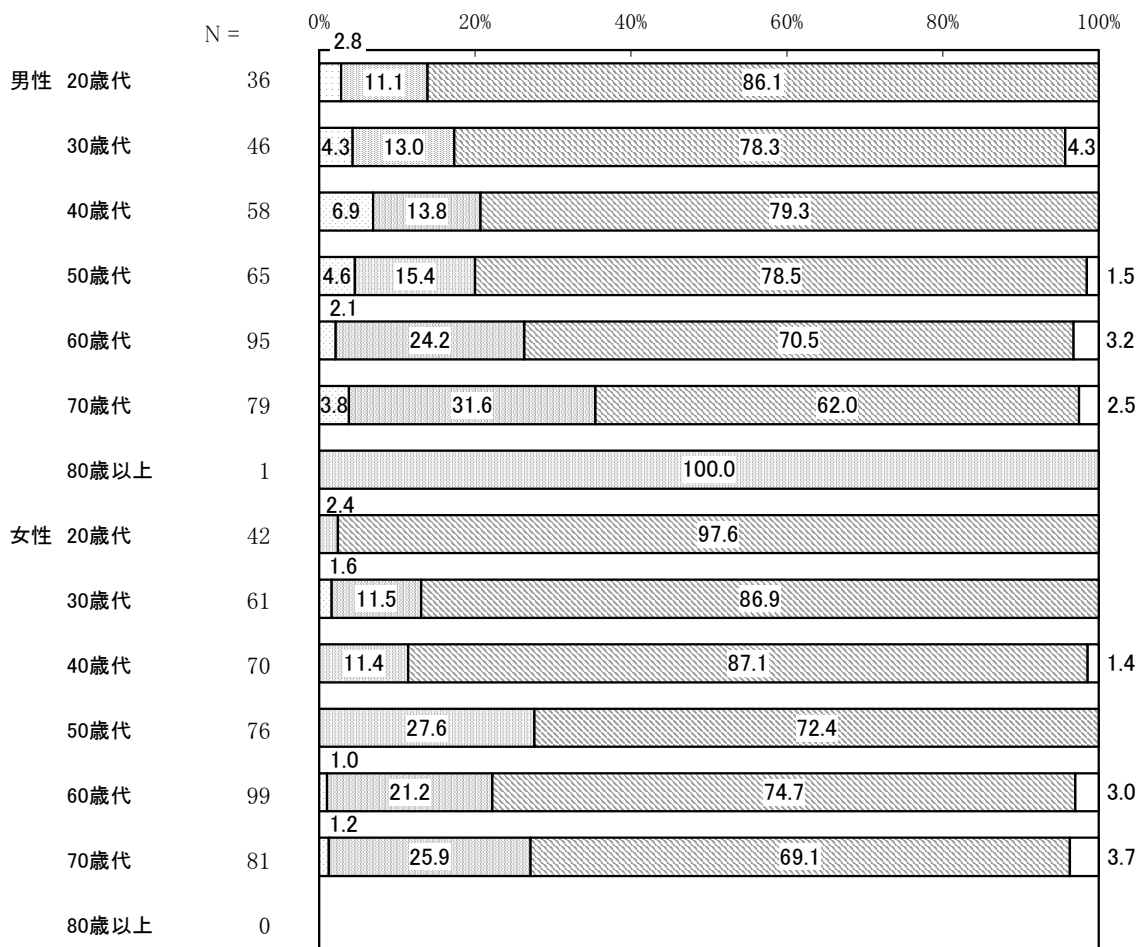
問 31 伊勢原市が策定した「伊勢原市人権施策推進指針」を知っていますか。(あてはまるもの1つに○)

「知らない」の割合が76.4%と最も高く、次いで「内容はわからないが指針があることは知っている」の割合が19.4%となっています。



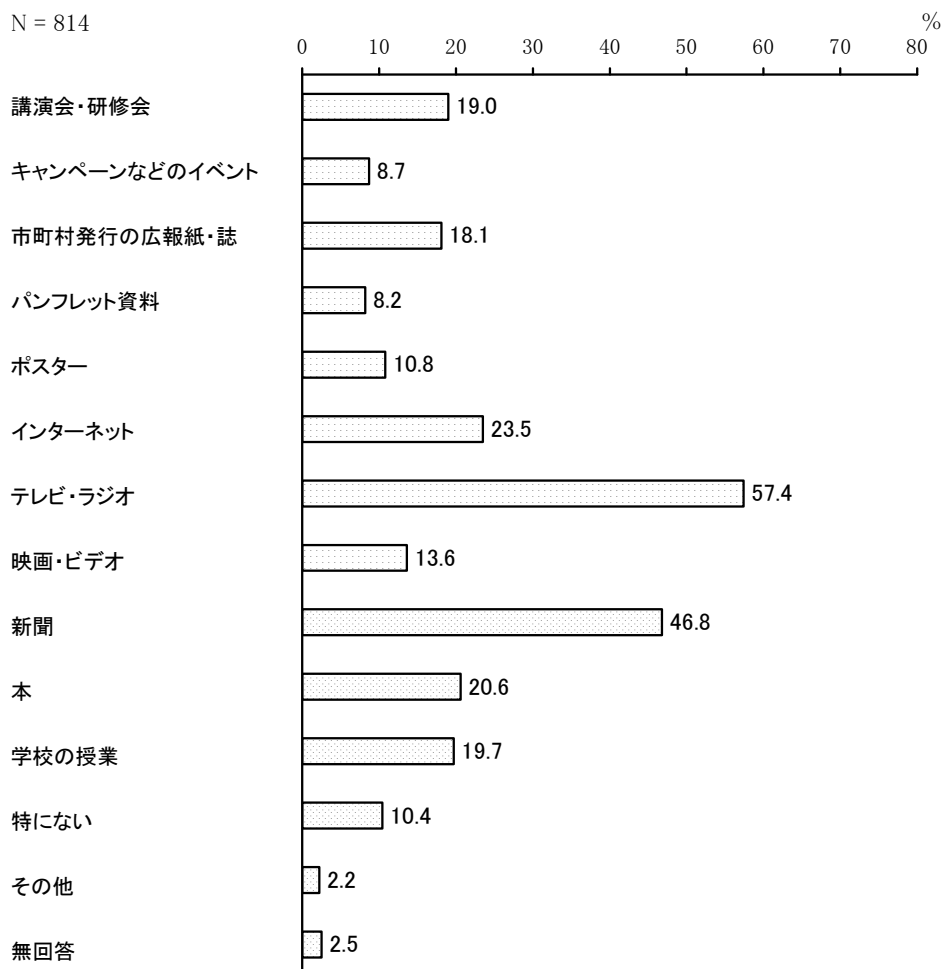
【性・年代別】

性・年代別で見ると、男女とも、年代が低くなるにつれ「知らない」の割合が高くなる傾向がみられます。



問 32 あなたは、これまで人権問題に関する知識や情報を何から得ましたか。(あてはまるもの全てに○)

「テレビ・ラジオ」の割合が57.4%と最も高く、次いで「新聞」の割合が46.8%、「インターネット」の割合が23.5%となっています。



【その他意見】

- ・友人や家族との会話
- ・職場の研修
- ・日常生活の中で自然と

など

【性・年代別】

性・年代別でみると、男女とも、年代が低くなるにつれ「インターネット」「学校の授業」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他に比べ、女性の50歳代で「テレビ・ラジオ」の割合が高く、7割を超えています。

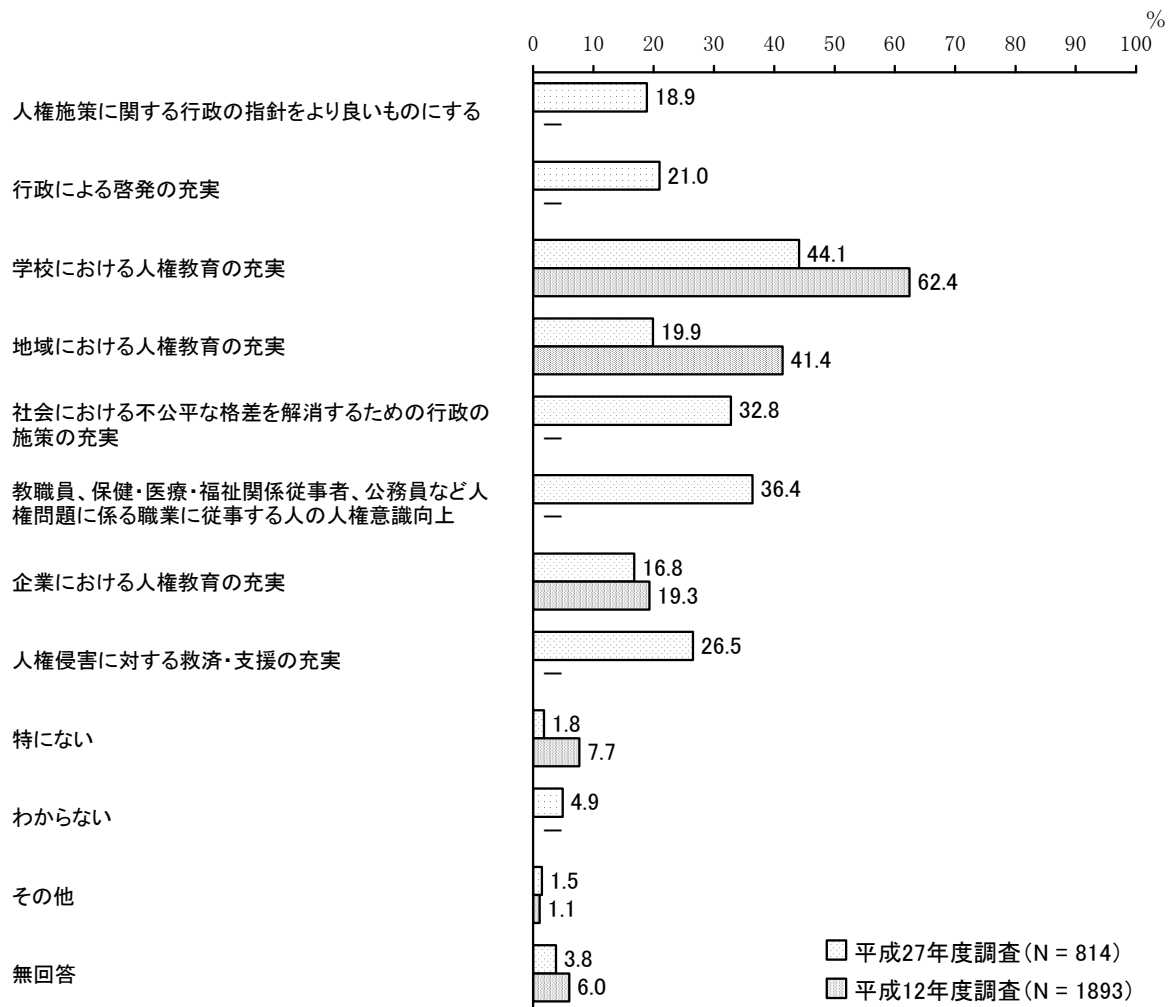
単位：％

区分	有効回答数 (件)	講演会・研修会	キャンペーンなどのイベント	紙・誌 市町村発行の広報	パンフレット資料	ポスター	インターネット	テレビ・ラジオ	映画・ビデオ	新聞	本	学校の授業	特にない	その他	無回答
男性 20歳代	36	13.9	5.6	11.1	8.3	19.4	61.1	52.8	19.4	30.6	33.3	69.4	2.8	2.8	2.8
30歳代	46	17.4	10.9	10.9	4.3	13.0	54.3	54.3	8.7	28.3	19.6	28.3	10.9	2.2	4.3
40歳代	58	22.4	6.9	5.2	3.4	6.9	36.2	67.2	12.1	55.2	29.3	20.7	8.6	3.4	—
50歳代	65	21.5	6.2	9.2	10.8	7.7	29.2	55.4	10.8	32.3	20.0	13.8	9.2	3.1	1.5
60歳代	95	16.8	11.6	22.1	10.5	11.6	16.8	51.6	5.3	57.9	20.0	7.4	12.6	1.1	3.2
70歳代	79	20.3	10.1	43.0	8.9	16.5	6.3	58.2	12.7	64.6	20.3	2.5	10.1	2.5	3.8
80歳以上	1	—	—	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
女性 20歳代	42	7.1	2.4	—	—	11.9	35.7	54.8	19.0	19.0	16.7	54.8	16.7	—	—
30歳代	61	23.0	8.2	8.2	14.8	9.8	37.7	52.5	27.9	47.5	36.1	45.9	11.5	1.6	—
40歳代	70	18.6	8.6	10.0	11.4	10.0	25.7	48.6	11.4	37.1	20.0	32.9	12.9	2.9	1.4
50歳代	76	11.8	11.8	17.1	7.9	5.3	19.7	72.4	19.7	48.7	21.1	13.2	3.9	2.6	—
60歳代	99	25.3	9.1	18.2	6.1	12.1	10.1	59.6	12.1	50.5	10.1	7.1	13.1	2.0	3.0
70歳代	81	22.2	8.6	35.8	8.6	8.6	1.2	58.0	13.6	55.6	14.8	1.2	9.9	2.5	7.4
80歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

問 33 市民の人権意識を高めるために、あなたは今後どのような取組が必要だと思いますか。(特にあてはまるもの3つ以内に○)

「学校における人権教育の充実」の割合が44.1%と最も高く、次いで「教職員、保健・医療・福祉関係従事者、公務員など人権問題に係る職業に従事する人の人権意識向上」の割合が36.4%、「社会における不公平な格差を解消するための行政の施策の充実」の割合が32.8%となっています。

平成12年度調査と比較すると、「学校における人権教育の充実」「地域における人権教育の充実」「特にない」の割合が減少しています。



※平成12年度調査には「人権施策に関する行政の指針をより良いものにする」「行政による啓発の充実」「社会における不公平な格差を解消するための行政の施策の充実」「教職員、保健・医療・福祉関係従事者、公務員など人権問題に係る職業に従事する人の人権意識向上」「人権侵害に対する救済・支援の充実」「わからない」の選択肢はありません。

【その他意見】

- ・関心を持つこと
- ・コマーシャルで呼びかける

など

【性・年代別】

性・年代別で見ると、他に比べ、男性の40歳代、女性の20歳代、30歳代で「学校における人権教育の充実」の割合が高く、約6割となっています。また、男性の20歳代、女性の50歳代で「社会における不公平な格差を解消するための行政の施策の充実」の割合が、男性の20歳代で「企業における人権教育の充実」の割合が高く、4割を超えています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	人権施策に関する行政の指針をより良いものにする	行政による啓発の充実	学校における人権教育の充実	地域における人権教育の充実	社会における不公平な格差を解消するための行政の施策の充実	教職員、保健・医療・福祉関係従事者、公務員など人権問題に係る職業に従事する人の人権意識向上
男性 20歳代	36	11.1	22.2	41.7	19.4	44.4	22.2
30歳代	46	17.4	23.9	47.8	15.2	26.1	28.3
40歳代	58	17.2	17.2	56.9	13.8	29.3	31.0
50歳代	65	21.5	24.6	46.2	35.4	26.2	20.0
60歳代	95	16.8	29.5	37.9	22.1	33.7	35.8
70歳代	79	21.5	34.2	41.8	21.5	27.8	44.3
80歳以上	1	—	—	—	—	—	—
女性 20歳代	42	9.5	11.9	61.9	7.1	31.0	33.3
30歳代	61	16.4	11.5	59.0	23.0	32.8	29.5
40歳代	70	15.7	7.1	42.9	20.0	28.6	38.6
50歳代	76	18.4	13.2	34.2	17.1	47.4	40.8
60歳代	99	23.2	23.2	44.4	15.2	35.4	47.5
70歳代	81	25.9	25.9	33.3	24.7	33.3	46.9
80歳以上	—	—	—	—	—	—	—

【性・年代別（つづき）】

単位：％

区分	企業における人権教育の 充実	人権侵害に対する救済・支 援の充実	特 に な い	わ か ら な い	そ の 他	無 回 答
男性 20 歳代	41.7	27.8	2.8	2.8	5.6	—
30 歳代	26.1	28.3	2.2	4.3	4.3	6.5
40 歳代	19.0	27.6	—	6.9	1.7	5.2
50 歳代	20.0	32.3	1.5	1.5	1.5	3.1
60 歳代	12.6	23.2	2.1	6.3	2.1	1.1
70 歳代	7.6	22.8	3.8	6.3	—	6.3
80 歳以上	—	—	100.0	—	—	—
女性 20 歳代	21.4	19.0	2.4	4.8	—	9.5
30 歳代	24.6	29.5	1.6	6.6	—	4.9
40 歳代	20.0	30.0	—	7.1	1.4	5.7
50 歳代	21.1	36.8	—	5.3	—	1.3
60 歳代	10.1	18.2	2.0	3.0	2.0	3.0
70 歳代	4.9	25.9	1.2	3.7	—	2.5
80 歳以上	—	—	—	—	—	—

Ⅲ 自由意見

(1) 人権意識に関する意見

- ・病気で働けない、などの理由で経済的に貧しい生活を強いられているにもかかわらず慎ましくやかに、生活保護も受けずに声も上げられずに質素に厳しい生活の中で生きている人の人権も守られるべきです。どうか、目を向けてあげてください。
- ・人権問題に対して、私自身よく理解できてない面が多い。なかなか難しいものだと思いますが、折にふれて市民にもっと、PRや知識を啓発してほしい。
- ・①家庭的、経済的に恵まれない子どもの支援対応。②母子家庭の経済的支援対応。③独居の高齢者の生活支援対応。④民生・児童委員等の質・量の強化で問題把握を行政がきちんと対応する体制をつくると地域は良くなる。
- ・何でも、人権問題にしないこと。過剰に人権を叫ぶと、マンネリ化するし、嫌悪感が出ずる。問題を深く考える時は、あいまいな表現は用いない方がよいと思う。例、日本に住む外国人。女性でなく、子どもでなく、高齢者でなく、障害がない、同和ではなく、日本に住む外国人と表現されない人の人権を大切にす。このアンケートには、その配慮がない。人権問題であるなしにかかわらず、いろいろなことを相談する場所が多くあることは、重要。行政は、そのひとつであるが、民間も重要。人権問題は、多くの問題のひとつであって、すべてを人権問題にするのは、正しくないのではないか。このアンケート、当たり前の項目が多くて困る。
- ・駅など人が集まるところにポスターなどをはり、啓発したらいかかでしょう。
- ・時代の流れと共に、障害者、高齢者、貧困者等を守る法律ができており、当市も、人権問題において力を入れて、すべての市民が平等で生活していると思う。今年、戦後70年ということで差別（浮きぼりになった歴史的な差別、ナチス、黒人差別など）問題の特集したテレビ番組を見る機会が多く、この先の世界平和、差別なくすべての人々が人権を大切にできるように、自分も正確な情報を持ってしっかり人権意識を高めていきたい。
- ・普及啓発に地道に取り組むことがなによりも大切。私は「自分がされて嫌なことは、他人にはしない」をモットーにしている。これが人権の基本ではないか。
- ・私は、今問題になっている人権ですらなにも知らずに生きているんだと思いました。母であり、大人なのでこれを機会に調べたいと思いました。がんばってください。
- ・人権意識の向上は若い世代から必要で有り、家庭は基より、学習として、理解されることが良いと考えます。(年齢に伴い、学びの中で、多角的視点により、一般常識として、成人に近づけるよう機会をつくるべきと。)
- ・難しい問題であるが、誠意を持って対応いただきたい。高齢者、外国人、ネット問題は行政と民間で協力して推進願う。
- ・老人や障害者の住みやすい伊勢原市をめざしてください。
- ・人権問題は他の人には解らないと思います。手を出して良いのか、知らぬ顔をして、普通に見守るか、大人としての気質を問われる自分で行動を考えながら接することにする。(私の周りには障害のある人も同和地区出身の人もいます)別に普通です。騒ぐことはない。とりとめもない言葉をならべてすみませんでした。
- ・人権意識を高めることは、非常によいことだと思います。社会に出てからではなく、学校でも人権問題等に関心をもってほしいと思います。

- ・伊勢原市の人権に対する姿勢に真剣さが感じられない。
- ・そもそも、人権とは何か。わがままや利害の対立とはどう線引きするのか、といったところを周知したら良いかと思いました。
- ・障がい者や、子どもの貧困など、少数派ほど手厚い支援が必要だと思います。外国人への先入観による差別などは、さらに交流の場を増やし、実際にふれ合い、先入観をなくしていくことが良いのではないかと思います。
- ・伊勢原市に於いて人権問題について、このように取り組んでいることは知りませんでした。今後、我々、市民も真剣に考える問題であると思います。
- ・問4～8に「わからない」という選択肢がないのがおかしい。そもそも人権という基本的な問題を国ではなくて地方で扱っていることに違和感がある。一番おかしいと思うのは高齢者、女性、子どもの人権については聴いているのに、男性や若者、労働世代の人権が気にされていないこと。朝から晩までぼろぼろに働いているのに税金や年金をたくさん持っていかれて、電車では高齢者に席をゆずらないといけない私のような世代もけっこう人権が軽んじられている、と嫌味の1つも言いたくなる今日この頃。働きざかりを大切に。よいお年をむかえてください。
- ・一般的に学校や企業などで『人権』を、学生であれば授業等で、会社であれば、仕事の中で勉強や仲間内の話として聞いたりするが、深く自分の身になって考えたり、テレビ、インターネットで“いじめ”や“不平等な扱い”、“売春やポルノ”（特に児童ポルノ）などのニュースを見たりするが、＝（イコール）人権問題と考えさせられる機会は少ないと思う。行政やメディアなどではたびたび目にするが、無意識の中で自分とは“関係のない場や人”の話であって自分の身の周りであってそれが“人権問題と思える”、考えるような経験や意識が少ない自分がある。『人権』という言葉で『人権』という物を『人権』とは何かをちゃんと教え、学べる環境ができれば良いと思っています。人権という問題も少なからず減るだろうと思います。上手に文章にはできませんが、このアンケートを通して一人の人間として、一人の大人として、そして家族を通じて今一度考えてみたいと思います。

（2）女性の人権に関する意見

- ・女性管理職の割合が何%だとか報道がたまにあるが、数字合わせの無用な登用はさけてほしい。その上で、実力のある女性には差別なく機会をあたえられるべき。

（3）子どもの人権に関する意見

- ・子どもより高齢者が大切にされすぎている。子どもへの支援を強化してほしい。
- ・小中学生のインターネット依存の改善。学生の学業促進。家庭環境により勉強できない子どもがいる状況の改善。伊勢原に外国人観光客増加。
- ・公園でボール遊びができない。子どもたちの遊ぶところが減っている。ボールが外に出ないようにすることが大事なのでは。（ネットをはるその他）伊勢原市の子どもたちの人権を守って。
- ・子どもの通った幼稚園（伊勢原市内）には障害のあると思われる子が一人もいなかった。入園の面接ではお話ができないと入園許可されないようだ。私立だと、入園の児童に対する基準のようなものは、園の自由でよいのか。伊勢原市には私立幼稚園しかないのに。基本的に面接の日程は1日しかないのに。市のチェックのようなものは入らないのですか。

- ・学校の先生（特に小学校）子どもの為ではなくって自分の為。熱血先生は1人もいない伊勢原の教育、腹黒先生、親達は見抜いています。子どもたちが可哀想でなりません。子どもの為に意見を言うのを我慢しました。中学校の校長は將軍様、ちょっと文句を述べると、(子どものことで学校に行きました)先生達が將軍様(校長)を守っていました。素晴らしい会社体制、校長は、將軍様&社長なのだと、初めて知りました。学校の先生の教育、人間性が必要です。先生方の人間性のなさ、日本国未来ある子どもを守って。
- ・子どもが放課後過ごせる屋内のスペースがあるとよいと思います。周囲の市に比べて児童館的なスペースが少ないと思います。
- ・子育て支援の充実。
- ・子どもを持つ親として、今現在、そして今後子どもが犯罪に巻き込まれることなく無事成人まで迎えらるか正直不安です。市や学校から不審者情報が頻繁に送られてきます。しかしその後どうなったのか(逮捕されたのかなど)は一度も届きません。子どもには知らない人には話しかけず、ついていってはいけないと伝えてありますが、テレビやニュースなどで犯罪があるとほたしてどこまですれば完全に安全に守れるのか親として自信がありません。

(4) 高齢者の人権に関する意見

- ・高齢者が気軽に利用できるいろいろなジャンルの講座・塾ができると生きがいに。高齢者(女)はとくに、いろいろな場所で乗れる車やコミュニティバスがあるとよいです。

(5) 障害のある人の人権に関する意見

- ・学生時代に障害者に関わる活動をしていましたが、やはり当事者と実際に会って話すことが、人権題の理解には必要だと思います。できれば講演会のような大人数ではなく、少人数で交流する機会を学校などで、もてたら良いと思います。特に聴覚障害や手話に興味をもっていました。去年神奈川県で手話言語条例が制定されましたが、伊勢原市が進んで手話の普及に努めれば、神奈川の中でも一歩進んだ自治体になると思います。
- ・障害者手帳を使って利用できるサービスを増やしてほしい。横浜などと比べてだいぶ差があると思う。仕事で精神障害のことについて差別的な発言を受けたりしていじめられた。少し企業側もそのような障害について知ってほしい。精神障害への差別は結構すごいと思う。
- ・このアンケートが来るまで正直のところ、自分自身が特に人権について困ったこともなかったもので、あまり関心がありませんでした。しかし孫の男子の1人が軽い知的障害が有り、現在石田養護学校高等部1年生在学中(伊志田支援のなかの分教室に通学)のため、祖母として彼の将来のことにつきましては、心配しています。彼の人生がこの先、平穏であらんことを願っています。彼に丁度見合ったところで、働けますようにと願っています。このアンケートが活かされることを願っています。随分前のことですがオシの成人女性が毎日、つまらない為か、我家にやって来ることがありました。障害年金か何か出ていると思われそうですが、その女性は、毎日、つまらなくて仕方がないのです。当方も、その女性の相手をする程、暇人でないし、その女性に見合った仕事があれば、と思いました。行政はその人に対してキメ細かい対策をしてほしいと思いました。

- ・特にありませんが、個人では人の悪口、いいかげんなうわさ話、それでいやな思いしている人はたくさんいると思います。でも主人が身体障害になって5年半たちますが、人々のあたたかさがとてもうれしく思っています。世の中冷たい人ばかりではありません。ここでありがとうございますと言わせてください。

(6) 同和問題に関する意見

- ・同和問題ですが、ほとんどないように見うけられます。解決しているのでないかと思えます。
- ・今の時代に同和問題が問われたことに驚きを感じました。
- ・伊勢原市には昔から、同和問題は根強いものがあります。戦後はだいぶ変わってきていますが、小さい頃から、社会全体で、人間の平等性をきちんと、教育する必要があります。どのような立場の人にも、すぐれた物を持っています。優しく、接する人間性の問題です。“天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らず”です。(福沢諭吉) えせ同和行為にかつて、だいぶ悩まされたことがあります。

(7) 外国人の人権に関する意見

- ・私の家の近くにフィリピン人の御夫婦がいます。時々お話するのですが先日御主人が4か月分もお給料未払いになっているとのこと、社員ではなく日当でいただいているのですが、本当に困っています。日本は住み易く、人も優しいと言われながらもこういう実情があるのは心痛みます。私の娘もアメリカ人と結婚してテキサスに住んでおりますが仕事先で時折差別的発言があったそうです。そこは日本人の誇りと仕事のがんばりで乗り切ったと言います。人として互いを慈しみ、助け合うことは理想論なのではないか。人権とはと考えさせられる良い機会でありました。
- ・外国人と交流を深めることができる環境を増やしていただきたい。グローバル化が進んでいる背景を考慮すると、子ども世代への教育も視野に入れつつ、外国人に対する人権問題も改善が期待できると思います。

(8) 犯罪被害者の人権に関する意見

- ・報道の有り方で左右される、世の中の動きが強すぎる。被害者の気持をさかなでするし、加害者は隔離されると表に出ることは少なく、報道されることの正しさが、はっきりしない。被害者がきちんと守られる世の中であるべきだと考える。人を殺したら、死をもって答えを出す、病気などいろいろな事情は二の次、人を殺して守られるとは言語道断。裁判の有り方、裁判官の有り方、考え方が等、良くわからない。事件の解決が世の中の動きの早さに逆流している。被害者を守れる世の中、人間でありたい。相談体制を充実しても、対応する人の能力が低ければ何にもならない。対応する人の能力を高めてください。

(9) 人権教育・啓発に関する意見

- ・私が日常生活で差別を受けたことがないのでアンケートに適切にお答えできたか自信がありません。申し訳ないです。人権問題とても大切だと思うので、無知で差別や人権侵害をする人がいなくなるように啓発が大切だと思います。

- ・子どものうちから「人権」について知る機会をつくった方が良いと思う。良し悪しを判断する以前に「知らない」ことが多く、考えることができない。
- ・学校で人権問題の授業など行うことで子どもの頃から教育体制が整えばよいと思う。大人向けは公民館で年代別にあれば話等聞きにいき勉強できる時間があるとよい。
- ・市が行うこと様々な形での啓発、教育。しかし、限られた市民だけ（学校、興味ある人）。家庭・地域が行うことあたりまえのことができること。困っている人を助けてあげることがあたりまえ、ということ（自分も困っている時は助けてもらっているということ）。しかし、親が成熟していない。どこで、教え、成長してもらうかが課題。個人が意識すること。まず、皆、同等の「ヒト」である「障がい」「男」「女」などのくくりをもつことが差別のはじまり。“個”をしっかり持つ教育の必要。しかし、とても難しい。
- ・この質問を見て、こんな差別あるのか。と驚いた。インターネットで老若男女いろいろなことがわかる時代、少し過剰なのではと思う所もあり、他人に興味があるからこそ。子どもが少し学校で叱られれば、体罰だといわれ親がのりこむ。こんな状況で、学校で人権の教育をと思っても無理があるのではないかと思う反面、自分が学生時代にならった人権のことは、覚えている。ですからこそ、上に立つものを教育して、モンスターペアレンツをうまくかわしながら子どもを教育できる教育者を育てるのが長い目で見て、職場での人権、地域での人権が守られる人間が育つのでは。と思います。
- ・人は生まれた時からすべてが平等であり同じ人権を保有していることを幼少の時から教えることです。差別を覚えるのは親の行動、言動、地域の影響が大きいと思います。親を含めた大人はなかなか理解ができない人が多いので子どもたちにしっかり教えることが得策と思います。
- ・人権問題に限らず子どもの頃からの教育（正しい知識・意識）が大切だと思います。一歩間違えると誤った教育・洗脳になってしまうので、行政の管理・指導は重大です。大変とは思いますがどうぞ宜しくお願いします。
- ・伊勢原市も高齢化するわけですから、歩くことも考え、改善していかなければいけません。しかし、目に見えているものは、その考える人の知識が必要です。その考える人の力量が様々な問題に、対応できる人となります。その為にも、学ぶというシステムを作っていってほしいと考えます。あいまいですみません。字がきたなくてすみません。高松市長様は、読んでくれますか。白根の住人より。
- ・「伊勢原市人材施策推進方針」はもっとPRを強め、周知徹底すべきかと思う。自分自身ももっとこれまで以上にこの問題に関心を持つべきだと矛盾している。割合“平和ボケ”しているのかも知れない。
- ・人権問題への意識は大人になってからはなかなか高められないので、小学生の頃から、わかるものから教えていった方が良いと思う。自分は中学生の頃に社会の先生が教えてくれたことで多少意識することを覚えたと思う。偏った考えを教えるのは良くないので、ある程度のラインを決めた上での教育は、早い方が良いと思う。
- ・ここまで人権について考えさせられたのは初めてです。考えたことで人権に意識が向き興味がわきました。このアンケートがなければ、人権について考えることは無かったと思います。逆に言えば、公共の場が企業会社に、人権に対して考える起点になる情報が少ないから考える機会が無いのだと思います。伊勢原市の街に、または会社や飲食店等に広告になるような物を出してはどうか。

- ・人権問題に関しての情報量が少ない。もっと発信していくべきです。(小さい頃などの教育に盛り込むなど。)
- ・伊勢原市もだんだんと外国人労働者が増えています。私の務めてる会社にもいます。自国の文化も大切ですが、やはり日本国で働く人たちには、日本の文化を知ってもらう必要があると思います。そのためには、働いている会社はもちろんのこと、公共の施設でも外国人に対する指導が必要でしょう。よって外国語表記の充実が必要になってくると思います。今回は、貴重なアンケート調査に選んでいただきありがとうございます。私の意見も参考にいただければ幸いです。
- ・人権意識を市民に知らせる為には公報活動をもっと多くすべきだと思います。
- ・人権の意識に関心を持つ時間を小、中高の子どもたちから学習する時間をもつ。公民館など人の目に入る所に人権問題の標語の展示。

(10) 男女共同参画・男女平等などに関する意見

- ・最近の流れとして、「人権」を意識しすぎる風潮がある。基本的人権は、平成の時代では、概ね保持されていると感じる。男女共同参画は税収入の上では国民総労働化により影響が大きい反面、地域社会と個々の家庭で子どもと高齢者の孤立化が進んでいる。働く女性は、高学歴化により自然の流れではあるが、地域と家庭では女性の存在が大きいはず、豊かな国、地域づくりには女性の力と男性の協力が必要。職場での勤務時間は家庭に大きな影響があり、夜7時には家族そろって夕食が囲めるような社会が理想である。国も地域も、人間社会の理想を掲げた上で、豊かで明るい社会づくりのための政策を引き続き進めていただきたい。宜しくお願いします。
- ・ある講演会の席上、男女の人権について、私とは大きく考えが離れた意見(注意)が人権・男女共同参画推進委員の方からなされた。人権・差別と文化・風習の区別を理解していない発言でこのような人が委員をつとめることは、変な誤解を生むことだと感じたことがありました。

(11) 家族・家庭生活などに関する意見

- ・子を持つ母親として、母子家庭の子どもたちの支援が気になります。未来ある子どもたちに最低限の生活を望みます。そして、学校や家庭で人権意識を教え、他人を思いやることのできる子どもが増えるとうれしいです。
- ・「女性の人材」の項目があるのに、「男性の人材」の項目がないのはなぜか。

(12) 子育て、教育などに関する意見

- ・学校教育が第一、そのために教員の意識向上や行政の職員の市民への態度、考え方。そのために先ずはやさしい“子ども”を育てることだ。先生と親と地域住民が一帯となることが大切“そのために「市」が先頭”に立ってほしい。
- ・子どもは親を見て育ちます。見本となる大人がしっかりしてほしいです。

- ・ 中学校の規模が大きすぎ。子どもに手が回らず、中学校の先生の疲へいにはびっくりする。1つの学校で1学年6学級を目ざし、1クラス30人くらいにする。お金はかかるが、中学時代につぶれる子どもが周囲に多く、その子は、将来に渡って、社会に貢献する力を失ってしまっている。どれだけの損失か。子どもだけでなく、その家族も、経済的に、大きな損失となり、仕事もやめたり、うまくいかなくなったりと、悪循環となり、立ち直るのは並大抵のことではない。中学校を、手厚くしてほしい。
- ・ 幼少期から教育をするべき。
- ・ 学校でインターネットの教育を父兄同伴で行う必要あり。
- ・ 人権意識を高めるには、やはり幼い時の人間形成が一番大事だと思います。今は「女性が輝く時代に」と言われてますが、その前にせめて子どもが三歳になるまでは母親の愛情の元で育てられるように、収入に応じた何らかの助成を考えるのが先だと思います。私の幼い頃は物の無い貧しい生活をしている人がほとんどでしたが、どの家庭も母親が子どもを育てていました。
- ・ 1人親家庭のため（シングルマザー）、もう少し厚木市のように、伊勢原市も子育てに力を入れてほしいです。

(13) 法律、政治、行政などに関する意見

- ・ 伊勢原市が人権問題についてどのように取り組んでいるのかが、今までの生活の中から伝わってくるものがなかったので、目に見える形で進めてほしい。
- ・ 知人に税金を滞納してしまった人がいます。納税義務を果さないのは、良くないと思いますが、取り立て方強引だと思えます。もう少し支払方の相談に乗ってあげてほしいです。納税者の生活が破綻してしまえば、税金は入らなくなってしまいます。納税者の生活を脅かす税金の取り立て方は、人権侵害では。
- ・ 市職員の構成を見ると在来からの居住者（農家・商家・役人等）の関係者が多数を占めて居りとても一般市民の人権は守られているとは思えない。
- ・ まず人権に関する意識調査をなぜこの多忙な時期に行なうのか、大変当惑した。誠実に答えたつもりだが、思慮に時間不足で欠けた感もあります。人権問題は個々の人権を反映するものですから、まず人作り「人材育成」であろう。行政は指導するのではなく、シェルターの存在であってほしい。
- ・ 日本の法律がわからないということで困ることがある。相談したい。
- ・ 市が策定した「伊勢原市人権施策推進指針」をPRすること。（わかりやすくしたもの）
- ・ 人権に対する伊勢原市の行動が見えてこない。何をしているのか、何をしていくのかをわかりやすく示してほしい。
- ・ ①自分は人権問題に直面していないため、行政に期待することはありませんが、家庭や学校での教育につきると思います。よって税金を使って手厚くするような施策は望みません。②行政は逆差別をしていないか、自問自答してみてください。賃金や仕事のあっせん等これを止め無い限り人権問題は無くなりません。
- ・ 人権侵害の最もたるものは戦争、市は不戦宣言をしてほしい。

- ・伊勢原市は福祉があまり良くないようです。伊勢原市は財政が良くないからです。良くする為、何か考えてくださっていますか。借金が多い市のようなのですが、他の市町村のようにふるさと納税でも、やってみませんか。他の市町村に逆に税金持っていかれてるのでは。他の市町村では良い結果が出ています。赤字の市では、人権問題以前のことと思います。
- ・伊勢原市の行政が人権問題でなにか行動・支援をしているのか全く、知らない（分らない）。なにか本気でやっているのですか。
- ・市の人権問題や人権行政に関する施策や推進指針についてはこれまで見たことも聞いたこともなく全然知らなかった。人権問題の知識は現役時代の職場研修や日々の新聞、テレビ、ラジオから得て知っていた。市の情報もマスコミの報道も基本的には同様のものであると思われる。今後は市からの情報誌を意識して拝見したいと思う。
- ・実際に本当の弱者が救われず、嘘の提示とずるさによって支援を得ている人たちがいた時の行政の見極めができるのか心配になります。熱意のある継続調査と臨機応変な対応と必要な時の即時変更ができる体制であることが求められると思います。日本人の多くが自分の不利な部分は隠し、他人に迷惑をかけないようにとじっと我慢をしている方々が一向に救済されないのではないかと危惧します。
- ・行政は上からでなく、下からささえること。
- ・伊勢原もこれからも人口が増えてくるので皆が不公平ないように願います。
- ・市が行っている政策がよくわからない。もっと活動報告を開示し、市民の関心が得られるようにした方が良く考える。当人のみが満足するような体制ややり方であれば、改善を期待する。
- ・生保の人よりも給料が税金で引かれ低くなっています。これも人権問題ではと思います。酒やたばこも行わないで働いているのに、生保の方は、酒やたばこ、風俗にも行っています。それなのにそのような方より給料が低いのはありえないと思いました。税金の安く、若い人に支援してくれる厚木に引っ越ししようと思います。もうこんな町はこりごりです。
- ・税金で食べていけるのですからもっと働いてほしい。使えない役人が多すぎるので、使えない者はクビをきったほうがよい。税金の無駄使いにも程がある。人権やその他の問題以前に、そういった部から改善していただきたい。
- ・一市民だけでは、なかなかできないことであっても、行政の方で積極的に提案・意見・行動を行っていただけるとしたら、皆さん参加すると思います。住み良い伊勢原市にしていだけるよう願っています。
- ・市町村、(官、民)しっかりと対応していただきたい。
- ・介護の必要性はどんどん増えるが、費用の個人負担公的負担は限界を越えている。お金のかからない介護、たとえば、流山方式などを制度として取り入れていくことを検討した方が良い。65歳定年後の元気な人を活用することで、人材不足も解消できる。介護をビジネスとしてだけで考えないで、国民の義務としても良いのでは。
- ・人権問題よりも、やることはあると思う。伊勢原市はすべてが遅い。残念な市だ。

(14) 職場に関する意見

- ・調査だけで終わらず、実行できるよう、がんばっていただきたい。日本全体で、接客等、神経質な程、低姿勢。それに対し、客がわがままになっていく姿が(クレマー等)異常に見えてくる。お互い、許しあえる、大らかさが、今の日本に必要なだと思う。・リストラ等、一部の人だけが犠牲になるのは、ある意味“いじめ”だと思う。会社全体で、全員が給料を下げ、皆で苦難を乗り越える社会になってほしい。

(15) 相談窓口に関する意見

- ・きちんと読まず、「3つ」以上に○をつけてしまい、集計のお手をわずらわせてしまい申し訳ありませんでした。「相談」という環境は必要だと思いますが、その場所まで行けない人がたくさんいるのも現状ですし、解決するまで通うのも相当なパワーが必要です。相談に行く(1回目)だけでなく、行政から来てもらうのと両方あればよいと思いました。啓発活動や教育はありきたりで、上っ面な感じがします。充分悪いとわかっていてもやってしまうもあります。啓発や教育などが抽象的。高齢者や障害者など「弱者」って言われてますけど、それを逆手にとって好き放題の人たくさんいます。「何やってもいいんだ」みたいな。福祉の世界では、セクハラ「弱者」をたてにして好き放題の人います。一歩外でれば、捕まるであろう人がいます。要は、人間の自覚です。
- ・いじめがある(されている)ので窓口で相談にいった。しかしほとんど対応してもらえなかった。警察にも行ったが、同様であった。

(16) 意識調査に関する意見

- ・今回このようなことで改めて人権問題を考えさせられました。ありがとうございました。
- ・今回、女性の人権問題はあったが男性の人権についての設問がなかった。これ自体にも問題があると思う。
- ・伊勢原も大山という観光地をかかえ、外国人の来訪も増やさないといけないことだと思う。今回のアンケートで、こんなにもたくさんの人権問題があるのだと正直驚いてしまった。やはり啓蒙教育が必要だと思う。少々気になることがあります。駅北口側、神奈中バス事務所前の崩れかけたビルが長いことそのまま、とても見苦しいです。所有者が暴力団がらみといううわさも耳にしています。とても気懸りです。
- ・年末のあわただしい時期は、心の余裕がなく十分考えることができかねます。時期を考えてください。
- ・年末の忙しい時期に、このようなアンケートはどうか。“3つ以内”は良くない。
- ・「記入にあたってのお願い」で2.「○」を記入せよ、と書いてあるが、番号につけるのか文書につけるのか指示がない。高齢者が何歳以上の人を対象と考えるのか指示がない。問12の1.子どものための相談体制を。とあるが、多くのいたましい自殺事件を見聞きする度に、子どもが1人で悩んでいたり、サインの言葉に周囲が気づかないように思います。体制を整える前に「人に相談することはけっして恥ずかしい行為ではない」という教えを充実させる方が先だと思います。
- ・特になし。例題をもっと出して具体的でないとな全部が同じような問いと答えになってしまう。

- ・ 人権問題に対して「全く無関心」と思っていた（国は非営利団体に丸投げ）ので、アンケートが届きびっくりしました。アンケート調査をして「満足」ではなく、次のステップにつなげていただきたいです。また日本人は「人権問題」は無関心だと思います。市の広報紙等でこの問題について考えていくことはとてもすばらしいと思います。
- ・ 問 31 で本市に指針が策定されているのを知っているか、とあったが、全く存じあげない情報発信が足りないのではないかと、やる気が感じられない。周りの流れでとりあえず策定したというだけ。今後の動向に注目しておく。このアンケートが無意見にならないよう、願いたい。アンケートの結果はとりまとめたものを広報でも何でもよいので、載せるようにしてもらいたい。
- ・ このようなアンケートがなければ、人権についていろいろ考えることはありませんでした。両親からしてはいけないことをして教えられていましたので、改めて云われると迷います。私としては、差別のようなことされた経験はしましたが、人とはあまり、もめたりしない性格ですので、気にもしていませんでした。少しこれを教えてくださったので、市の推進にも対して勉強してみます。
- ・ 具体的に何をした。こんなアンケート、何。市長。外国人の相談等でOK。
- ・ 難しい問題だと思うので、声の大きい人の意見だけではなく、より多くの意見を聞いて取り組んでいただければと思います。このアンケートのように、人権を主張しすぎるあまり逆差別のような状態になることは避けていただきたい。がんばってほしい。
- ・ 何事も人的交流、コミュニケーションの充実が基本と思われれます。アンケートの企画はすばらしい。前進を望みます。
- ・ 無作為と書いてありますが、毎年送られてきます。
- ・ これまで人権のことにあまり感じていなかった市民協働課があることも知らず今回勉強させていただいた。

(17) その他に関する意見

- ・ 別にありません、よくやっていると思う。
- ・ 特にございません。
- ・ 特になし。
- ・ 市内の住宅街あちらこちらで悪臭がします。他市からの転居ですので驚きました。上下水道の完備を切に願っております。生活環境が整っていないことも人権にかかわることではないか。(伊勢原市内でも上下水道完備されている所もあるとのこと、完備されていない場所は差別されているのではないのか。)
- ・ どうか住んでいる伊勢原が、福祉施設の充実しているよりよい市になるよう、努力していただけるように、切に願っています。
- ・ ユーチューブなどの工夫された動画を作成してみたいか。市内の中高生に作成してもらおうと若者の参加型になります。
- ・ 特になし。
- ・ 特になし。
- ・ 情報共有。

- ・テレビ、ラジオその他でも何か事件があると大人、環境、国が悪いといつも言われている。でも本当は本人が一番悪い。まずは人のせいにしないで自分をみつめて自分がかかわらないといけないと思う。
- ・今までに人権問題&人権行政にかかわっていないのでどうすれば助けられるか見当がつかない状態です。今の時代は暮らしにくくなってきているようで人間の温かさが少なくなってしまうようで自分だけ大事。心のせまい人が多く貧富の差が大きすぎて、人を思いやりすることがなくなっている。人を傷つけることを何とも思わない悲しいことである。
- ・地元に住んでいる方の意識が強く他から移住してきた人たちとの間に距離がある。
- ・子どもを育てる大人、親、教員の人権問題差別などの発言など、見本になっているかだと思いません。弱者に対する発言など、教育委員会や教員などの信じられない差別や発言が伊勢原市はあると聞いています。それは、校長先生の身内等や市長の知人等の理由で人選するからだと言います。質の高い、良識のある方を、人の痛みのわかる方を人選してくれたら良いと思います。まずは発信元の公務員、教委の方々の意識向上からではないかと思えます。特に人選をしてほしいです。新聞に載り差別や体罰をしても学校を変えてすぐに担任をもたせるなどの甘さ。身内に教員がいるからとの理由でそれだと人権問題など減らないのでは。と思えます。
- ・特にありません。
- ・特になし。
- ・難しい問題です。
- ・特になし。
- ・人権問題、人権行政について、今迄、特に意識が余りなかったので意見はありません。
- ・なし。
- ・伊勢原市は地元の人以外の人、(市外から越して来た人)に対して差別があると思えます。よそ者は受け入れてもらえない独自の雰囲気があり、子育てでかなり辛い思いをしました。
- ・市内でなく国際社会、シリアやI S I Sを考えよう。
- ・正直言いますと、仕方がないことだと思えますが、なるべく対策をとると良いと思えます。当人が気をつけるようにすると良いと思えます。
- ・特にありません。
- ・伊勢原市に現住所をしてまだ3年間ぐらいなのでまだ良くわかりませんが、皆が笑ってられる市になってほしいと思っています。大変でしょうが宜しくお願いします。
- ・人権問題は大変難しいと思えます。粘り強い対応と活動が必要だと考えます。
- ・人権以前に、今の20代30代は、賃金の少なさに先が見えない。税金ばかり上がって辛い。月給で働いている私たちの賃金は上がらないので首がしまる一方です。人権侵害かもしれないが、高齢者の多さにうんざりする。今の配慮のない高齢者のせいで年金かなり天引きされていると思うと怒りがこみあげてくる。
- ・伊勢原市在住と言うと、田舎者という目で見られることが多々あります。くるりんのイメージアップより、伊勢原市のイメージをアップさせる。文化的発展や街の経済を活性化させ、(デパートをつくるなど)。市の財政をもう少し何とかしてほしいと思えます。近隣の厚木市や海老名市にどんどんおいてきぼりになっているような気がします。
- ・安心があって安全に暮らせる、愛されるまた愛する町にしてほしいです。(子どもから老人まで)。

- ・ 困ったことができたなら、手軽に相談できるように、仲間作りなどを心掛けて民生委員や行政に繋がっていきけるよう、伊勢原市全体網の目状態のまちづくりができたならよいと思います。そのための地域の運動会やこの間行われた避難訓練なども人の輪が広がってよかったと思います。ただ参加する人がきまってしまうのをどうかできないものかと思います。
- ・ 特になし。

平成 28 年 3 月

伊勢原市
市民人権意識調査
調査結果報告書

編集・発行 伊勢原市 市民生活部 市民協働課
〒259-1188
神奈川県伊勢原市田中 348 番地
T E L 0463-94-4711 (代表)